

令和 5 年(2023 年) 3 月 30 日

午前 10 時 00 分～正午

於：小田原市役所 3 階

議会全員協議会室

令和 4 年度 第 4 回小田原市生活交通ネットワーク協議会

次 第

1 議題

協議事項

(1) 令和 5 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）及び予算（案）

(2) 地域公共交通計画策定調査業務

- ・小田原市地域公共交通総合連携計画に位置付けた事業の評価（案）
- ・小田原市地域公共交通総合連携計画における目標の達成状況（案）
- ・小田原市地域公共交通計画策定に向けた調査結果とりまとめ（案）
- ・公共交通のネットワークについて（案）
- ・令和 5 年度地域公共交通計画 スケジュール予定（案）

2 その他

資料

- ・出席者名簿
- ・座席表
- ・【資料 1-1】小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）
- ・【資料 1-2】小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）
- ・【資料 2-1】小田原市地域公共交通総合連携計画に位置付けた事業の評価（案）
- ・【資料 2-2】小田原市地域公共交通総合連携計画における目標の達成状況について
- ・【資料 2-3】各調査結果まとめ
- ・【資料 2-4】小田原市地域公共交通計画策定に向けた調査結果とりまとめ（案）
- ・【資料 2-5】公共交通ネットワークについて（案）
- ・【資料 2-6】令和 5 年度地域公共交通計画スケジュール予定（案）

令和4年度 小田原市生活交通ネットワーク協議会 出席者名簿

区 分		会 員		備 考
		職 名	氏 名	
バス事業者	箱根登山バス株式会社	運輸部 部長	松 本 峰 雄	
	伊豆箱根バス株式会社	小田原営業所長	梅 原 和 大	新 会 員
	富士急湘南バス株式会社	代表取締役社長	内 田 実	
	神奈川中央交通株式会社	運輸計画部 課長	橋 山 英 人	
タクシー事業者	神奈川県タクシー協会 小田原支部	監事	曾 我 良 成	
運転者が組織する団体	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	委員	橋 川 直 広	新 会 員
利用者・市民代表等	小田原市自治会総連合	曾我地区自治会連合会長	新 鹿 勲	欠 席
	小田原市自治会総連合	橘北地区自治会連合会長	諏訪部 一美	
	小田原箱根商工会議所	経営支援部 企画課 課長	井 上 経	監 事
学識経験者	福島大学	准教授	吉 田 樹	会 長
交通管理者	神奈川県小田原警察署	交通第一課長	大 貫 良 将	新 会 員
道路管理者	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所	交通対策課 課長	吉 野 哲 也	欠 席
	神奈川県県西土木事務所 小田原土木センター	工務担当部長	小 山 真 生	欠 席
	小田原市	建設部長	杉 山 忠 嘉	
交通政策所管	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	首席運輸企画専門官	後 藤 洋 一	欠 席
	神奈川県	県土整備局都市部 交通企画課 副課長	最 上 祐 紀	監 事 代理出席 主 査 佃 圭輔
	小田原市	理事・都市部長	石 塚 省 二	副 会 長 代理出席 都市部副部長 佐藤 正和

区 分		職 名	氏 名	備 考
事務局	小田原市	まちづくり交通課長	金 子 明 弘	事務局長
		まちづくり交通課副課長	木 澤 克 紀	
		まちづくり交通課主査	泉 遼 佑	
		まちづくり交通課主任	澁 谷 勇 人	
		まちづくり交通課主事	土 谷 海 斗	

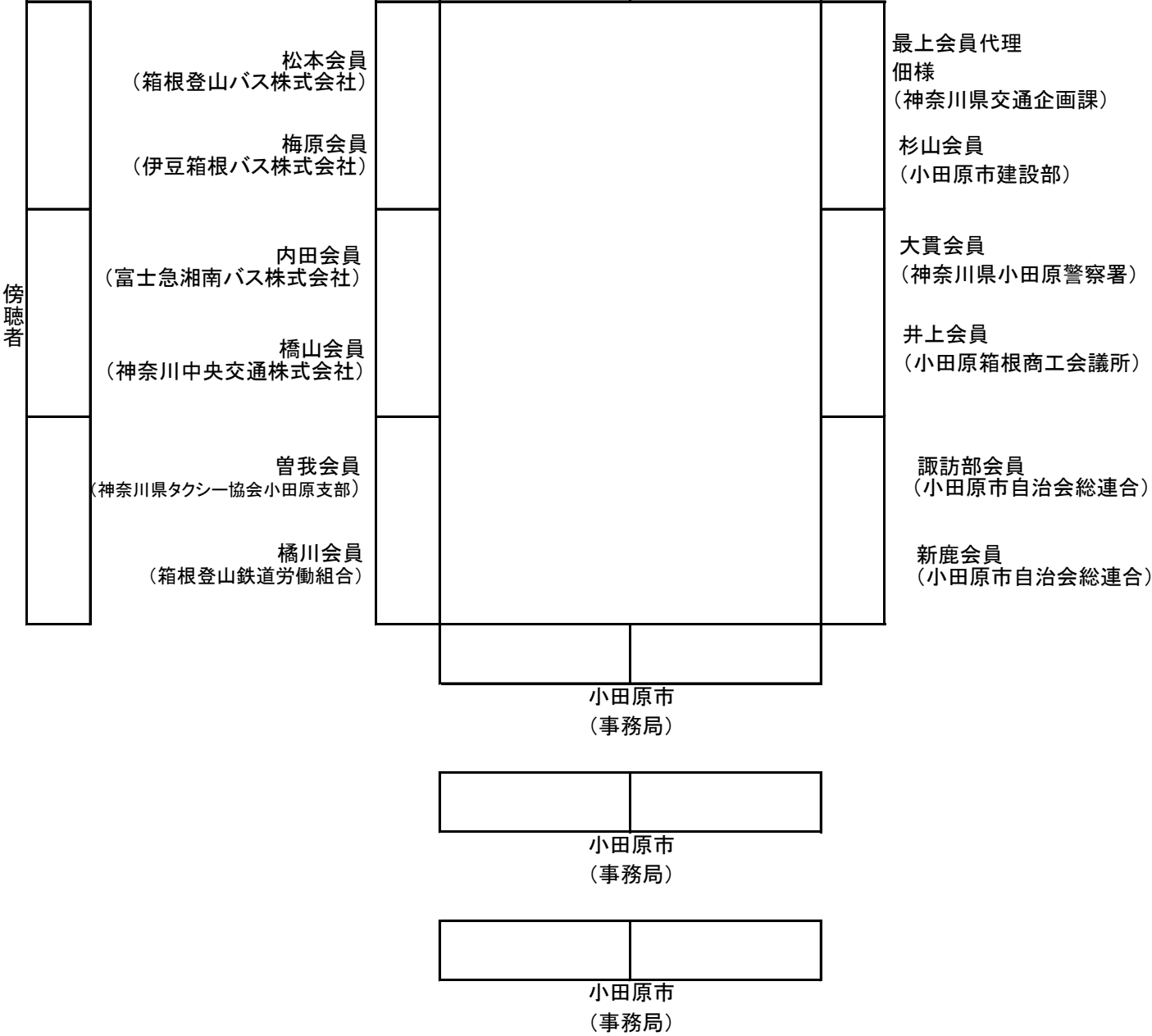
※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会

※任期：2年（令和3年(2021年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日）

令和4年度第4回小田原市生活交通ネットワーク協議会 座席表

吉田会長
(学識経験者)

佐藤副部長(石塚副会長代理)
(小田原市都市部)



令和5年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）

年月日	内 容
令和5年4月	小田原市地域公共交通計画策定業務委託契約締結
令和5年5月～ 令和6年3月	令和5年度 小田原市生活交通ネットワーク協議会（4回程度） 地域公共交通計画策定業務に係る協議を予定
令和5年6月～ 令和6年3月	令和5年度 小田原市生活交通ネットワーク協議会 作業部会（4回程度） 地域公共交通計画策定業務に係る協議を予定
令和5年10月～ 令和6年1月	「バスの乗り方教室」開催 ・山王小学校 （実施主体）箱根登山バス株式会社 ・下中小学校 （実施主体）神奈川中央交通西株式会社 ・久野小学校 （実施主体）伊豆箱根バス株式会社 ・曾我小学校 （実施主体）富士急湘南バス株式会社
令和5年9月以降	・「第9回バス de おでかけプロジェクト」の実施 （実施主体）バス事業者：箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社 商 業 者：ダイナシティ、イトーヨーカドー小田原店 行 政：小田原市 民 間：株式会社小田原機器
令和5年4月～ 令和6年3月	県西部都市圏バスマップ製作 （実施主体）神奈川県西部広域行政協議会都市交通部会（小田原市及び足柄上下地域1市8町） ※商業施設等への配布を実施予定

令和5年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）

1 歳入

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
負担金	9,528,000	小田原市
補助金	0	国（国土交通省） 令和5年度地域公共交通確保維持改善 事業費補助金（地域公共交通調査事業） については、令和5年2月16日付けで 0円の内示あり
繰越金	1,161,536	前年度からの繰越
合計	10,689,536	

2 歳出

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
会議費	150,000	報酬、旅費、需用費（食糧費・消 耗品費）
事務費	50,000	旅費、需用費（消耗品費）、 役務費（振込手数料）
事業費	9,328,000	小田原市地域公共交通計画策定 業務 委託費
予備費	1,161,536	
合計	10,689,536	

※但し、科目間の流用を認める。

小田原市地域公共交通総合連携計画に位置付けた事業の実施状況評価（案）

（平成 25 年度～令和 3 年度）

事業名			実施主体	短期 H25～H27	中長期 H28～R5	今後の 方向性（案）
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 P2～P5		交通事業者・行政	協議・実証 運行等	実施	継続 ※新規路線の検討 については廃止
2	乗継環境の 円滑化	①ダイヤの改善 P6	交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	継続
		②機能・重要度に応じた 乗継拠点の整備 P7	交通事業者・行政	協議後、 順次整備	順次整備	廃止
3	ニーズに応じた 路線バスの改善	①利用目的・時間帯等に 配慮した運行 P8	交通事業者・行政	協議・実証 運行等	実施	継続
		②おでかけ品質確保・向上のための ルールづくり P9	市民・交通事業者・行政	協議後、 一部実施	継続の実施	継続
4	分かりやすい 情報提供	①バス停・行き先案内等の統一化 P10	交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	廃止
		②主要バス停における共通時刻表・ 路線図・運賃表の掲出 P10	交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	廃止
		③小田原駅における案内サインの 改善・案内所の一元化 P11	交通事業者・行政	協議後、 順次整備	順次整備	継続
		④駅前広場のレイアウト等の見直し P12	交通事業者・行政	協議後、 順次整備	順次整備	継続
		⑤バスマップの作成・配布 P13	交通事業者・行政	継続の実施		継続
		⑥インターネットの活用等による情報 提供の充実 P14	交通事業者・行政	協議後、 実施	継続の実施	継続
5	バリアフリー化 の促進	①ノンステップバス・UD タクシーの 導入推進 P15	交通事業者・行政	継続の実施		継続
		②バス停・バス停までのルートのバリアフリー化 P16	交通事業者・行政	協議後、 順次整備	順次整備	廃止
6	路線バスの走行 環境の向上	①駅前広場における路線バスの優先性の確保等 P17	交通事業者・行政	協議後、 順次整備	順次整備	廃止
		②路線バス走行環境を支援する施策の展開 P17	交通事業者・行政	協議、実証 実験等	実施	継続
7	利用促進・交通 需要マネジメント	①児童・保護者を対象としたバスの 乗り方教室、児童作品の車内展示等 P18	市民・交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	継続
		②商業施設・公共施設と連携した特典サービスの実施等 P19	企業・交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	継続
		③企業と連携したエコの推進等 P20	企業・交通事業者・行政	協議後、 一部実施	実施	継続

リーディングプロジェクト

- ・**重点事業**：公共交通政策として、早期に着手し、市民・交通事業者・行政の役割等を定めるルールづくりを行うため、重点事業とする。
- ・**最優先事業**：市民に取組を周知する効果があり、分かりやすさ＝利用に繋がることから、最優先事業とする。
- ・**優先事業**：既存の公共交通ストック（鉄道・路線バス）を最大限活用するためには、乗継が必須であり、乗継に対する抵抗を軽減するため、優先事業とする。

継続：次期計画への位置付けを検討する（事業内容の見直し（変更）を含む）。

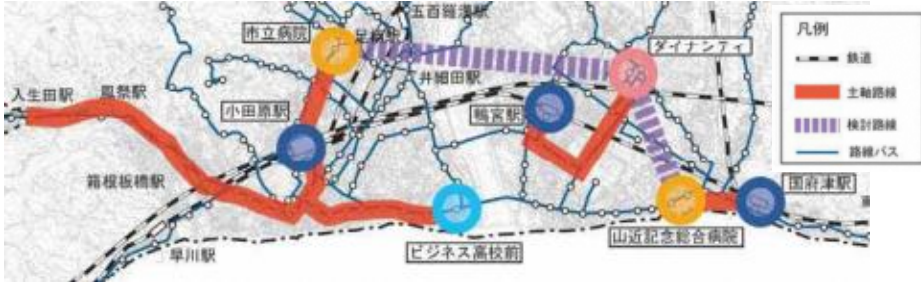
廃止：次期計画への位置付けを廃止する。

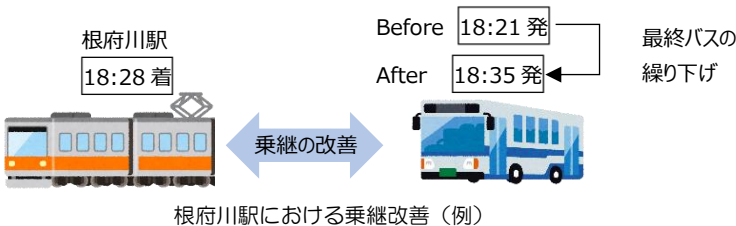
事業番号	事業名										今後の方向性（案）
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 （１）医療機関へのアクセス路線										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 → 事業化(継続実施)又は完了								
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議・実証運行等	実施									
実施目的	交通結節点である鉄道駅や需要の高い施設へアクセスする路線を公共交通ネットワークの骨格となる主軸路線に位置付け、ニーズに応じた改善を行うとともに、新規路線について検討する。 （１）医療機関へのアクセス路線 ①小田原駅～市立病院 ②国府津駅～山近記念総合病院 ・受付時間内に病院へ到着し、診療時間終了までの時間帯において、駅へ行ける水準を確保する。 ・事業２－② 機能重要度に応じた乗継拠点の整備、事業４ 分かりやすい情報提供、事業６ 路線バスの走行環境の向上と連携し、利便性の向上を図る。										
実施内容	① 小田原駅～市立病院 ・診療時間内の運行は確保されている。また、フラワーガーデン行きの増便も行い、一定のサービス水準を維持している。 ・また、R1 年度にバスロケーションシステムの導入により、バスの位置情報・運行情報をリアルタイムに WEB 上で公開することで、利便性の向上を図った。 ② 国府津駅～山近記念総合病院 ・診療時間内の運行は確保されている一方で、県道 717 号、親木橋周辺の渋滞が著しいことから、国に対して、対策要望を行った。										
総括	① 小田原駅～市立病院 ・当該路線については、伊豆箱根バスとしても主力路線としての位置づけであり、公的機関も多く通勤時間帯・通院時間帯の本数等、一定の利便性を確保している。 【小田原駅発】 平日 7 時台 5 本、8 時台 8 本、9 時台 6 本、10 時台から 18 時台まで及び 12 時台 5 本以上 【市立病院】 平日 7 時台 8 本、8 時台 9 本、9 時台 7 本、10 時台から 18 時台まで 5 本以上 ② 国府津駅～山近記念総合病院 ・乗務員不足の中、当該路線については、日中時間帯は 1 時間あたり 4 本運行を維持し、一定の利便性が確保されている。										
今後の方向性（案）	① 小田原駅～市立病院 今後については、イオンタウンの開発計画や、新病院建設事業の動向も注視しながら、当該路線のあり方について、検討していく。 ② 国府津駅～山近記念総合病院 働き方改革の影響を受け、減便を余儀なくされていることから、可能な限り維持に努めるとともに、県道 717 号、親木橋交差点周辺の渋滞が著しく定時運行に支障をきたしているため、道路管理者に対して引き続き要望を行う。										

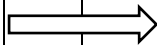
事業番号	事業名										今後の方向性（案）			
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 （２）商業施設へのアクセス路線										継続			
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況									➡ 事業化(継続実施)又は完了		
	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
交通事業者・行政	協議・実証運行等	実施												
実施目的	（２）商業施設へのアクセス路線 ③鴨宮駅～ダイナシティ 買い物客、行政サービス利用者が多い平日昼間時間の運行を充実する。													
	・当該路線については、１時間あたり３本運行のパターンダイヤを確保した。													
実施内容	・当該路線については、１時間あたり３本運行しており、一定の利便性が確保されている。													
総括	・当該路線については、１時間あたり３本の運行が確保されていることから、引き続き、サービス水準を維持していくとともに、利便性が高いことを認知してもらうため、路線のブランディング（路線の愛称募集など）を検討していく。 ・また、渋滞箇所を抽出し、道路管理者と渋滞対策に係る検討を行っていく。													
今後の方向性（案）														

事業番号	事業名										今後の方向性（案）				
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 （３）通学路線										継続				
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況										➡ 事業化(継続実施)又は完了		
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3				
	協議・実証運行等	実施										➡			
実施目的	（３）通学路線 ④小田原駅～小田原東高校前 通学時間帯は、スクールバスを含め、一定程度の運行が確保されていることから昼間の時間帯について、沿線住民等のニーズに応じた運行を行う。														
実施内容	・通学時間帯は、スクールバスを含め、一定程度の運行が確保されていることに加えて、昼間の時間帯については、１時間あたり４本運行のパターンダイヤとした。 ・また、令和３年度（２０２１年度）に小田原東高校の生徒向けにスマホで購入しスマホで使える「スマホ定期券」を導入した。														
総括	・乗務員不足の中、通学時間帯は、スクールバスを含め、一定程度の運行が確保されていることに加えて、日中時間帯については、１時間あたり４本運行を維持し、一定の利便性が確保されている。														
今後の方向性（案）	・朝夕の通学時間帯は、スクールバスを含め、一定程度の運行を確保し、日中時間帯は、１時間あたり４本運行とし、引き続き、サービス水準を維持していく。														

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 （４）観光路線										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況  事業化(継続実施)又は完了								
交通事業者・ 行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議・実証運行等	実施									
実施目的	（４）観光路線 ⑤小田原駅～箱根方面 ・利用者・運行本数ともに多いことから、PR・サービスの向上など、更なる利用促進・利便性の向上を図る。 ・休日は観光目的、平日は通勤・通学目的の利用者が多いことから、ニーズに応じた運行を行う。										
実施内容	【箱根登山バス】 ・小田急グループとして、DXの推進（箱根ナビの決済化による新規顧客獲得、プラットフォーム事業化による収益化）や効果的なプロモーション（新企画券の認知拡大に向けたプロモーションの継続実施、各SNSの特性を活かした情報発信の強化、情報の一元集約化および広報戦略による発信力の強化）を実施した。 ・2021年11月より毎週土休日に小田原東口から箱根ターンパイク経由で元箱根港へ運行する座席定員制の「芦ノ湖ライナー」の運行を開始した。 【伊豆箱根バス】 【R1年度】 ・バス停のナンバリングを行い、番号で案内することで分かりやすさの改善に努めた。 ・また、バスロケーションシステムの導入により、バスの位置情報・運行情報をリアルタイムにWEB上で公開することで、利便性の向上を図った。 【R3年度】 ・コロナ後のインバウンド旅客の受入再開を見据え、インバウンド用HPを開設し、利用促進を図った。										
総括	【箱根登山バス】 ・コロナ禍における新しい旅のスタイルとして、ゆったり座って快適・安心な箱根観光を訴求した「芦ノ湖ライナー」の運行を開始し、1年間で2千人を超えるお客さまにご利用いただいた。 【伊豆箱根バス】 ・バスロケーションシステムは、利用者が、遅延情報をリアルタイムで把握できることから、利便性の向上に一定の効果があつた。 ・インバウンド用HPについては、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残り、R3年度時点で受入再開とならなかったため、今後の再開に向けて掲載内容のブラッシュアップを図りながら運用を継続していく。										
今後の方向性（案）	【箱根登山バス】 ・引き続き、DXの推進や効果的なプロモーションを進めるほか、土休日の小田原駅～湯本駅間の道路渋滞に対応したダイヤの策定を検討・実施する。 【伊豆箱根バス】 ・HP等を通じた情報発信の充実化を図り、国内外の観光客の更なる誘客に努める。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 （５）新規路線の検討及びその他の取組										廃止
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況								
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議・実証運行等	実施									
実施目的	＜新規路線の検討＞ 各方面から市立病院、山近記念総合病院へアクセスできるよう、既存路線バスを活用するとともに、乗継の円滑化や新規路線の検討など路線バスの改善を図る。 										
実施内容	＜新規路線の検討＞ 【R3年度】ダイナシティと市立病院を結ぶ東西路線の新設についてバス事業者と協議 ＜その他の取組＞ 【H25年度】小田原駅周辺循環バス導入についてバス事業者等と協議 【H26年度】日本たばこ跡地に建設予定の大型商業施設への路線バス乗り入れに関する協議 【H27年度】橘地域のバス路線再編に伴い、橘タウンセンターこゆるぎへの経路を実施（H28.3.26） 【H29年度】下曽我駅～国府津駅間の路線バスの運行本数について、一定のサービス水準を維持するよう調整（H30.3）										
総括	- 市内の路線維持に係る協議等は随時実施してきた。 - 一方、新規路線の検討については、令和3年度に、バス de お出かけプロジェクトの充実化について検討する中で、ダイナシティと市立病院を結ぶ東西路線の新設について提案したが、伊豆箱根バスからは、イオンタウンの開業までは、動向を注視したため、検討不可との回答があった。										
今後の方向性（案）	新規路線の検討については、既存路線への影響が大きいことから見直す。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
2	乗継環境の円滑化 ①ダイヤの改善										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 ⇄ 一部着手 → 事業化(継続実施)又は完了								
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議後、一部実施	実施	⇄								→
実施目的	乗継に対する抵抗を軽減するため、交通事業者間で連携し、鉄道駅（小田原駅・国府津駅等）や主要施設などの乗継拠点における、到着・出発の時間について、ダイヤの改善を行う。 ※ダイヤの改善と併せて、乗継運賃割引の導入について、先行的に同一バス事業者内で導入するなどの検討を行う。										
実施内容	【H25 年度】鉄道事業者へのダイヤ改正情報の事前提供依頼 【H27 年度】鉄道のダイヤ改正情報を事前に入手し、バス事業者へ提供（御殿場線） 橘地域のバス路線再編にあわせ鉄道ダイヤと整合（H28.3.26） 【H28 年度】鉄道のダイヤ改正情報を事前に入手し、バス事業者へ提供（御殿場線） 【H29 年度】鉄道のダイヤ改正情報を事前に入手し、バス事業者へ提供（御殿場線） 根府川地域の路線バスについて、JR 東海道本線の根府川駅到着時刻に合わせ終発時刻を調整（H29.11 1 便 18:21→18:35） 小田原駅東口発、久野方面行き路線バスについて、沿線企業の始業時間を考慮し発車時刻を調整（H29.11 1 便 7:40→7:35）  根府川駅における乗継改善（例）										
総括	- 鉄道のダイヤ改正に合わせて、随時、バス路線のダイヤ改正を実施してきた。 - 加えて、円滑にダイヤの見直しを図るために、事前に改正ダイヤに関する情報を提供いただくよう神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者に要望した。 - また、神奈川中央交通が運行する路線において、乗継時の初乗運賃が割引となる制度を導入した。										
今後の方向性（案）	引き続き、乗継の円滑化のため、ニーズに応じたダイヤ改善をバス、鉄道事業者と連携・協力しながら実施していく。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）		
2	乗継環境の円滑化 ②機能・重要度に応じた乗継拠点の整備										廃止		
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況  一部着手  事業化(継続実施)又は完了										
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
	協議後、順次整備	順次整備	 										
実施目的	小田原駅・国府津駅における改善を優先事業に位置付けるとともに、機能・重要度に応じた乗継拠点を設定し、必要な整備を行う。 ※優先事業「小田原駅における案内サインの改善（事業4－③）」、「駅前広場（小田原駅・国府津駅）のレイアウト等の見直し（事業4－④）」などと連携した改善を行う。												
実施内容	【H25 年度】銀座通り周辺バス停の上屋・ベンチの設置について周辺自治会、商店会、バス事業者、広告事業者各々と協議 【H26 年度】橋公共交通検討会会長名で「押切」バス停における安全性向上の要望書を道路管理者へ提出（H26.11） 【H27 年度】安全対策として、注意看板の設置及び減速ドットの表示を実施（H28.2 神奈川県県西土木事務所対応） 【H29 年度】国府津駅周辺や国道1号の混雑の緩和に向け、国府津駅周辺整備の基本計画を策定（路線バス等の遅延防止・利便性向上） 【R1 年度】小田原駅に情報案内板等を整備 【R2 年度】中堀の乗継拠点整備に係る協議をバス事業者と実施（需要なしとの結論） 【R3 年度】国府津駅の駐輪場工事、駅前広場拡張工事に着手（R3.12） ※供用開始：駐輪場 R4.4、駅広 R4.8												
総括	・小田原駅においては、令和元年度に情報案内板等の整備を実施した（令和2年3月完成）。 ・国府津駅においては、駅前広場の拡張工事を実施し、令和4年8月に供用開始した。 ・乗継拠点整備のうち、中堀については、需要がないため、不要との協議結果になった。												
今後の方向性（案）	作業部会での協議の結果、未整備箇所の実施予定及び必要性がないことから、次期計画への位置付けを見直す。												

事業番号	事業名										今後の方向性（案）			
3	ニーズに応じた路線バスの改善 ①利用目的・時間帯等に配慮した運行										継続			
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況									⇨ 一部着手 ⇨ 事業化(継続実施)又は完了		
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
	協議・実証 運行等	順次整備												
実施目的	利用目的・時間帯に配慮した路線バスの改善を行うとともに、地域の特性・実情に応じた乗り合う交通手段を定める「生活交通ネットワーク計画」の策定を検討する。 ① 鉄道と並行する路線バスの見直し ・鉄道（大雄山線、小田急線）と並行する路線バスについては、1 便当りバス停通過人員が2人未満と少なく、起点から終点まで利用する方はほとんどいない。 ・市内を運行する鉄道は一定以上のサービスが確保されていることから、鉄道と並行する路線バスについては鉄道駅と市民ニーズの高い主要施設を結ぶ等、見直しを図る。 ② 橋地域を運行する路線バスの見直し ・橋地域の路線については、複数市町にまたがることから、交通事業者、県、近隣自治体と連携をはかり、「神奈川県生活交通ネットワーク計画（地域間幹線系統）」の策定について検討を行う。													
実施内容	① 鉄道と並走する路線バスの見直し 【R3年度】利用者少数のため、大雄山線と並走する区間を有する路線を廃止。 ② 橋地域を運行する路線バスの見直し 【H25 年度】バス停の新規設置（富士急2箇所）、・路線バスのルート変更（神奈中1路線） 橋地域を運行する路線バスの見直し等の検討・協議 （橋公共交通検討会の設置開催、橋地域住民アンケート調査の実施） 【H26 年度】橋公共交通検討会を2回、検討会下部組織の案件別部会を6回開催 【H27 年度】橋公共交通検討会2回、部会2回、説明会6回、勉強会2回開催 上記の検討・協議に基づくバス路線再編の実証運行を実施（H28.3.26） 【H28 年度】実証運行を継続して実施 【H29 年度】利用者の多い朝夕の時間帯の運行本数を維持し利用者の少ない昼間を減便するなど、地域ニーズを踏まえつつ採算性を考慮した再編を実施 【H30 年度】実証運行を継続して実施、利用啓発活動を実施 前羽及び橋北連合自治会の全世帯を対象に移動手段に関するアンケート調査を実施（H30.10.15～H30.11.9） 【R1 年度】実証運行を継続して実施、利用啓発活動を実施 ※2回の再編を行ったが自主運行の目標値は達成せず、実証運行を終了 【R2年度】国補助による運行継続・再編を検討 【R3年度】市補助により運行継続													
総括	① 鉄道と並行する路線バスの見直し ・令和3年4月に、伊豆箱根鉄道大雄山線と並走する区間（五百羅漢から飯田岡区間）、令和4年4月には、小田急電鉄小田原線と並走する区間（蛍田駅から足柄駅付近）において、路線を廃止することで、経営効率化を図った。 ② 橋地域を運行する路線バスの見直し ・平成28年度から令和元年度まで実証運行を実施し、2割程度（1日1台あたりのバス利用者数 171人→210人）の効率化を図ったが、目標達成は困難であるとともに、バス事業者単独での路線維持は不可能であることから、再編（1日52便→20便）の上、市から運行経費の一部を補助することで、路線の維持に努めている。 ・なお、橋地区を運行する路線における地域間幹線系統確保維持費の補助金の活用については、令和2年度に国と協議した結果、補助制度の要件には合致しているが、運用上認められない（飛び地で、二宮町民の利用がないため）との方針が示された。													
今後の方向性（案）	橋地域を運行する路線バスの見直しについては完了とし、鉄道と並行する路線バスの見直し（御殿場線と並行して走る路線含む）については、継続する。 ※次期計画では、「運行補助による路線の維持」等に継承していく。													

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
3	ニーズに応じた路線バスの改善 ②おでかけ品質確保・向上のためのルールづくり										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 〰〰〰 未着手 ⇒ 一部着手 ⇒ 事業化(継続実施)又は完了								
市民・交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議後、一部実施	実施	〰〰〰	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
実施目的	市民、交通事業者あるいは行政の発意により、公共交通をつくる、守る、育てる仕組みを構築するルールづくりを行い、おでかけ品質の確保・向上を目指す。										
実施内容	【H26 年度】ルールづくり素案の検討 【H27 年度】検討・協議の上、ルールを作成 【H29 年度】作成したルールを市ホームページ上に公開※以降継続実施 おでかけ品質確保・向上のためのルール（抜粋） (2) 取組の手順 ここでは、市民からの提案についての手順を示します。 STEP1 提案 市民から路線バスの提案（提案者：地域住民5人以上のグループ） STEP2 出前講座の開催 出前講座を開催し、「小田原市地域公共交通総合連携計画」の概要を説明・周知 STEP3 路線バスの検討 ① 地域住民・自治会等に地域検討組織の設立を確認（提案者が事務局となります） ② 地域の実情及び特性の把握、課題の整理 ③ 路線バスによる課題解決の検討 ※路線バスの導入が困難であり、コミュニティバス・乗合タクシー等を検討する場合はSTEP6へ STEP4 路線バスの実証運行計画の検討・協議 ① 運行方法等を定めた実証運行計画の策定 ② 実証運行計画の適切性に関する協議 ③ 地域の市民等に対し、実証運行計画の説明及び合意の形成 ④ 関係官庁等への確認、協議 STEP5 路線バスの実証運行（3年以内） ① 地域の市民・自治会等への説明会開催 ② 運行に係る許可申請、バス停の設置、車両調達等の実証運行に向けた準備 ③ 実証運行の周知、利用促進のPR ④ 実証運行を開始（3年以内） ⑤ 実証運行実績を随時確認し、実証運行計画の見直しも含め、本格運行への移行について協議 ※運行継続条件を満たす場合は本格運行へ ※運行継続条件を満たさない場合は基本的に取り組みを終了。なお、路線バス導入は困難だが、コミュニティバス・乗合タクシー等を検討する必要がある場合はSTEP6へ 路線バスの本格運行 報告 助言 小田原市生活交通ネットワーク協議会 報告 助言 報告 助言										
総括	平成 26 年から、検討に着手し、平成 29 年4月より、市ホームページにルールを公開している。										
今後の方向性（案）	今後、必要に応じて、具体的な運行継続条件を設定すること等について検討していく。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
4	分かりやすい情報提供 ①バス停・行き先案内等の統一化										廃止
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況								
交通事業者・	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
行政	協議後、一部実施	実施	未着手								
実施目的	4社のバス事業者が連携して、行先・経由地の標記を統一し、車両・バス停・鉄道駅などにおいて、分かりやすく表示する。										
実施内容	【H26 年度】バス停名称の変更（所在地が確認しやすい名称に変更） （「銀座二丁目」→「竹の花入口」）										
総括	バス停の名称変更を1か所実施した。										
今後の方向性（案）	作業部会での協議の結果、具体的な実施箇所がないため、次期計画への位置付けを見直す。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
4	分かりやすい情報提供 ②主要バス停における共通時刻表・路線図・運賃表の掲出										廃止
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況								
交通事業者・	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
行政	協議後、一部実施	実施									
実施目的	・小田原駅周辺など複数のバス事業者が運行している地域においては、事業者ごとにバス停を設置したり、1か所に異なる名称のバス停が設置されている。 ・このため、バス停や名称を統一するとともに、共通の時刻表・路線図等を掲載することで、分かりやすい情報提供を行う。										
実施内容	【H25 年度】バス停名称の変更（神奈中1箇所） 銀座通り周辺バス停新設の協議（バス停新設、バス待ち環境等について） 【H26 年度】「銀座通り」バス停新設（3社統合したバスポールの設置、商店会の協力） 銀座通り周辺バス停への上屋、ベンチの設置について道路管理者等と協議 【H28 年度】HaRuNe 小田原におけるバス時刻表の統一化の実施										
	三社統一のバス停を新設 （銀座通りバス停）										
総括	平成 26 年 11 月に、3事業者統合のバス停（銀座通り）を新設した。										
今後の方向性（案）	作業部会での協議の結果、具体的な実施箇所がないため、次期計画への位置付けを見直す。										



事業番号	事業名										今後の方向性（案）			
4	分かりやすい情報提供 ③小田原駅における案内サインの改善・案内所の一元化										継続			
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況									未着手 → 事業化(継続実施)又は完了		
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
	協議後、順次整備	順次整備												
実施目的	- 小田原駅東西自由連絡通路において、東口・西口のバス乗り場までの案内や、バス運行情報案内システムを導入するなど情報提供について改善を図る。 - また、交通事業者と行政が連携して、スペースを共有するなど、将来的には案内所の一元化に向けた情報提供の向上を図る。													
実施内容	【H26 年度】 HaRuNe 小田原（小田原地下街）のオープンにあわせて、バス乗り場案内を更新し、英語表記を追加 【H27 年度】 小田原駅における案内サインの改善等の検討・協議（神奈川県県西土木事務所対応） 【H28 年度】 「小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査」実施 【H29 年度】 H28 調査に基づく誘導サイン等の改修に向け関係機関と調整 【H30 年度】 小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備に向け、関係機関と調整 【R1 年度】 小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備を実施（工期：令和元年 12 月 25 日～令和 2 年 3 月 30 日）の統一化の実施 Before  After  施設等のピクトグラム(絵)や文字を大きくして視認性を高めるとともに鉄道のナンバリング等も追加。													
総括	- 令和元年度に、小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備を実施した（令和 2 年 3 月完成）。 - デジタルサイネージの導入については、他市での導入事例を確認したところ、導入費用が高額であったことから、検討が進んでいない。													
今後の方向性（案）	- 今後については、他市でのデジタルサイネージ設置事例を研究し、導入費、維持費などを踏まえ、小田原駅におけるデジタルサイネージの設置による利便性の向上について検討していく。 - 案内所の一元化に向けた検討については、必要に応じてバス事業者と協議する。													

事業番号	事業名										今後の方向性（案）		
4	分かりやすい情報提供 ④駅前広場のレイアウト等の見直し										継続		
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 ⇨ 一部着手 ⇨ 事業化(継続実施)又は完了										
交通事業者・	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
行政	協議後、順次整備	順次整備											

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
4	分かりやすい情報提供 ⑤バスマップの作成・配布										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 ➡ 事業化（継続実施）又は完了								
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	継続的实施										
実施目的	「バス停・行先案内等の統一化（事業4-①）」と連携して、より分かりやすく使いやすいバスマップを継続して作成・配布する。										
実施内容	【H25 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市5町） 【H26 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市5町） 【H27 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市5町） 【H28 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市5町） 【H29 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市5町） 【H30 年度】バスマップ 15,500 部作成・配布（2市5町） 【R1 年度】県西地域（2市8町）バスマップのデザイン等に関する協議を実施 【R2 年度】デザイン制作及び印刷製本 【R3 年度】バスマップ 15,000 部作成・配布（2市8町）   										
総括	バスマップについては、平成 25 年より配布を開始し、令和 2 年度から、箱根町、真鶴町、湯河原町を追加し、より広域にするとともに、デザインをリニューアルし、バス路線沿線住民だけではなく、観光客にも利用してもらえるような内容に見直した。 一方で、印刷部数に対する配布率の把握が出来ておらず、効率的な配布方法（配布部数が多い施設への配布数を多くするなど）について、検討の余地がある。 また、広告収入については、8 社から得られたが、全ての費用を補えるほどの収入は見込めなかった（事業費の 10%程度）。										
今後の方向性（案）	今後については、残数管理を行うとともに、商業施設等でも配布し、わかりやすい情報提供に努める。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
4	分かりやすい情報提供 ⑥インターネットの活用等による情報提供の充実										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況  事業化（継続実施）又は完了								
交通事業者・	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
行政	協議後、実施	継続的实施									
実施目的	交通事業者と行政が連携し、小田原市内のホームページにポータルサイトの役割を持たせるなど情報提供の充実を図る。										
実施内容	【H25 年度】市 HP へのバス事業者からのお知らせの掲載（箱根登山 1 件、神奈中 2 件） 【H26 年度】市 HP にバス事業者からのお知らせを掲載（「銀座通り」バス停新設及び「銀座二丁目」バス停名称変更、路線バスの増便） 【H27 年度】市 HP への橘地域のバス路線再編に伴う実証運行のダイヤ及び運行ルート等の掲載と橘地域の全世帯配布の実施 【H29 年度】橘地域のバス路線再編（H29.9）に伴うダイヤ改正について、市 HP へ掲載※以降継続実施 										
総括	バス事業者の情報について、市HPにも掲載することで、情報提供の充実を図った。										
今後の方向性（案）	引き続き、情報提供の充実化を図るため、市 HP へのバスロケーションシステムの掲載など、バス事業者と協議していく。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）																																																																					
5	バリアフリー化の促進 ①ノンステップバス・UD タクシーの導入推進										継続																																																																					
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況									➡ 事業化（継続実施）又は完了																																																																				
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																					
	継続的実施																																																																															
実施目的	＜ノンステップバスの導入推進＞ 高齢者、障がい者等を含めたバス利用者の利便性向上を図るため、ノンステップバスの導入をはじめとするバス車両のバリアフリー化を推進する。 ＜UD タクシーの導入推進＞ 車いす利用者やベビーカー利用者の利便性向上とともに、介助人や駐車場の確保が不要となるなど、UD タクシーの導入により、高齢者、障がい者等の移動手段の選択肢や行動範囲が広がる効果が期待できる。																																																																															
実施内容	【H25 年度】 ノンステップバスの導入（箱根登山バス5台） 【H26 年度】 ノンステップバスの導入（箱根登山バス5台） 【H28 年度】 UD タクシーの導入（1 台） 【H30 年度】 UD タクシーの導入（3 台） 【R1 年度 】 平成 30 年度（当初予算）に導入したUDタクシーの事業評価を実施 【R2 年度 】 平成 30 年度（補正予算）に導入したUDタクシーの事業評価を実施 ノンステップバス導入状況（事業者への聞き取り R2 年度） <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">バス保有台数</th><th colspan="3">ノンステップバス</th><th rowspan="2">導入率</th></tr><tr><th>車椅子1台タイプ</th><th>車椅子2台タイプ</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>箱根登山バス</td><td>155台</td><td>52台</td><td>14台</td><td>66台</td><td>42.5%</td></tr><tr><td>伊豆箱根バス</td><td>50台</td><td>40台</td><td>8台</td><td>48台</td><td>96.0%</td></tr><tr><td>富士急湘南バス</td><td>26台</td><td>8台</td><td>0台</td><td>8台</td><td>30.7%</td></tr><tr><td>神奈川中央交通</td><td>124台</td><td>13台</td><td>41台</td><td>54台</td><td>43.5%</td></tr><tr><td>計</td><td>355台</td><td>113台</td><td>63台</td><td>176台</td><td>49.5%</td></tr></tbody></table> ユニバーサルデザインタクシー導入状況（計画書作成実績） <table><thead><tr><th>年度</th><th>計画書作成</th><th>導入台数</th><th>車両台数</th><th>UD タクシー</th><th>福祉タクシー</th><th>導入率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H28</td><td>1 件</td><td>1 台</td><td>316 台</td><td>16 台</td><td></td><td>5.1%</td></tr><tr><td>H30</td><td>2 件</td><td>3 台</td><td>514 台</td><td>9 台</td><td>12 台</td><td>4.1%</td></tr><tr><td>R 2</td><td>1 件</td><td>3 台</td><td>501 台</td><td>34 台</td><td>12 台</td><td>9.1%</td></tr></tbody></table> ※車両台数は、小田原交通圏のタクシー事業者の協会加入車両台数 ※UD、福祉タクシーは、計画書作成時点での小田原交通圏内での導入台数 ※導入率：（UD タクシー＋福祉タクシー）／ 車両台数														バス保有台数	ノンステップバス			導入率	車椅子1台タイプ	車椅子2台タイプ	計	箱根登山バス	155台	52台	14台	66台	42.5%	伊豆箱根バス	50台	40台	8台	48台	96.0%	富士急湘南バス	26台	8台	0台	8台	30.7%	神奈川中央交通	124台	13台	41台	54台	43.5%	計	355台	113台	63台	176台	49.5%	年度	計画書作成	導入台数	車両台数	UD タクシー	福祉タクシー	導入率	H28	1 件	1 台	316 台	16 台		5.1%	H30	2 件	3 台	514 台	9 台	12 台	4.1%	R 2	1 件	3 台	501 台	34 台	12 台	9.1%
	バス保有台数	ノンステップバス			導入率																																																																											
		車椅子1台タイプ	車椅子2台タイプ	計																																																																												
箱根登山バス	155台	52台	14台	66台	42.5%																																																																											
伊豆箱根バス	50台	40台	8台	48台	96.0%																																																																											
富士急湘南バス	26台	8台	0台	8台	30.7%																																																																											
神奈川中央交通	124台	13台	41台	54台	43.5%																																																																											
計	355台	113台	63台	176台	49.5%																																																																											
年度	計画書作成	導入台数	車両台数	UD タクシー	福祉タクシー	導入率																																																																										
H28	1 件	1 台	316 台	16 台		5.1%																																																																										
H30	2 件	3 台	514 台	9 台	12 台	4.1%																																																																										
R 2	1 件	3 台	501 台	34 台	12 台	9.1%																																																																										
総括	計画期間中にノンステップバス計 10 台、UD タクシーについては、計 4 台の導入に係る支援（計画書の作成）を行った。																																																																															
今後の方向性（案）	引き続き、交通事業者が主体となってバリアフリー車両の導入を推進するとともに、協議会において、導入に必要な計画の策定を支援していく。 また、高齢者などの公共交通機関の利用促進策や、バス事業者が実施している割引サービスの拡充などについて検討する。																																																																															

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
5	バリアフリー化の促進 ②バス停・バス停までのルートのバリアフリー化										廃止
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況  事業化（継続実施）又は完了								
交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	継続的实施										
実施目的	医療機関や商業施設にあるバス停について、ノンステップバスの運行に対応した歩車道段差の改善や、視覚障がい者用誘導用ブロックの設置などの安全性の配慮を行うとともに、バス停までの主要ルートについても、安全性や利便性を考慮し、バリアフリー化を推進する。										
実施内容	【H25 年度】久野車庫前バス停の安全対策実施（伊豆箱根 1 箇所） 【H26 年度】橘公共交通検討会会長名で「押切」バス停における安全性向上の要望書を道路管理者へ提出（再掲） 【H27 年度】「押切」バス停における安全対策として、注意看板の設置及び減速ドットの表示を実施（神奈川県西土木事務所対応）  Before  After										
総括	平成 25 年度に、久野車庫前、平成 27 年度に押切バス停において、安全対策を実施した。										
今後の方向性（案）	作業部会での協議の結果、具体的な実施箇所がないため、次期計画への位置付けを見直す。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
7	利用促進・交通需要マネジメント ①児童・保護者を対象としたバスの乗り方教室、児童作品の車内展示等										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 ⇄ 一部着手 → 事業化(継続実施)又は完了								
市民・交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	協議後、一部実施	実施	⇄								→
実施目的	・将来の路線バス利用者である児童やその保護者を対象に、バスの乗り方教室を開催する。 ・乗降体験を通じて、路線バスの存在や必要性を認識してもらうとともに、交通安全やマナーなどについて楽しく学ぶことを目的とする。										
実施内容	【H25 年度】バスの乗り方教室実施小学校の募集（全校） 【H26 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：早川小） 【H27 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：早川小、山王小） 【H28 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：早川小、山王小） 【H29 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：早川小・山王小、新玉小、伊豆箱根バス：久野小） 【H30 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：山王小、伊豆箱根バス、久野小、神奈川中央交通西：下中小） 【R1 年度】バスの乗り方教室の実施（箱根登山バス：山王小、伊豆箱根バス：久野小、神奈川中央交通西：下中小） 【R2 年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、中止。 【R3 年度】神奈川中央交通西：下中小 ※その他の小学校では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し中止  内輪差の体験見学  整備工場見学  乗降体験										
総括	平成 26 年度より、小学校 5 校、バス事業者 3 者により実施 早川小学校（箱根登山バス） H27～H29 山王小学校（箱根登山バス） H26～R3 新玉小学校（箱根登山バス） H29 久野小学校（伊豆箱根バス） H29～R3 下中小学校（神奈川中央交通西） H30～R3 ※令和 4 年度からは、曾我小学校（富士急湘南バス）でも実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2,R3 未実施あり										
今後の方向性（案）	学校からは好評であるため、引き続き、実施していくとともに、今後は、学校とバス事業者の 2 者間で実施できるよう調整する。										

事業番号	事業名										今後の方向性（案）																												
7	利用促進・交通需要マネジメント ②商業施設・公共施設と連携した特典サービスの実施等										継続																												
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況 ⇄ 一部着手 → 事業化(継続実施)又は完了																																				
企業・交通事業者・行政	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																												
	協議後、一部実施	実施																																					
実施目的	・商業施設等へ路線バスで移動しやすい環境を創出し、自動車から路線バスへの転換を促す。 ・商業施設等と連携し、公共交通利用に対し割引などのサービスを行う。また、公共施設で実施するイベントの参加について、公共交通利用を案内するとともに、特典サービスの実施などを行う。																																						
実施内容	【H25 年度】銀座通り周辺商店会と路線バスのタイアップについて協議 【H26 年度】銀座通り商店会と路線バスのタイアップについて検討 ダイナシティ等と路線バスのタイアップについて協議開始 【H27 年度】バス de おでかけプロジェクト実施（H27.7.15～8.9：H27.11.3～H28.1.31） 【H28 年度】バス de おでかけプロジェクト実施（H28.7.1～9.30） 【H29 年度】バス de おでかけプロジェクト実施（H29.7.1～9.30） 【H30 年度】バス de おでかけプロジェクト実施（H30.7.14～10.14） 【R1 年度】バス de おでかけプロジェクト実施（R1.8.1～9.30） 【R2 年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、中止 【R3 年度】バス de おでかけプロジェクトを実施（R3.10.1～11.30）、 その他、チケットの電子化や、小田原駅周辺での展開などを検討  第7回（令和3年度）と第6回（令和元年度）の実施比較 <table><tr><th></th><th>第7回（令和3年度）</th><th>第6回（令和元年度）</th></tr><tr><td>配布期間</td><td>令和3年10月1日～10月31日 31日間</td><td>令和元年8月1日～8月31日 31日間</td></tr><tr><td>利用期間</td><td>令和3年10月1日～11月30日 61日間</td><td>令和元年8月1日～9月30日 61日間</td></tr><tr><td>配布条件</td><td>購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで</td><td>購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで</td></tr><tr><td>利用条件</td><td>「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効</td><td>「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効</td></tr><tr><td>実施結果</td><td>配布予定 3,100枚 配布枚数 2,850枚（配布予定比 91.9%） 利用枚数 2,054枚（配布枚数比 72.1%） （前回比+0.4%）</td><td>配布予定 3,100枚 配布枚数 3,100枚（配布予定比 100.0%） 利用枚数 2,223枚（配布枚数比 71.7%）</td></tr><tr><td>アンケート</td><td>回 答 数 935 枚（利用枚数比 45.5%） 前年比 12.6% 【ダイナシティへの普段の交通手段】 ・バス・電車：580 枚（40.0%）前回比△1.5% ・自家用車：353 枚（25.2%）前回比+0.1%</td><td>回 答 数 731 枚（利用枚数比 32.9%） 【ダイナシティへの普段の交通手段】 □□バス・電車：485 枚（41.5%） □□自家用車：284 枚（25.1%）</td></tr><tr><td>自家用車からバスの移行台数</td><td>518 台（2,054 枚 × 25.2%）</td><td>562 台（2,223 枚 × 25.1%）</td></tr><tr><td>CO2削減量</td><td>3,263kg-CO2 518 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 83 万本分</td><td>3,541kg-CO2 562 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 90 万本分</td></tr></table>													第7回（令和3年度）	第6回（令和元年度）	配布期間	令和3年10月1日～10月31日 31日間	令和元年8月1日～8月31日 31日間	利用期間	令和3年10月1日～11月30日 61日間	令和元年8月1日～9月30日 61日間	配布条件	購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで	購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで	利用条件	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効	実施結果	配布予定 3,100枚 配布枚数 2,850枚（配布予定比 91.9%） 利用枚数 2,054枚（配布枚数比 72.1%） （前回比+0.4%）	配布予定 3,100枚 配布枚数 3,100枚（配布予定比 100.0%） 利用枚数 2,223枚（配布枚数比 71.7%）	アンケート	回 答 数 935 枚（利用枚数比 45.5%） 前年比 12.6% 【ダイナシティへの普段の交通手段】 ・バス・電車：580 枚（40.0%）前回比△1.5% ・自家用車：353 枚（25.2%）前回比+0.1%	回 答 数 731 枚（利用枚数比 32.9%） 【ダイナシティへの普段の交通手段】 □□バス・電車：485 枚（41.5%） □□自家用車：284 枚（25.1%）	自家用車からバスの移行台数	518 台（2,054 枚 × 25.2%）	562 台（2,223 枚 × 25.1%）	CO2削減量	3,263kg-CO2 518 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 83 万本分	3,541kg-CO2 562 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 90 万本分
	第7回（令和3年度）	第6回（令和元年度）																																					
配布期間	令和3年10月1日～10月31日 31日間	令和元年8月1日～8月31日 31日間																																					
利用期間	令和3年10月1日～11月30日 61日間	令和元年8月1日～9月30日 61日間																																					
配布条件	購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで	購入金額 2,000円ごとに1枚 ※最大2枚まで																																					
利用条件	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効																																					
実施結果	配布予定 3,100枚 配布枚数 2,850枚（配布予定比 91.9%） 利用枚数 2,054枚（配布枚数比 72.1%） （前回比+0.4%）	配布予定 3,100枚 配布枚数 3,100枚（配布予定比 100.0%） 利用枚数 2,223枚（配布枚数比 71.7%）																																					
アンケート	回 答 数 935 枚（利用枚数比 45.5%） 前年比 12.6% 【ダイナシティへの普段の交通手段】 ・バス・電車：580 枚（40.0%）前回比△1.5% ・自家用車：353 枚（25.2%）前回比+0.1%	回 答 数 731 枚（利用枚数比 32.9%） 【ダイナシティへの普段の交通手段】 □□バス・電車：485 枚（41.5%） □□自家用車：284 枚（25.1%）																																					
自家用車からバスの移行台数	518 台（2,054 枚 × 25.2%）	562 台（2,223 枚 × 25.1%）																																					
CO2削減量	3,263kg-CO2 518 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 83 万本分	3,541kg-CO2 562 台 × 6.30（車1台あたりのCO2排出量） 2Lペットボトル約 90 万本分																																					
総括	・平成27年度より、バス de おでかけプロジェクトを計7回実施。 ・令和3年度より、チケットの電子化や、小田原駅周辺での展開などを検討した。																																						
今後の方向性（案）	引き続き、プロジェクトエリアの拡大や既存PJのブラッシュアップ、デジタル化等について、バス事業者及び商業者、事業協力者である小田原機器と連携しながら、検討・実施していく。																																						

事業番号	事業名										今後の方向性（案）
7	利用促進・交通需要マネジメント ③企業と連携したエコ通勤の推進等										継続
実施主体	事業スケジュール		検討・実施状況  一部着手  事業化(継続実施)又は完了								
企業・交通事業者	短期	中長期	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
業者・行政	協議後、一部実施	実施									
実施目的	エコ通勤を支援する仕組みを企業・交通事業者・行政とで連携して考えるほか、ノーカーデーの普及や市職員が率先して公共交通で通勤することを推進する。										
実施内容	【H25 年度】西湘テクノパーク企業アンケート調査の実施（3 月 26 日～4 月 9 日） 【H26 年度】市広報へ「バスの日」の特集記事を掲載（9 月） アンケート調査結果の報告（10 月） 【H28 年度】西湘テクノパーク企業アンケート調査の実施（8 月） 【H27 年度】西湘テクノパーク企業連絡協議会及び橘商工会に対してバス路線再編案の説明を行い、再編後の積極的なバス利用の啓発（6 月～H28.3 月） 【H28 年度】西湘テクノパーク企業連絡協議会及び橘商工会に対して実証運行の利用状況の報告 橘商工会広報誌による実証運行利用状況の報告と利用啓発の実施（H29.3 月） 【H29 年度】西湘テクノパーク企業連絡協議会に対して利用啓発と路線バス時刻表の配布を実施（9 月） 橘商工会広報誌による実証運行利用状況の報告と利用啓発の実施（H30.3 月）H28.1.31）										
総括	西湘テクノパーク企業に対して、路線バス利用の啓発を行うとともに、バスの利用について、広報を通じて市民に対する啓発を行った。										
今後の方向性（案）	・市内事業者へのバス利用啓発について検討する。										

小田原市地域公共交通総合連携計画における目標の達成状況（案）

目標 1 路線バスの乗降客数の増加 【一部達成】

通院先や買物先へのアクセス向上、路線バスの品質の確保・向上、利用促進・交通需要マネジメント等により、路線バスの利用率を高め、主要施設バス停の1日当りバス乗降人員を3%（※）向上させることを目標とする。

主要バス停（鉄道駅・医療機関・商業施設）の1日当り乗降人員

	バス停	現状値	目標値	実績値	結果	備考
鉄道駅	小田原駅（東口・西口）	5,517	5,683	5,012	未達成	9%減
	鴨宮駅	330	340	804	達成	244%増
	国府津駅	1,348	1,388	1,149	未達成	15%減
医療機関	市立病院	478	492	314	未達成	34%減
	山近記念総合病院（天理教前）	108	111	145	達成	34%増
商業施設	ダイナシティ	339	349	536	達成	58%増

※現状値は平成 23 年 9 月 15 日（木）実施の乗降調査結果

※実績値は令和 4 年 6 月各社の IC データより集計

結果

6か所のうち、鴨宮駅、山近記念総合病院（天理教前）、ダイナシティの3か所で目標を達成した。一方で、小田原駅、国府津駅、市立病院において、目標値を下回る結果となった。市立病院を結ぶ路線については、時間あたり3本以上運行しており、一定の利便性は確保されていることから、新型コロナウイルスの影響などによる利用者の減少等が想定される。小田原駅も同様に観光客等の利用の減少、国府津駅については、橋地区のバス路線の減便による影響が伺える。

目標 2 すべての年代における路線バス利用の増加 【未達成】

各年代における「路線バスを利用した」割合を市平均の 36.5%以上にするを目標とする。

路線バスの利用有無×年齢（市民アンケート調査）※市合計に年齢・無回答1人含む

利用者の年代	現状値		目標値 %	実績値		結果	備考
	%	n		%	n		
10 歳代	29.6	71	36.5	31.6	19	未達成	2pt 増
20 歳代	30.3	145		33.3	138	未達成	3pt 増
30 歳代	30.8	250		25.5	325	未達成	5.3pt 減
40 歳代	32.6	298		29.8	252	未達成	2.8pt 減
50 歳代	32.5	289		25.0	184	未達成	7.5pt 減
60 歳代	34.7	435		34.9	175	未達成	0.2pt 増
70 歳代	50.6	344		33.1	148	未達成	17.5pt 減
80 歳代	47.7	107		21.6	102	未達成	26.1pt 減
合計	36.5	1940		28.8	1347	未達成	7.7pt 減

結果

全ての年代において、目標は達成されなかった。

一番利用が多い年代は、60 歳代(34.9%)であり、次いで 20 歳代(33.3%)、70 歳代(33.1%)の順で多い。一方、70 歳代・80 歳代以上の利用割合が大きく減少している。全体的に低下している要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による、外出控え等が想定される。

目標3 買物・通院等のおでかけについての不安の解消**【一部達成】**

運転免許が無い方についても、買物（衣料品）、通院等のおでかけに「不安がない」と回答した方の割合を、50%以上（平均値）に向上させることを目標とする。

将来の移動についての不安×運転免許有無別（市民アンケート調査）

（「不安がない」と回答した方の割合）

目的	免許	現状値		目標値 %	実績値		結果	備考
		%	n		%	n		
買物	あり	58.2	1,408	50 以上	62.8	1,092	達成	4.6pt 増
	なし	31.2	507		27.4	252	未達成	3.8pt 減
	平均	50.8	1,940		56.1	1,347	達成	6.1pt 増
通院	あり	58.2	1,408	50 以上	62.2	1,092	達成	4.0pt 増
	なし	30.2	507		29.0	252	未達成	1.2pt 減
	平均	49.4	1,940		55.8	1,347	達成	6.4pt 増

結果

運転免許が無い方については、前回調査時より、不安と回答した割合が増加（買物 3.8pt、医療 1.2pt）するとともに、目標も達成できなかった。

一方で、免許がある方については、目標を達成するとともに、おでかけに対する不安が前回調査時より低い結果となった。

目標4 路線バスの分かりやすさの向上**【一部達成】**

小田原駅東西自由連絡通路・駅前広場に「バス情報案内」について、「役に立った」と回答した方の割合を 50%以上に向上させることを目標とする。

また、「路線バスの情報提供に対する満足度」について、40%以上（路線バスのサービスに対する満足度が高い割合の平均値）に向上させることを目標とする。

（1）バス情報案内に気付いた・役に立った割合（交通機関乗継調査（小田原駅）） **【未達成】**

現状値		目標値 %	実績値		結果	備考
%	n		%	n		
31.2	1,485	50 以上	30.0	40	未達成	1.2pt 減

※比較にあたり、現状値は、平日と休日の平均値を採用する。

※今回の乗継調査において、路線バスの情報提供に対する満足度（「満足」「やや満足」と回答した人の割合）の結果を基に比較する。

結果

小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備等を実施し、分かりやすいバスの情報提供に努めてきたが、目標の達成には至らなかった。引き続き、小田原駅へのデジタルサイネージの設置など、分かりやすいバスの情報提供の方法について検討していく。

(2) 路線バスのサービスに対する満足度（市民アンケート調査）【一部達成】

項目	現状値		目標値	実績値		結果	備考
	%	n		%	n		
①ルート	58.1	684	40 以上	59.6	421	達成	1.5pt 増
②本数・時間帯	33.4	681		28.6	423	未達成	4.8pt 減
③所要時間・定時性	46.0	684		46.6	421	達成	0.6pt 増
④運賃	32.1	685		27.9	422	未達成	4.2pt 減
⑤情報提供	31.4	676		30.4	422	未達成	1.0pt 減
平均値	40.2	682		38.6	422	未達成	1.6pt 減

結果

路線バスのサービスに対する満足度については、①ルート、③所要時間・定時性の項目において、目標を達成した。一方で、②本数・時間帯、④運賃、⑤情報提供については、未達成となった。未達成の項目のうち、減少率が高かった②本数・時間帯については、昨今のバス路線の減便や廃止の影響が伺える。このことから、今後は、減便により空白時間が生じている時間帯を補完する移動手段の検討が必要となる。④の運賃については、期間中に一部運賃改定を行っているものの、改定前から、運賃が高いとの意見があるなど、もともとの運賃に対する満足度が低い。⑤の情報提供については、目標4と同様に、小田原駅へのデジタルサイネージの設置の検討など、引き続き、分かりやすい情報提供に寄与する取組を検討していく。

まとめ

4つの目標のうち、3つが一部達成、1つが未達成となった。『目標1 路線バスの乗降客数の増加』、『目標2 すべての年代における路線バス利用の増加』については、新型コロナウイルス感染症の影響等による利用者の減少が見込まれるとともに、テレワーク等の新たな生活様式の浸透により、コロナ前の利用者には戻らない可能性が高いことから、次期計画において、利用者の目標値を設定する際には考慮する必要がある。『目標3 買物・通院等のおでかけについての不安の解消』については、運転免許のない方の不安が前回よりも高まっていることから、公共交通の維持・確保だけではなく、福祉健康部や市民部とも連携しながら、誰もが移動に困らない環境の整備について検討していく必要がある。『目標4 路線バスのわかりやすさの向上』については、小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備等を実施しているが、小田原駅へのデジタルサイネージの設置を検討するなど、さらなるわかりやすさの向上に努める。

各調査結果のまとめ

1. 市民アンケート調査 ⇒詳細は参考1を参照

●回答者の属性・移動や公共交通利用の実態について

- ・将来の外出には不安があるという人が多い。
- ・運転免許のない人ほど外出に不安を感じる傾向にあり、前回調査より運転免許のない人の不安が高まっている。
- ・通勤・通学以外の外出時の交通手段は半数程度が自動車に頼っている。
通勤・通学では鉄道利用が多いが、その他の公共交通の利用は限られている。
- ・鉄道に比べバス・タクシーは利用割合が低い。
- ・前回調査と比較して高齢者のバス利用が少なくなっており、特に端末交通手段としてのバス分担率が下がっている。
- ・直近2ヶ月で1回以上バスを利用した方は3割程度である。
- ・バスを利用しない理由として「他の交通手段を利用」「バスに乗る習慣がない」が多い。

●公共交通に関する取組みについて

- ・路線バスについては運行本数・運行時間帯に対する満足度が低い。
- ・市で進められた取組みの認知度は低い（5%～15%程度）ものの、取組みによって公共交通が便利になったとの認識も一定数あった。
- ・買い物客へのバス無料チケットの配布、鉄道のダイヤに合わせたバスのダイヤ調整、地域と事業者が連携したバス路線の見直しは、要望が最も多いが認知度は低かった。

課題

公共交通利用者や免許返納者の移動の不安に対し、ネットワークの見直しや持続可能な交通確保を行っていく必要がある。
取組みについては要望は多いが認知度が低く、周知・PRが必要。

●地域別の移動実態・ニーズについて

地域	片浦	中央 (中心部)	中央 (郊外部)	富水・桜井	川東・南部	川東・北部	橘
通勤・通学先	中央 (中心部)	地域内	地域内	中央 (中心部)	地域内	川東・南部	地域内
外出への不安	◎ 全外出で不安が高い	×	×	△ 現在の買物、通院の不安が高い	△ 将来の通院の不安が高い	×	◎ 全外出で不安が高い
利用手段	鉄道、家族送迎	徒歩、自転車	バス、家族送迎	鉄道	徒歩	自転車	家族送迎
バス利用率	20.2%	33.3%	36.9%	14.2%	32.7%	25.0%	47.1%
バスへの要望 (乗らない理由)	運行本数・運行時間帯、運賃、待合環境、運賃の改善	運賃の改善 (他の交通手段を利用)	(家族が送迎してくれる)	自宅近くのバス停の設置 (他の交通手段を利用)	(バスに乗る習慣が無い)	運行ルート、所要時間・運行の定時性の改善	運行時間帯の改善 (家族が送迎してくれる)

地域	片浦	中央 (中心部)	中央 (郊外部)	富水・桜井	川東・南部	川東・北部	橘
取組み 認知度	◎ 全取組で認知 度が高い	○ カーシェア、アプ リ等の認知度 が高い	×	×	×	×	◎ 全取組で認知 度が高い
要望の 多い取 組み	・地域と事業 者が連携した バス路線の 見直し	・買い物客へ のバス無料チ ケットの配布	・鉄道に合わ せたバスのダ イヤ調整 ・バスの乗り 方教室の実 施	(要望の回答 が少ない) ・ノンステップ バス・UD タク シーの導入	・情報案内 版・時刻表の 改善 ・バスマップの 作成・配布 ・買い物客へ のバス無料チ ケットの配布	・地域と事業 者が連携した バス路線の 見直し	・鉄道に合わ せたバスのダ イヤ調整 ・地域と事業 者が連携した バス路線の 見直し

課題

地域別に異なる市民ニーズを踏まえたサービス向上が必要。
片浦・橘2地域における地域主体の取組みの継続、横展開が必要。
他地域については取組みへの認知度が限定的で、周知・PRが必要。

2. 交通結節点調査 ⇒詳細は参考2を参照

●公共交通の利用状況・乗継の状況について

- ・公共交通利用者におけるICカードの利用は9割と多数。
 - ・鉄道は利用頻度が高いが、路線バス・タクシーの利用頻度は低い。
 - ・路線バスは買物（食料品）、鉄道は通勤・通学、タクシーは通院・業務での利用がそれぞれ他手段と比較し多い。
 - ・直近2ヶ月で公共交通の乗継をした人は3割程度である。
 - ・乗継場所は小田原駅が45.6%を占め、次いで国府津駅、鴨宮駅の順で多い。
 - ・乗継の種別としては鉄道⇄バスが多い。
- 国府津駅ではバス⇄バスやバス⇄タクシーの割合が他と比べ高い。

●公共交通のサービス・乗継環境に対する満足度について

- ・路線バスのサービス満足度は、運行本数・運行時間帯について不満足の高割合が高い。
また、市民アンケートの結果と比較すると、満足度が全般的に低い。
特に、運賃や運行ルート、所要時間・定時性の項目で満足度が下がっている。
- ・鉄道のサービス満足度は、路線バスやタクシーより高いものの、運行本数・運行時間帯について不満足の高割合が高い。
- ・タクシーのサービス満足度は、運賃について不満足の高割合が高い。
- ・乗継環境の満足度は、待ち時間・ダイヤ接続について不満足の高割合が高い。
一方、案内の分かりやすさについては満足度が高い。

課題

公共交通利用者の満足度が低く、運行本数・時間帯についてニーズを踏まえた見直しが必要。乗継環境については、案内の分かりやすさで取組みの成果がみられる一方、鉄道・バスのダイヤ調整を進めていくことが必要。

●地域別の主な要望・意見について

地域	片浦	中央 (中心部)	中央 (郊外部)	富水・桜井	川東・南部	川東・北部	橘	市外
バスへの要望	回答なし	●到着時刻遅れの改善 ●運行時間帯の拡大(特に終発時刻) ●増便(時間2本以上)	●増便(特に土日祝) ●運行時間帯の拡大(特に終発時刻)	●増便 ●小田原駅・ダイナシティ方面へのルート設置	●増便(特にダイナシティ・小田原駅方面) ●路線図・ルートの案内・わかりやすさ改善 ●バスロケ情報の提供	●増便 ●鴨宮駅方面へのルート設置	●増便(ニーズにあった時間帯の増便)	●増便(特に朝、夜) ●新幹線⇄バス、鉄道⇄バスのダイヤ調整
鉄道への要望	回答なし	●増便(特に夜間や快速、急行) ●鉄道⇄バスのダイヤ調整	●事故の削減、安全対策	●増便(特に各駅停車) ●バリアフリー対策、空調の改善	●窓口サービスの充実 ●昼間の空白時間帯の解消	●御殿場線の増便(特に松田～国府津間)	●窓口サービスの充実 ●バリアフリー対策、空調の改善	●到着時刻遅れの改善
タクシーへの要望	回答なし	●初乗り運賃の低減	●駅前の待機車両の増車 ●小型車の増車	●流し車両の増車	●駅前の待機車両の増車 ●運賃の低減、高齢者割引制度の導入	●初乗り運賃の低減	●駅前の待機車両の増車(終バス後、雨天時の対応)	●運賃の低減 ●駅前の待機車両の増車

●交通結節点別の主な要望・意見について

結 節 点	小田原駅	国府津駅	鴨宮駅
乗継への要望	●新幹線⇄バス、鉄道⇄鉄道、鉄道⇄バスのダイヤ調整 ●情報案内の改善(のりば案内、路線図、時刻表情報)	●鉄道⇄バス、バス⇄バスのダイヤ調整 ●鉄道着時間に合わせたタクシー配車	●鉄道⇄バスのダイヤ調整



課題

バスについてはいずれの地域でも増便の要望が多かったが、地域により異なる具体的なニーズを踏まえたサービス向上が必要。
鉄道・バス・タクシー相互のダイヤ調整等、乗継環境の向上が必要。

3. 地域の多様な輸送資源に係るアンケート調査 ⇒詳細は[参考 3](#)を参照

- 川東・北部地域、橘地域の福祉施設、工業団地 55 施設に配布、**16 施設**より回答（回収率：29.1%）
- うち**8 施設**が利用者・従業者に対する送迎を実施
- うち**1 施設**が公共交通を補完する新たな移動サービスとしての提供（協力）が可能であると回答
- 協力が困難な理由として、**人力的・時間的な理由**が多い

4. 携帯 GPS データに基づく移動実態 ⇒詳細は[参考 4](#)を参照

- 市民の外出先として上位であった施設について、滞在人口の総量、ピーク時間、曜日別の傾向、居住地別の傾向等を把握
- 今後のダイヤ・ルートの見直しの検討につながる基礎資料として整理

公共交通のニーズ把握

市民アンケート調査結果（まとめ）

1. 集計・分析結果の概要



●回答者の属性・移動や公共交通利用の実態について

- ・将来の外出には不安があるという人が多い。
- ・運転免許のない人ほど外出に不安を感じる傾向にあり、前回調査より運転免許のない人の不安が高まっている。
- ・通勤・通学以外の外出時の交通手段は半数程度が自動車に頼っている。
通勤・通学では鉄道利用が多いが、その他の公共交通の利用は限られている。
- ・鉄道に比べバス・タクシーは利用割合が低い。
- ・前回調査と比較して高齢者のバス利用が少なくなっており、特に端末交通手段としてのバス分担率が下がっている。
- ・直近2ヶ月で1回以上バスを利用した方は3割程度である。
- ・バスを利用しない理由として「他の交通手段を利用」「バスに乗る習慣がない」が多い。

●公共交通に関する取組みについて

- ・路線バスについては運行本数・運行時間帯に対する満足度が低い。
- ・市で進められた取組みの認知度は低い（5%～15%程度）ものの、
取組みによって公共交通が便利になったとの認識も一定数あった。
- ・買い物客へのバス無料チケットの配布、鉄道のダイヤに合わせたバスのダイヤ調整、
地域と事業者が連携したバス路線の見直しは、要望が最も多いが認知度は低かった。

課題

公共交通利用者や免許返納者の移動の不安に対し、ネットワークの見直しや持続可能な交通確保を行っていく必要がある。
取組みについては要望は多いが認知度が低く、周知・PRが必要。

1. 集計・分析結果の概要

●地域別の移動実態・ニーズについて

地域	片浦	中央 (中心部)	中央 (郊外部)	富水・桜井	川東・南部	川東・北部	橘
通勤・通学先	中央（中心部）	地域内	地域内	中央（中心部）	地域内	川東・南部	地域内
外出への不安	◎ 全外出で不安が高い	×	×	△ 現在の買物、通院の不安が高い	△ 将来の通院の不安が高い	×	◎ 全外出で不安が高い
利用手段	鉄道、家族送迎	徒歩、自転車	バス、家族送迎	鉄道	徒歩	自転車	家族送迎
バス利用率	20.2%	33.3%	36.9%	14.2%	32.7%	25.0%	47.1%
バスへの要望（乗らない理由）	運行本数・運行時間帯、運賃、待合環境、運賃の改善	運賃の改善（他の交通手段を利用）	（家族が送迎してくれる）	自宅近くのバス停の設置（他の交通手段を利用）	（バスに乗る習慣が無い）	運行ルート、所要時間・運行の定時性の改善	運行時間帯の改善（家族が送迎してくれる）
取組み認知度	◎ 全取組で認知度が高い	○ カーシェア、アプリ等の認知度が高い	×	×	×	×	◎ 全取組で認知度が高い
要望の多い取組み	・地域と事業者が連携したバス路線の見直し	・買い物客へのバス無料チケットの配布	・鉄道に合わせたバスのダイヤ調整 ・バスの乗り方教室の実施	（要望の回答が少ない） ・ノンステップバス・UDタクシーの導入	・情報案内版・時刻表の改善 ・バスマップの作成・配布 ・買い物客へのバス無料チケットの配布	・地域と事業者が連携したバス路線の見直し	・鉄道に合わせたバスのダイヤ調整 ・地域と事業者が連携したバス路線の見直し

課題

地域別に異なる市民ニーズを踏まえたサービス向上が必要。

片浦・橘2地域における地域主体の取組みの継続、横展開が必要。

他地域については取組みへの認知度が限定的で、周知・PRが必要。

2

調査概要

2. 概要

(1) 調査概要

目的：市民の移動実態や公共交通の利用状況、問題点・改善点等を把握するとともに、前回調査との比較、前回計画に基づく取組みの検証を行う。

対象：15歳以上の市民、計4,000票配布

(2) 回収状況

1,347票（回収率：33.7%） ※標本サンプルが100以上ある場合、信頼度95%、サンプリング誤差10%以内となり統計的な分析に問題ない水準といえる（市全体の分析では1,347票が標本サンプルとなりサンプリング誤差は3%以内に収まる）



各地域における配布数と回収数

地区名	R4.8人口 (人)	人口比率	各地区回収数確保を優先した配分	
			配布数	回収数
片浦地域	1,261	1%	250	129
中央地域（中心部）	44,100	24%	882	267
中央地域（郊外部）	17,841	10%	357	141
富水・桜井地域	40,145	21%	803	267
川東南部地域	46,383	25%	928	275
川東北部地域	26,436	14%	529	128
橘地域	11,388	6%	250	119
(無回答・不明)				21
計	187,554	100%	4,000	1,347
			回収率	33.7%

3. 調査項目

●集計・分析事項

(1) 回答者属性

- ・居住地、最寄り駅・バス停、性別、年代、職業
- ・車・運転免許・スマホ保有、支払い方法

(2) 現在・将来の移動

- ・目的別の外出実態、外出の不安

(3) 買物について（食料品・食料品以外）、（4）通院について、（5）通勤・通学について

- ・頻度、行先、交通手段

(6) 市内の路線バスの利用について

- ・直近2ヶ月の利用有無
- ・利用した場合→目的、頻度、区間、サービスについての満足度
- ・利用しなかった場合→利用しなかった理由

(7) 公共交通に関する取組みについて

- ・これまで市で進められた取組み、その他の取組みの認知度
- ・取組みの要望
- ・自由意見

日常のお出かけや移動に関するアンケート調査票

1. あなたご自身についてお聞きします。

問1. あなたご自身のことについて、お聞きします。(それぞれ1つに○印)

ア) 性別	①男性 ②女性 ③答えたくない
イ) 年齢	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上
ウ) 職業	①会社員・公務員・団体職員 ②自営業 ③パート・アルバイト(学生を除く) ④主婦(夫)・家事手伝い ⑤学生・生徒 ⑥無職 ⑦その他()
エ) 自動車の運転免許	①ある ②あるが返納予定あり(年後に返納予定) ③返納済み(失効含む) ④ない
オ) 自動車の所有状況	①自分専用の自動車がある ②時々使える家族共用の自動車がある ③いつでも使える家族共用の自動車がある ④持っていない
カ) スマートフォンの所有状況	①ある ②ない
キ) 公共交通を利用する際の主な支払い方法(複数回答可)	①交通系ICカード(Suica, PASMO, モバイルSuica等) ②QRコード等二次元ペーメント決済 ③クレジットカード ④その他(切符、磁気定期券等)
ク) お住まい ※大字名をご記入下さい	小田原市() ※記入例: 荻窪、南鴨宮3丁目、曾我別所 等
ケ) 最寄りの駅 やバス停	鉄道駅 () 駅 → 自宅から徒歩 () 分 バス停 () バス停 → 自宅から徒歩 () 分

2. お住まいの地域での現在及び将来の移動についてお聞きします。

問2. お住まいの地域における移動に対する、外出への不安(現在、将来)について、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。
将来については、10年後、現在のお住まいで生活していると仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答え下さい。①～④すべてにお答え下さい。

	現在の外出の実態				外出の不安			
	十分 ひとりで できる	ひとりで できる	誰かの助け があれば できる	できない	現在 不安がない	将来 不安がある	現在 不安がある	将来 不安がある
回答例 ①買物(食料品)先への移動について	1	2	3	4	①	2	1	②
① 買物(食料品)先への移動について	1	2	3	4	1	2	1	2
② 買物(衣料品)先への移動について	1	2	3	4	1	2	1	2
③ かかりつけ医への移動について	1	2	3	4	1	2	1	2
④ 金融機関への移動について	1	2	3	4	1	2	1	2

- 1 -

3. 買物についてお聞きします。

問3. 買物に行く頻度をお答え下さい。(1つに○印)

①週5日以上	②週に3～4日程	③週に1～2日程
④月に2～3回程度	⑤月に1回程度	⑥年に数回程度
⑦行かない } 問8へお進み下さい		

問4. 買物(食料品に関する)についてお聞きします。

一番よく利用する店舗(コンビニエンスストアを除く)をお答え下さい。(1つに○印)
③～⑥を選んだ場合は()内の支店名も1つに○印を付けて下さい。

①小田原ラスカ	②小田原駅周辺(小田原ラスカ以外)
③オオマサ(中野・久野・荻田・鴨宮)店	④小田原百貨店(桓山・寿町・板橋)店
⑤コープかながわ(寿町・国府津)店	⑥ヨークマート(鴨宮・酒匂)店
⑦イトーヨーカドー	⑧ドン・キホーテ小田原店
⑨シティーモール	⑩しまむらたちばな店
⑪新鮮館おだわら	⑫相鉄ローゼン富水店
⑬ロピア	⑭ダイナシティ
⑮その他の市内店舗(店舗名称:)	
⑯市外(市町村名:)	⑰店舗名:)

問5. 問4で回答した店舗への交通手段をお答え下さい。(主なもの1つに○印)

鉄道を利用されている場合は、ご自宅から駅までの交通手段についてもお答え下さい。

①鉄道	②路線バス	③車を自分で運転	④家族等の車で送迎	⑤タクシー	⑥原付・バイク	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他()	
鉄道駅までの交通手段					①路線バス ②車を自分で運転				
					③家族等の車で送迎 ④タクシー				
					⑤原付・バイク ⑥自転車				
					⑦徒歩 ⑧その他()				

問6. 買物(食料品以外)についてお聞きします。

一番よく利用する店舗(コンビニエンスストアを除く)をお答え下さい。(1つに○印)
③・④を選んだ場合は()の支店名も1つに○印を付けて下さい。

①小田原ラスカ	②小田原駅周辺(小田原ラスカ以外)
③しまむら(桓山・富水・東町・シティーモール)店	④ユニクロ(富水・シティーモール)店
⑤イトーヨーカドー	⑥シティーモール
⑦パシオス	⑧ダイナシティ
⑨その他の市内店舗(店舗名称:)	
⑩市外(市町村名:)	⑰店舗名:)

問7. 問6で回答した店舗への交通手段をお答え下さい。(主なもの1つに○印) 鉄道を利用されている場合は、ご自宅から駅までの交通手段についてもお答え下さい。

①鉄道	②路線バス	③車を自分で運転	④家族等の車で送迎	⑤タクシー	⑥原付・バイク	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他()	
鉄道駅までの交通手段					①路線バス ②車を自分で運転				
					③家族等の車で送迎 ④タクシー				
					⑤原付・バイク ⑥自転車				
					⑦徒歩 ⑧その他()				

- 2 -

4. 通院についてお聞きします。

問8. 通院の頻度をお答え下さい。(1つに○印)

①週5日以上	②週に3～4日程	③週に1～2日程
④月に2～3回程度	⑤月に1回程度	⑥年に数回程度
⑦通院していない } 問11へお進み下さい		

問9. 定期的に通院している医療機関を1つお答え下さい。複数の通院先がある場合は、一番利用が多い医療機関をお答え下さい。

①市内(医療機関名:)	※記入例: ○○病院、△医院等
②市外(市町村名:)	医療機関名:) ※記入例: 横浜市、○○病院等

問10. 問9で回答した医療機関への交通手段をお答え下さい。(主なもの1つに○印)

鉄道を利用されている場合は、ご自宅から駅までの交通手段についてもお答え下さい。

①鉄道	②路線バス	③車を自分で運転	④家族等の車で送迎	⑤タクシー	⑥原付・バイク	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他()	
鉄道駅までの交通手段					①路線バス ②車を自分で運転				
					③家族等の車で送迎 ④タクシー				
					⑤原付・バイク ⑥自転車				
					⑦徒歩 ⑧その他()				

5. 通勤・通学についてお聞きします。

問11. 通勤・通学の頻度をお答え下さい。(1つに○印)

①週5日以上	②週に3～4日程	③週に1～2日程
④月に2～3回程度	⑤月に1回程度	⑥年に数回程度
⑦通勤・通学していない } 問14へお進み下さい		

問12. 通勤・通学先はどこですか。所在地をお答えください。

①市内(大字名:)	※記入例: 荻窪、南鴨宮3丁目、曾我別所 等
②市外(市町村名:)	※記入例: 横浜市、大井町等

問13. 通勤・通学先へ行く時に利用する交通手段をお答え下さい。(主なもの1つに○印)

鉄道を利用されている場合は、ご自宅から駅までの交通手段についてもお答え下さい。

①鉄道	②路線バス	③車を自分で運転	④家族等の車で送迎	⑤タクシー	⑥原付・バイク	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他()	
鉄道駅までの交通手段					①路線バス ②車を自分で運転				
					③家族等の車で送迎 ④タクシー				
					⑤原付・バイク ⑥自転車				
					⑦徒歩 ⑧その他()				

- 3 -

6. 市内の路線バスの利用についてお聞きします。

問14. 市内で運行中の路線バスを最近2ヶ月で利用しましたか。(1つに○印)

①利用した } 問15へお進み下さい	②利用していない } 問16へお進み下さい
--------------------	-----------------------

問15. 問14で「①利用した」と回答された方にお聞きします。

(1) 路線バスはどのような目的で利用することが多いですか。(主な2つまでに○印)

①通勤	②通学	③買物(食料品)	④買物(食料品以外)
⑤通院	⑥趣味・娯楽	⑦業務(営業・打合せ等)	⑧その他()

(2) 路線バスはどの程度利用していますか。(1つに○印)

①週5日以上	②週に3～4日程	③週に1～2日程	④月に2～3回程度
⑤月に1回程度	⑥年に数回程度	⑦その他()	

(3) よく利用する区間(乗車バス停と降車バス停)はどこですか。

【乗車】()バス停	【降車】()バス停
※バス停名が分らない時は目印となる施設等の名称	※バス停名が分らない時は目印となる施設等の名称
: ()	: ()

(4) (3)で回答した区間の路線バスのサービスについて、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑥すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
① 運行ルート(経路、行き先等)	1	2	3	4	5
② 運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
③ 所要時間・運行の定時性(正確さ)	1	2	3	4	5
④ 運賃	1	2	3	4	5
⑤ 情報提供(時刻表、路線図等)	1	2	3	4	5
⑥ 待合環境(バス乗り場)	1	2	3	4	5

問16. 問14で「②利用していない」と回答された方にお聞きします。路線バスを利用しなかった理由をお答え下さい。(該当するもの全てに○印)

①運行本数が少ない(あるいはない)から	→ () から () へ行く便が少ない(あるいはない)
②運行時間帯が合わないから	→ () から () に () 時頃着く便がないから
③目的地まで時間がかかるから	④時間通りに運行されないから
⑤運賃が高いから	⑥バス停が自宅(あるいは目的地)近くに無いから
⑦バス停の待合環境が利用しづらいから	⑧家族等が自家用車で送迎してくれるから
⑨他の交通手段で移動しているから	⑩バスに乗る習慣が無いから
⑪その他 ()	

- 4 -

7. 公共交通に関する取組みについてお聞きます。

問 17. 小田原市では平成 25 年に公共交通に関する計画を策定し、お出かけ品質向上に向けた取組みを実施してきました。

(1) 小田原市で実施してきた公共交通に関する取組み(下表①～⑦)について、ご存知ですか。また、その取組みで公共交通の利用が便利になったと感じますか。

①～⑦すべてにお答えください。(それぞれ最もあてはまるもの 1 つに○印)

これまで小田原市で進めてきた 公共交通の取組み		知っていた ⇒この取組みで公共交通の 利用は便利になったか		知らなかった
		便利になった	変わらない	
取組①	小田原駅周辺の情報案内板・時刻表の改善	1	2	3
取組②	鉄道に合わせたバスのダイヤ調整	1	2	3
取組③	地域と事業者が連携したバス路線見直し	1	2	3
取組④	バスマップの作成・配布	1	2	3
取組⑤	ノンストップバス・ユニバーサルデザインタクシーの導入	1	2	3
取組⑥	バスの乗り方教室の実施	1	2	3
取組⑦	買い物客へのバス無料チケットの配布	1	2	3

(2) 上記①～⑦の取組みについて、今後もお住まいの地域などで、取組んでほしいと思うものを 2 つ選び、その理由や具体的な要望等があればお答えください。

取組み () (理由・ご要望:)

取組み () (理由・ご要望:)

問 18. その他の以下の取組みについて、ご存知ですか。実際に利用したことがありますか。最もあてはまるもの 1 つに○印をつけてください。①～⑤すべてにお答えください。

その他の取組み		知っていた ⇒利用したことがあるか		知らなかった
		利用あり	利用なし	
①	カーシェアリング	1	2	3
②	シェアサイクル	1	2	3
③	出発駅から到着駅への路線・乗換情報の検索 (乗換案内等の検索アプリやHP)	1	2	3
④	出発地から目的地への経路の検索 (Google Map 等の検索アプリやHP)	1	2	3
⑤	タクシーの予約・配車アプリ (スマートフォン等でタクシーが呼べるアプリ)	1	2	3

問 19. 公共交通に関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

- 5 - ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れご投函ください。

これまで小田原市で進めてきた

公共交通の取組み概要

取組① 小田原駅周辺の情報案内板・時刻表の改善

外国人観光客を含む誰もが分かりやすい情報案内板の整備を行うことで、駅施設等の利便性の向上を図りました。



取組③ 地域と事業者が連携したバス路線見直し

利用目的・時間帯等に配慮した路線バスの改善(運行経路、ダイヤ等)を行いました。

<取組例>

橋地域において、地域の皆様とともに、ニーズ把握・路線バスの再編・利用啓発を行いました。

	実施運行前	再編 1 回目	再編 2 回目
利用客数/日	684 人/日	910 人/日	840 人/日
運行台数	4 台	5 台	4 台
輸送人員/日・台	171 人/日・台	182 人/日・台	210 人/日・台

取組⑤ ノンストップバス・ユニバーサルデザインタクシーの導入

ノンストップバスやユニバーサルデザインタクシー等を導入しました。

種別	車両台数	バリアフリー 対応車	導入率
路線バス	355 台	176 台	49.5%
タクシー	501 台	46 台	9.1%

R2 時点

取組⑦ 買い物客へのバス無料チケットの配布

商業者、バス事業者、行政の連携により、交通渋滞が慢性化している中里周辺地区において、「自家用車から公共交通への利用転換」による公共交通の利用促進と、道路混雑の緩和による二酸化炭素排出量を削減しました。



取組② 鉄道に合わせたバスのダイヤ調整

鉄道・バス間のダイヤ接続の調整等、乗り換え時の待ち時間を少なくスムーズにするための取組みを行いました。



取組④ バスマップの作成・配布

バス利用者の利便性向上及び利用促進を図るため、バスマップの作成等を行いました。



取組⑥ バスの乗り方教室の実施

将来、利用者となる小学生を対象に、乗り方教室を実施し、その存在や、必要性を認識してもらい、家族を含めた乗車を促す利用啓発を行いました。



小田原地域公共交通総合連携計画

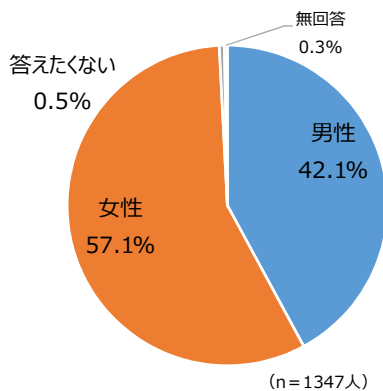


単純集計結果

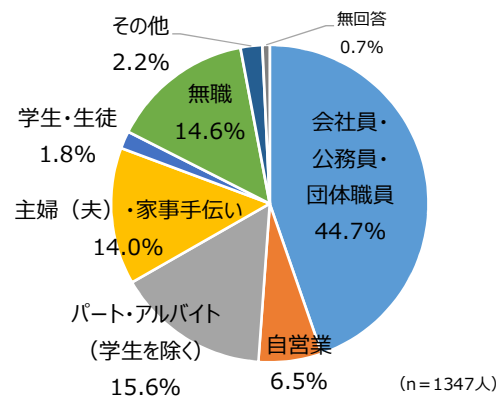
4. 集計・分析結果

(1) 回答者属性

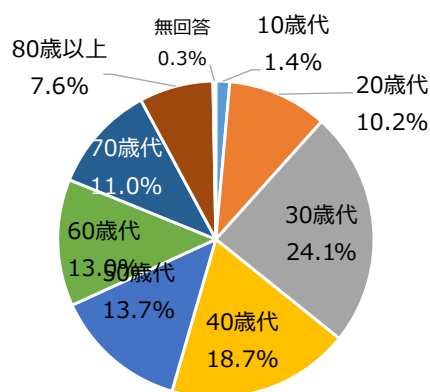
・性別



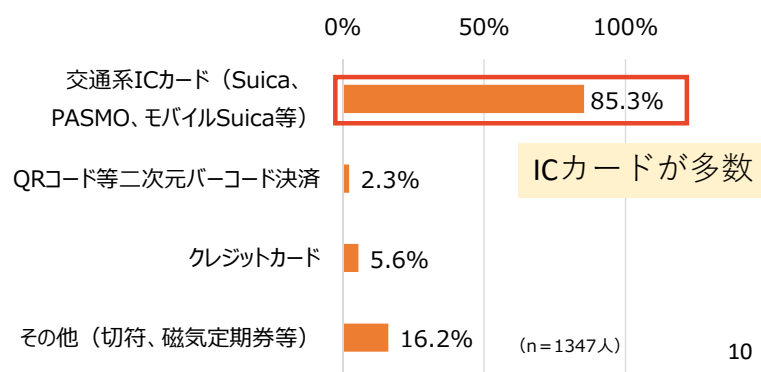
・職業



・年代



・公共交通利用時の主な支払い方法 (複数回答)

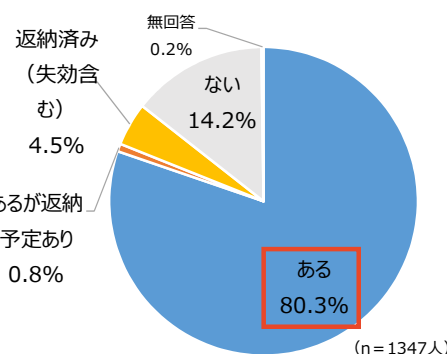


4. 集計・分析結果

(1) 回答者属性

・自動車の運転免許

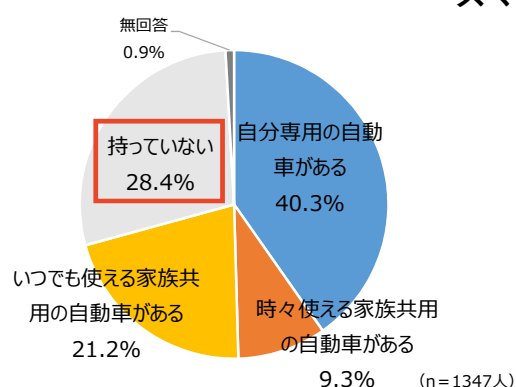
免許返納の予定時期
回答者：7人
→ 5年以内：5名
→ 5年以上先：2名



80.3%が免許所有

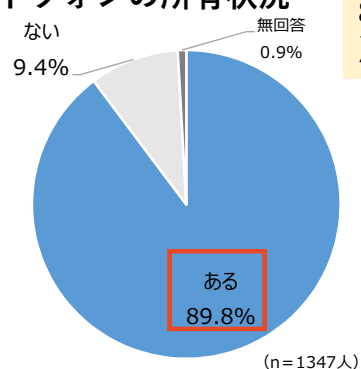
・自動車の所有状況

自動車を持っていない人が
28.4%



・スマートフォンの所有状況

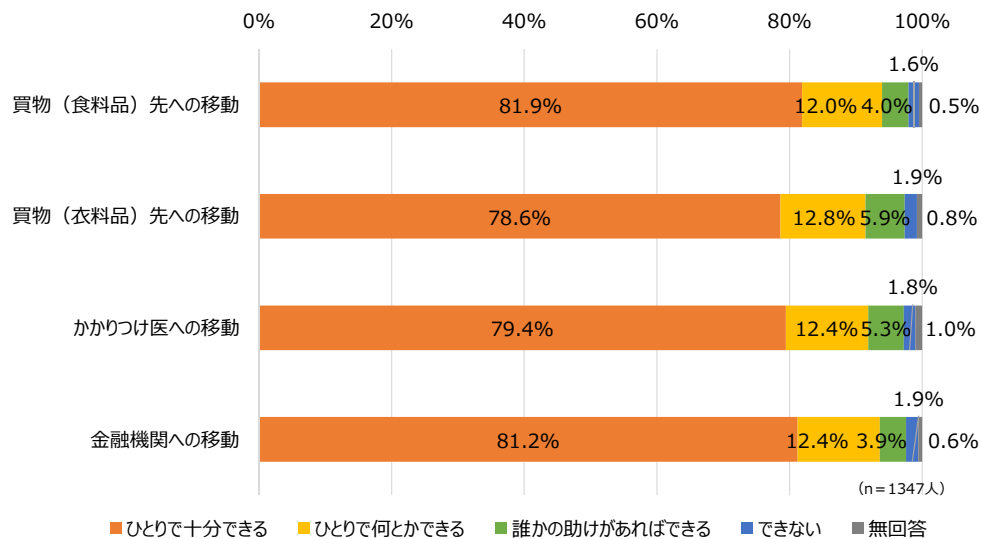
89.8%がスマホ所有



4. 集計・分析結果

(2) 現在・将来の移動

・現在の外出の実態



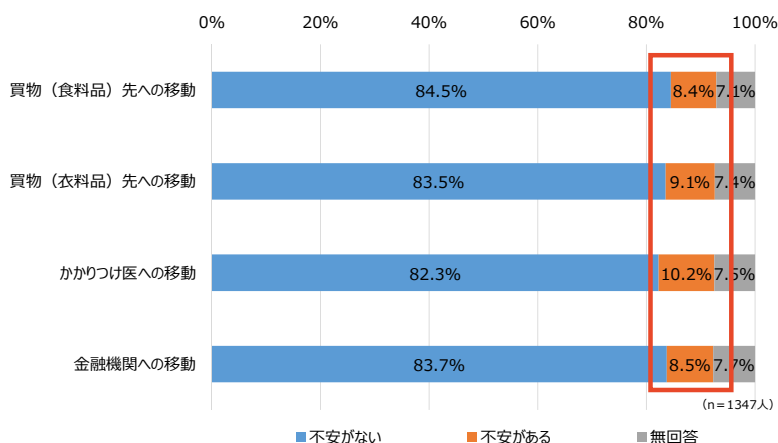
現在の外出については概ね8割程度の人が「ひとりで十分にできる」と回答している。

4. 集計・分析結果

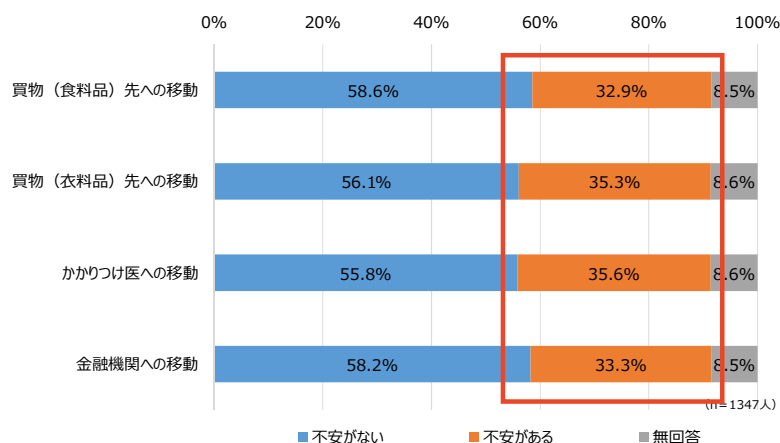
(2) 現在・将来の移動

・外出への不安について

【現在】



【将来（10年後）】



- 現在の外出については8割以上の人が「不安がない」と回答している。
- 一方、将来（10年後）の外出に対しては3割以上の人が不安を感じている。

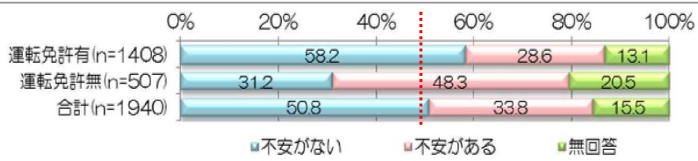
4. 集計・分析結果

(2) 現在・将来の移動

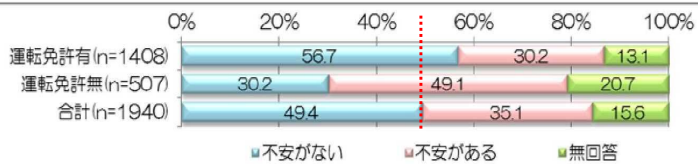
・外出への不安について（免許保有状況別）

（参考）前計画策定時の調査結果 将来（10年後）の不安

【買物（衣料品）】



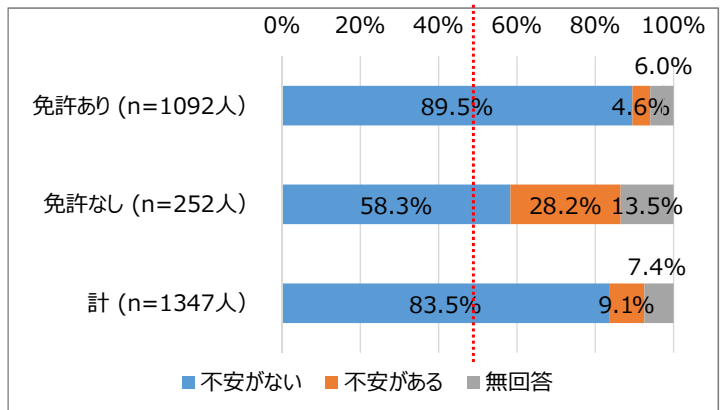
【通院】



- 免許なしの人は、免許ありの人と比較し、外出に対して「不安がある」との回答が多い。
- 前計画策定時の調査結果と比較すると、免許保有状況別の傾向は同様であるが、合計として外出への不安は減っている。

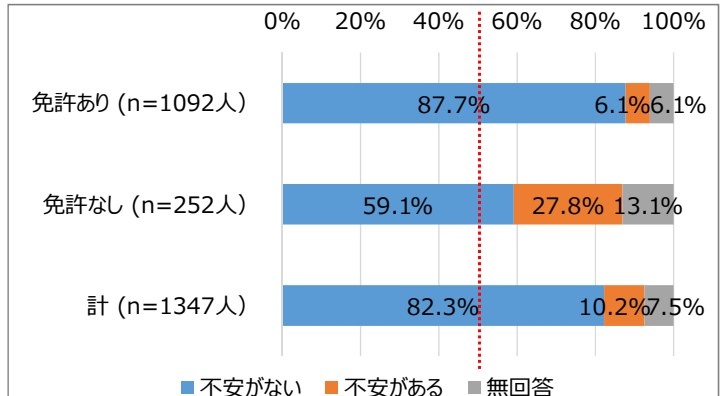
【買物（衣料品）】現在の不安

前計画における
目標値50%



【通院】現在の不安

前計画における
目標値50%



14

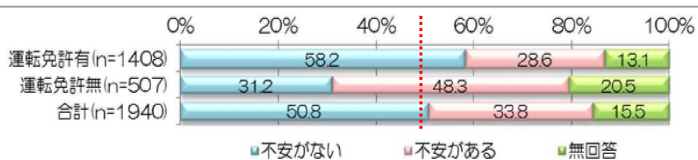
4. 集計・分析結果

(2) 現在・将来の移動

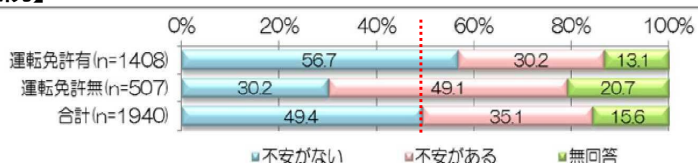
・外出への不安について（免許保有状況別）

（参考）前計画策定時の調査結果 将来（10年後）の不安

【買物（衣料品）】



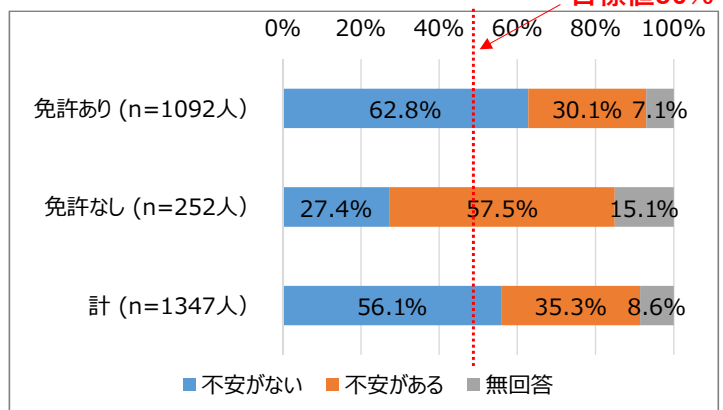
【通院】



- 免許なしの人は、免許ありの人と比較し、外出に対して「不安がある」との回答が多い。
- 前計画策定時の調査結果と比較すると、特に免許なしの人の将来の不安が高まっている。

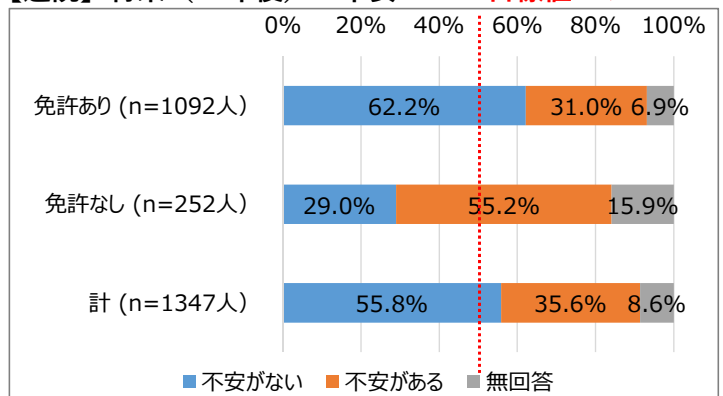
【買物（衣料品）】将来（10年後）の不安

前計画における
目標値50%



【通院】将来（10年後）の不安

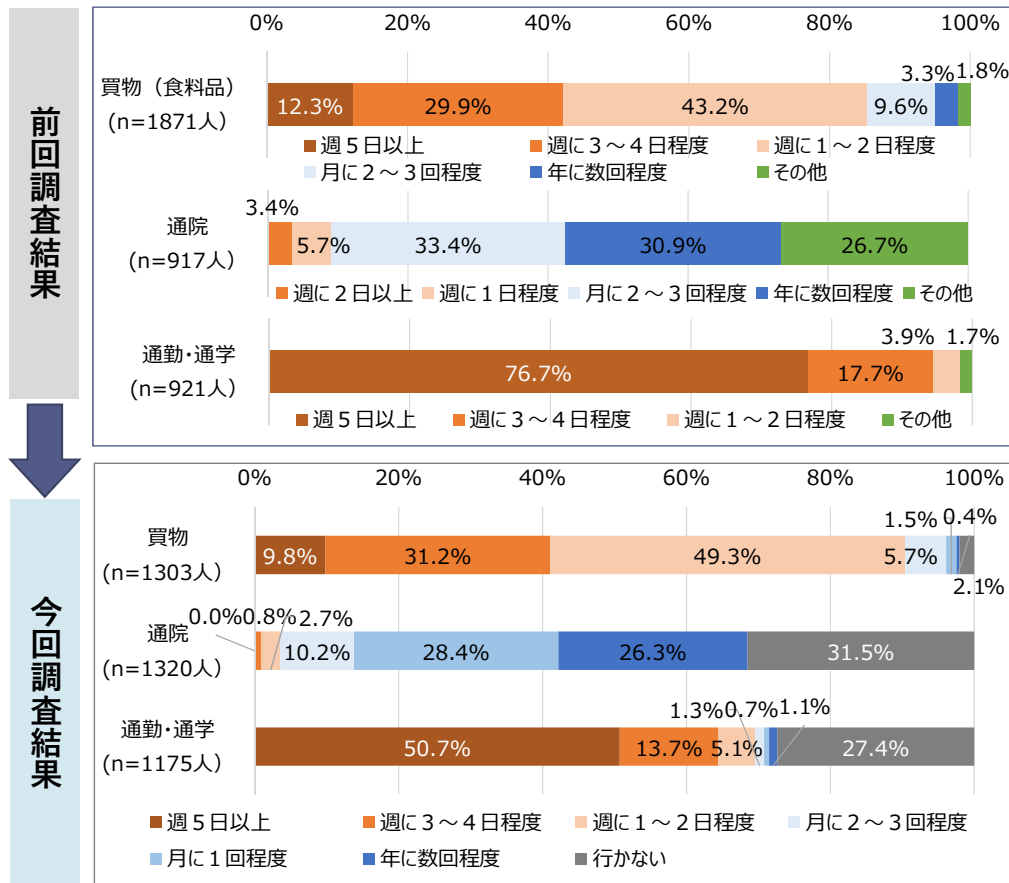
前計画における
目標値50%



15

4. 集計・分析結果

外出の頻度の変化

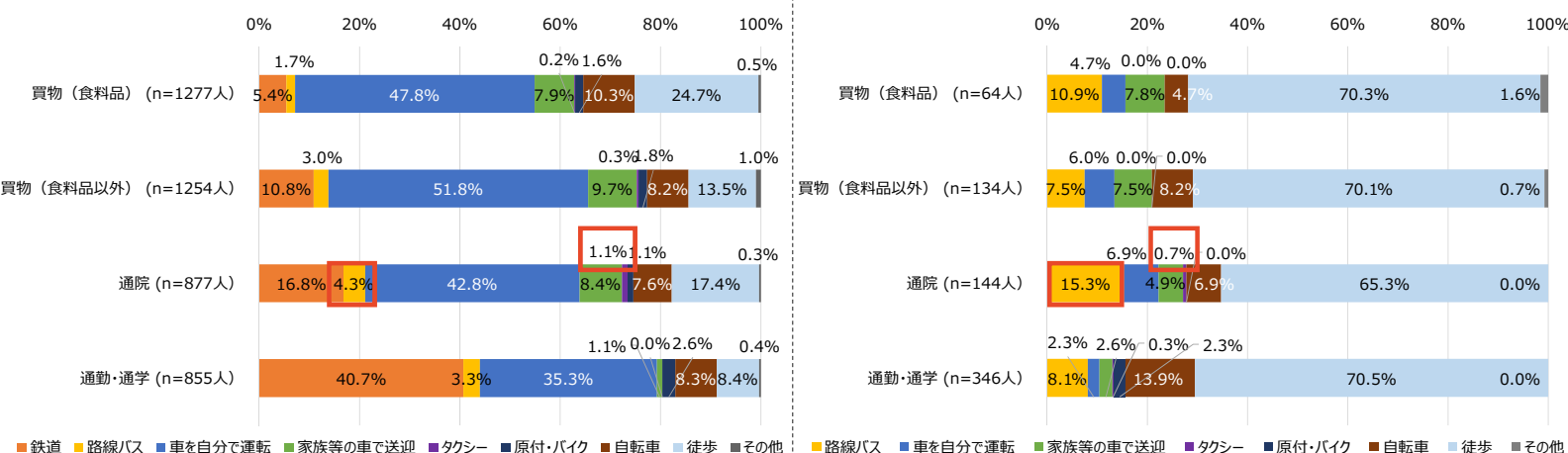


16

4. 集計・分析結果

外出時の利用交通手段

(鉄道利用の場合) 鉄道駅までの交通手段



- 買物・通院では車（自分で運転）が最も多く、公共交通の利用が限られている。
- 通勤・通学では鉄道が最も多い。
- 通院では他の外出時と比較して路線バス・タクシーの利用割合が高くなっているものの、鉄道と比べ利用割合が全体的に低い。
- 鉄道駅までの交通手段としては徒歩が最も多く7割程度を占め、次いで路線バス、自転車の順に多い。

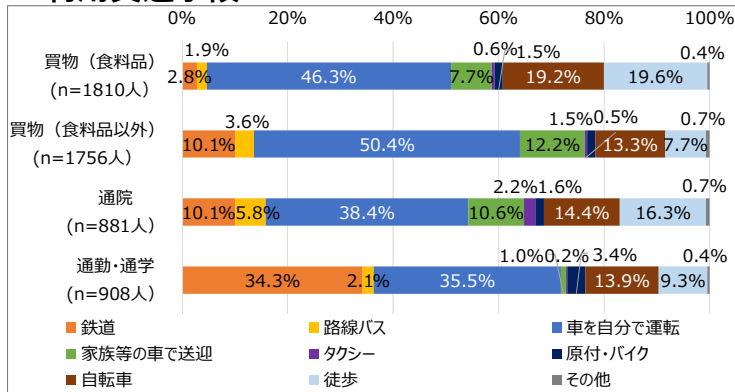
17

4. 集計・分析結果

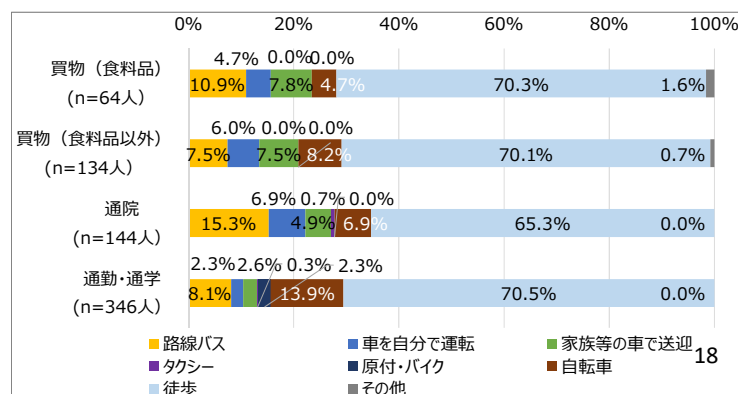
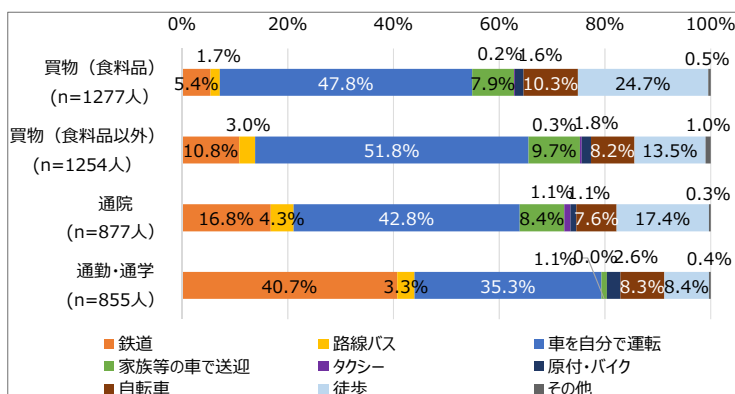
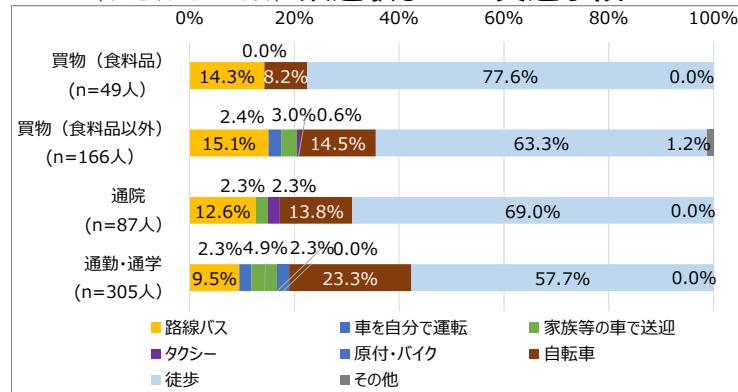
外出時の利用交通手段の変化

- 路線バスの分担率は、主な利用交通手段・鉄道駅までの交通手段ともに、前回調査と比べ下がっている。

・利用交通手段



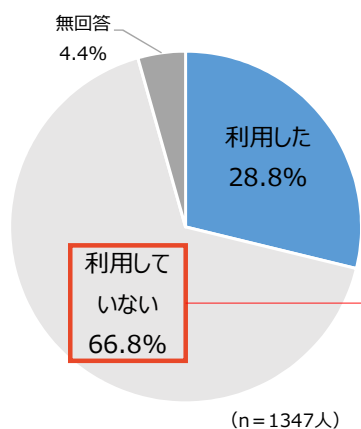
(鉄道利用の場合) 鉄道駅までの交通手段



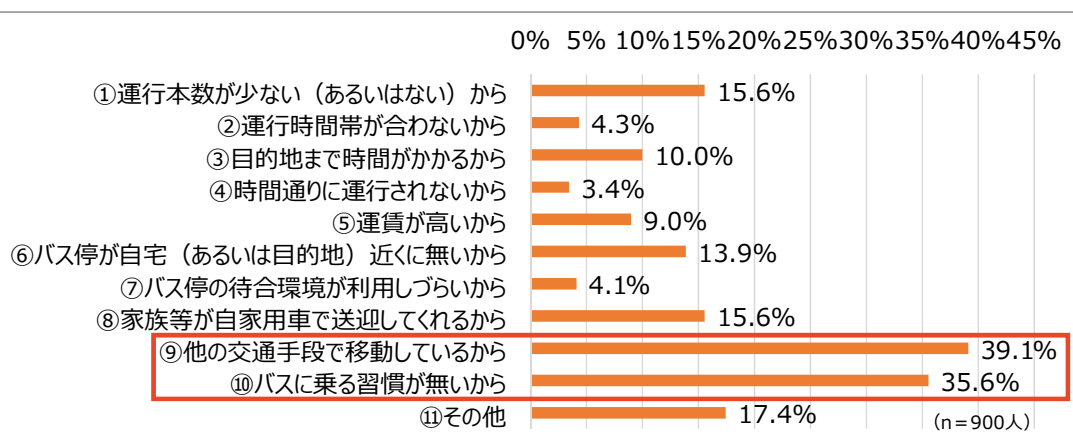
4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・直近2ヶ月の利用有無



利用しなかった理由（複数回答）



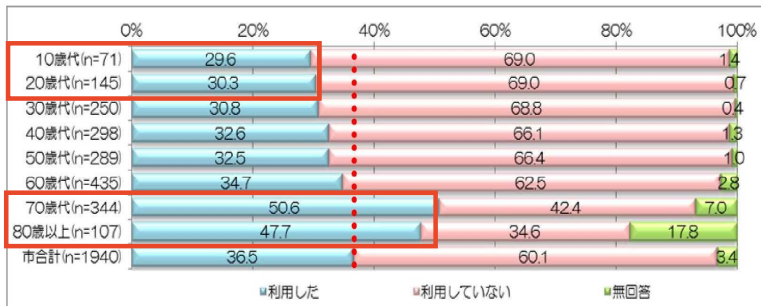
- 直近2ヶ月で市内の路線バスを利用した人は28.8%であり、利用しなかった理由としては「他の交通手段で移動しているから」、「バスに乗る習慣が無いから」の順に多い。
- 「その他」の回答として、「自分で運転するから」「子連れだから」「コロナ禍で外出や公共交通の利用を控えているから」といった意見があった。

4. 集計・分析結果

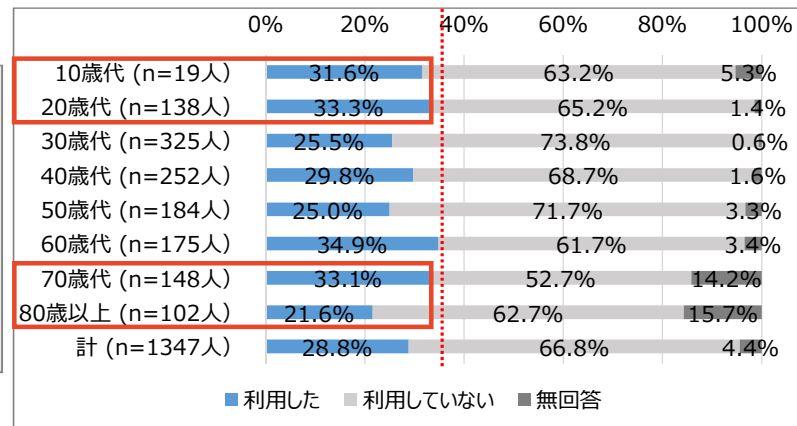
(6) 市内の路線バスの利用について

・直近2ヶ月の利用有無（年代別）

（参考）前計画策定時の調査結果



前計画における
目標値
36.5%



- 年代別の利用割合は、60歳代が34.9%と最も多く、
- 次に20歳代（33.3%）、70歳代（33.1%）の順が多い。
- 前計画策定時の調査結果と比較すると、全市平均として利用割合は下がっており、目標値は達成していない。
- 一方、70歳代・80歳代以上の利用割合が大きく減少している。

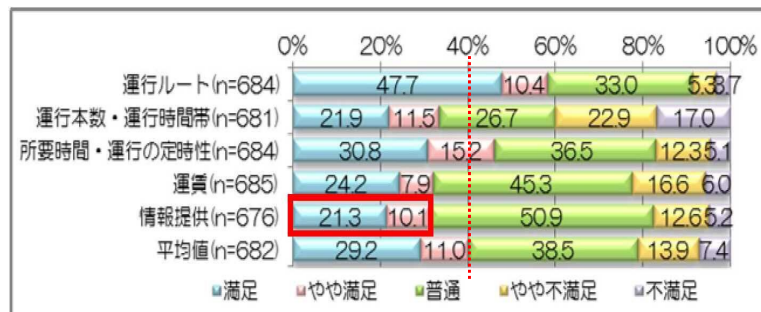
20

4. 集計・分析結果

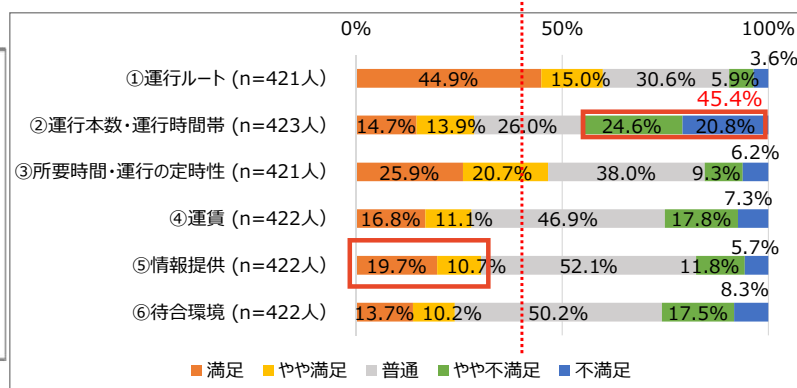
(6) 市内の路線バスの利用について

・路線バスのサービスに対する満足度

（参考）前計画策定時の調査結果



前計画における
目標値
40%



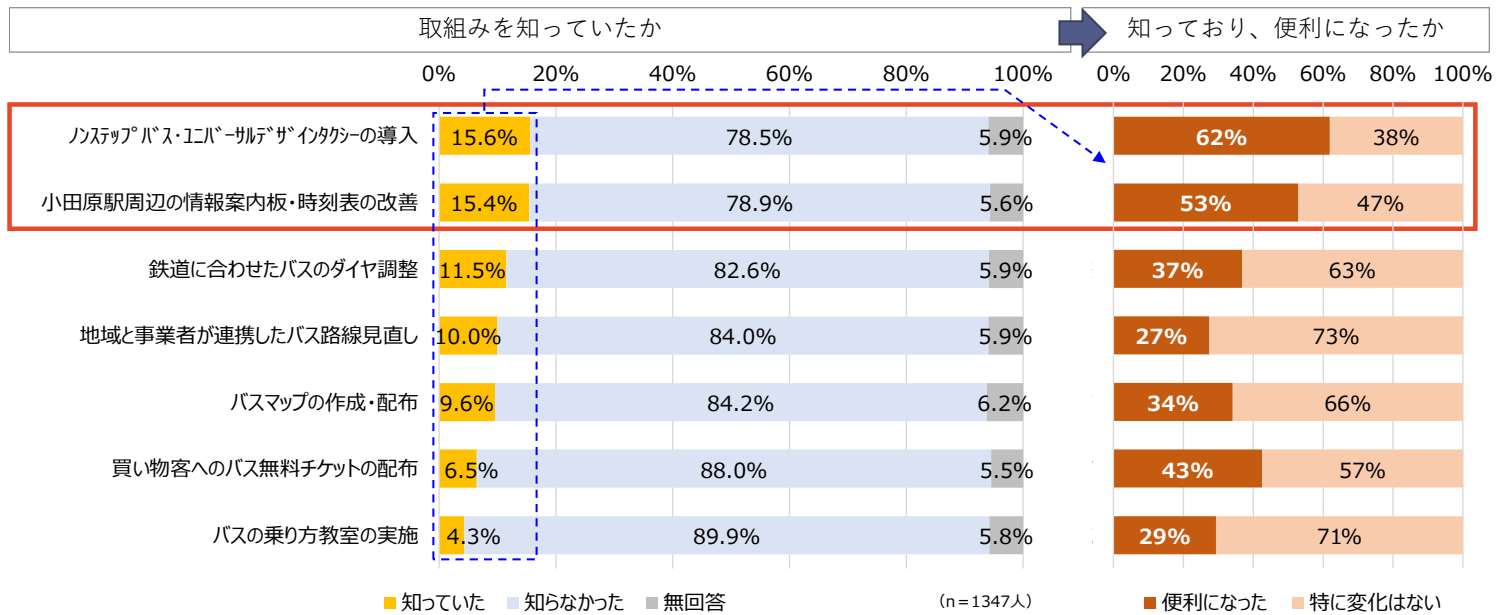
- 路線バスのサービスに対する満足度は①「運行ルート」が最も高い。
- 最も満足度が低いのは②「運行本数・運行時間帯」で、「不満足」「やや不満足」の割合が45.4%と「満足」「やや満足」の28.6%を上回っていた。
- 前計画策定時の調査結果と比較すると、①「運行ルート」③「所要時間・運行の定時性」以外の項目は満足度が低下している。

21

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・これまで市で進められた取組みの認知度



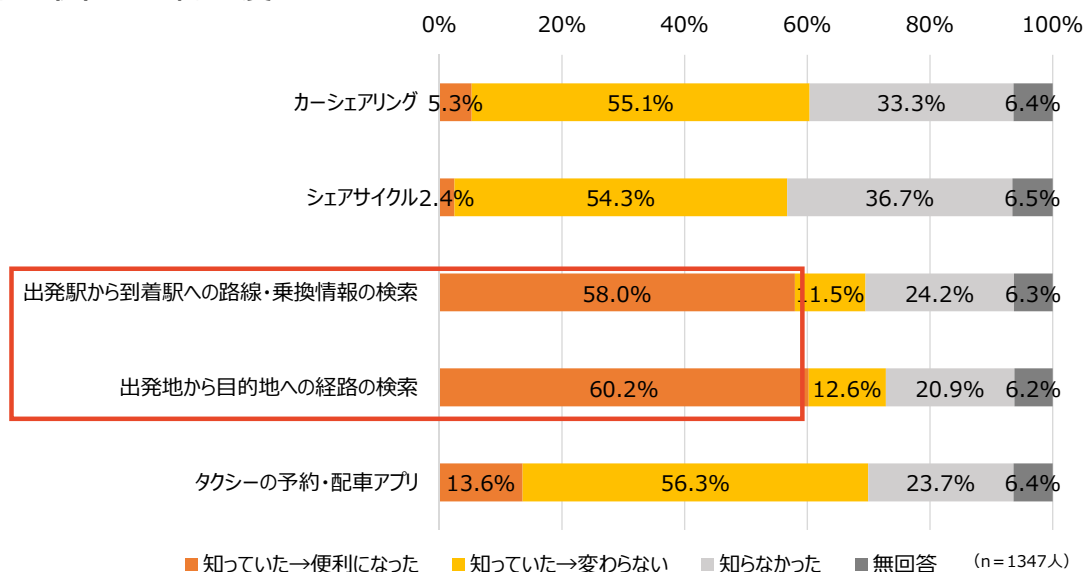
- これまでの取組みの認知度は5%未満～15%程度となっている。
- ノンステップバス・ユニバーサルデザインタクシーの導入、小田原駅周辺の情報案内板・時刻表の改善の順で認知度が高い。この2つの取組みに関しては「知っており、取組みによって公共交通の利用が便利になった」との回答も他取組みと比較して多い。

22

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・その他の取組みの認知度



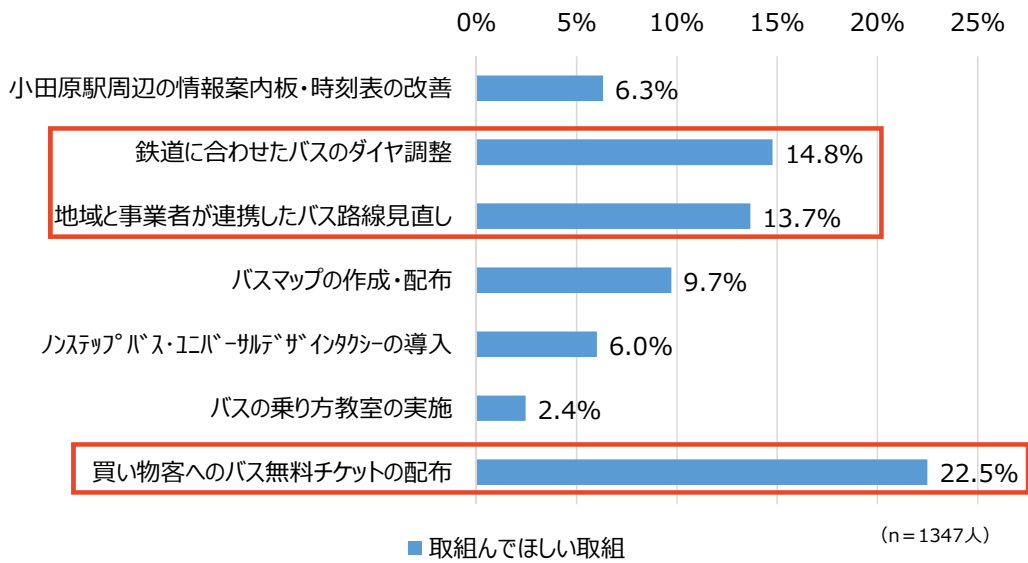
その他の取組みの認知度は55%～75%程度と高くなっている。
「知っており、取組みによって公共交通の利用が便利になった」との回答は乗換案内・経路検索（Google Mapなどの検索アプリ）で特に多くなっており、半数以上が活用している状況である。

23

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・これまで市で進められた取組みのうち、自身の地域で取り組んでほしいと思うもの



買い物客へのバス無料チケットの配布に対する要望が最も多く、22.5%であった。次いで、鉄道に合わせたバスのダイヤ調整、地域と事業者が連携したバス路線見直しの順で要望が多くなっていた。

4. 集計・分析結果

外出先 (3) 買物について

・食料品

買物先 (食料品)	票数	買物先 (食料品以外)	票数
ロピア	102	小田原駅周辺 (小田原ラスカ以外)	49
小田原ラスカ	93	ヨークマート酒匂店	45
小田原百貨店板橋店	90	しまむらたちばな店	45
その他の市内店舗	89	ヤオマサ久野店	44
ヤオマサ蛸田店	64	ヨークマート鴨宮店	37
シティモール	63	新鮮館おだわら	34
ダイナシティ	62	小田原百貨店栢山店	28
マックスバリュ荻窪店	60	相鉄ローゼン富水店	28
ヤオマサ鴨宮店	59	ドン・キホーテ小田原店	22
ヤオマサ中町店	54	小田原百貨店寿町店	20
市外	52	コープかながわ寿町店	1
イトーヨーカドー	51	コープかながわ国府津店	0

・食料品以外

買物先 (食料品以外)	票数
ダイナシティ	309
シティモール	253
小田原ラスカ	132
その他の市内店舗	119
小田原駅周辺 (小田原ラスカ以外)	98
市外	85
イトーヨーカドー	84
ユニクロシティモール店	36
しまむらシティモール店	30
しまむら栢山店	25
しまむら東町店	21
パシオス	16
ユニクロ富水店	13
しまむら富水店	2

4. 集計・分析結果

外出先（4）通院について

・市内

通院先（5票以上）	票数		
小田原市立病院	55	杏林堂クリニック	8
山近記念総合病院・クリニック	32	横田小児科	8
マナクリニック	25	吉田クリニック	7
善ファミリークリニック	20	クローバー皮膚科クリニック	7
小澤病院	16	さかわ内科クリニック	7
久野銀座クリニック	16	小島クリニック	7
山田クリニック	14	福井内科消化器科クリニック	7
間中病院	12	あやクリニック	6
小林病院	12	ときわ内科クリニック	6
片浦診療所	11	たかくら眼科	6
雨宮内科医院	10	山口耳鼻咽喉科医院	6
小田原循環器病院	10	川上医院	6
渡辺内科クリニック	10	永井病院	6
清水内科クリニック	9	竹田整形外科	6
丹羽病院	9	遠藤クリニック	6
西湘病院	9	菊地医院	5

・市外

市外通院先（5票以上）	票数
東京都	23
南足柄市	15
伊勢原市	14
二宮町	11
横浜市	10
平塚市	8
湯河原町	6
大磯町	6
藤沢市	5
大井町	5

地域別・年代別クロス集計結果

4. 集計・分析結果

外出の頻度の変化（年代別）

年代	買物（週3回以上）			通院（月2回以上）			通勤・通学（週5日以上）		
	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回
10歳代	11.3%	5.3%	-6.0%	2.8%	10.5%	7.7%	87.3%	84.2%	-3.1%
20歳代	22.1%	35.5%	13.4%	9.0%	10.1%	1.2%	66.9%	65.9%	-1.0%
30歳代	37.6%	37.2%	-0.4%	8.0%	12.9%	4.9%	60.4%	54.8%	-5.6%
40歳代	42.6%	44.8%	2.2%	12.8%	8.3%	-4.4%	56.4%	61.9%	5.5%
50歳代	45.3%	46.7%	1.4%	19.7%	13.0%	-6.7%	49.5%	55.4%	6.0%
60歳代	44.8%	47.4%	2.6%	21.8%	13.1%	-8.7%	15.9%	27.4%	11.6%
70歳代	46.8%	40.5%	-6.3%	35.5%	23.0%	-12.5%	4.4%	3.4%	-1.0%
80歳以上	38.3%	20.6%	-17.7%	39.3%	21.6%	-17.7%	0.9%	0.0%	-0.9%
計	40.7%	39.8%	-0.9%	20.1%	13.6%	-6.5%	36.4%	44.4%	8.0%

- 外出頻度について、買物は0.9ポイントの減少、通院が6.5ポイントの減少、通勤・通学は8.0ポイントの増加となっている。
- 年代別にみると、70歳代、80歳以上の外出頻度が減少している。

28

4. 集計・分析結果

バス分担率の変化（年代別）

バス分担率（主な交通手段）

年代	買物（食料品）			買物（食料品以外）			通院			通勤・通学			今回-前回 （平均）
	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	
10歳代	1.5%	5.9%	4.4%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	12.5%	12.5%	3.2%	5.6%	2.4%	5.0%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	3.3%	3.3%	0.8%	3.4%	2.6%	1.6%
30歳代	1.2%	0.6%	-0.6%	2.1%	2.2%	0.1%	3.8%	2.9%	-0.9%	1.7%	3.2%	1.5%	0.0%
40歳代	0.0%	1.6%	1.6%	1.0%	2.0%	1.0%	2.7%	0.7%	-2.0%	1.9%	3.8%	1.9%	0.5%
50歳代	1.8%	1.2%	-0.7%	3.0%	2.4%	-0.6%	3.7%	5.7%	2.0%	2.8%	1.5%	-1.3%	-0.1%
60歳代	1.5%	1.8%	0.3%	3.5%	2.4%	-1.2%	3.3%	3.0%	-0.3%	1.7%	2.2%	0.5%	-0.1%
70歳代	5.4%	4.6%	-0.8%	8.0%	6.6%	-1.4%	10.8%	7.3%	-3.5%	6.1%	7.4%	1.3%	-0.9%
80歳以上	3.7%	5.0%	1.3%	15.9%	6.9%	-9.0%	13.0%	8.5%	-4.5%	0.0%	33.3%	33.3%	4.2%
計	1.9%	1.7%	-0.2%	3.6%	3.0%	-0.6%	5.9%	4.3%	-1.6%	2.1%	3.3%	1.2%	-0.2%

バス分担率（駅までの交通手段）

年代	買物（食料品）			買物（食料品以外）			通院			通勤・通学			今回-前回 （平均）
	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	
10歳代	0.0%	50.0%	50.0%	7.7%	25.0%	17.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	11.1%	7.3%	14.9%
20歳代	11.1%	0.0%	-11.1%	10.3%	0.0%	-10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	4.2%	-6.8%	-5.6%
30歳代	0.0%	12.5%	12.5%	6.9%	0.0%	-6.9%	0.0%	8.0%	8.0%	10.4%	6.2%	-4.3%	1.9%
40歳代	9.1%	12.5%	3.4%	9.1%	11.8%	2.7%	6.7%	20.0%	13.3%	7.2%	6.6%	-0.7%	3.7%
50歳代	11.5%	0.0%	-11.5%	14.6%	5.6%	-9.0%	12.0%	7.7%	-4.3%	12.9%	13.1%	0.2%	-4.9%
60歳代	10.8%	11.1%	0.3%	21.6%	6.7%	-14.9%	17.3%	30.0%	12.7%	12.1%	10.3%	-1.8%	-0.7%
70歳代	20.9%	16.7%	-4.2%	23.4%	13.6%	-9.7%	24.1%	30.0%	5.9%	0.0%	25.0%	25.0%	3.4%
80歳以上	27.8%	14.3%	-13.5%	36.4%	16.7%	-19.7%	16.7%	7.7%	-9.0%	33.3%	0.0%	-33.3%	-15.1%
計	15.9%	10.9%	-5.0%	18.2%	7.5%	-10.7%	15.9%	15.3%	-0.7%	9.4%	8.1%	-1.3%	-3.5%

- 通院の主な交通手段、買物・通勤通学の端末交通手段としてのバス分担率が減少している。
- 特に80歳以上の端末交通手段としてのバス分担率が減少している。

29

4. 集計・分析結果

(2) 現在・将来の移動

・外出への不安について（地域別）

地域	現在「不安がある」との回答割合				将来（10年後）「不安がある」との回答割合			
	買物（食料品） 先への移動	買物（衣料品） 先への移動	かかりつけ医 への移動	金融機関 への移動	買物（食料品） 先への移動	買物（衣料品） 先への移動	かかりつけ医 への移動	金融機関 への移動
片浦地域 (n=129人)	16.3%	15.5%	19.4%	14.7%	69.8%	70.5%	72.9%	69.8%
中央（中心部）地域 (n=267人)	6.0%	6.4%	6.4%	5.2%	22.8%	26.2%	23.2%	22.8%
中央（郊外部）地域 (n=141人)	6.4%	7.8%	6.4%	5.7%	26.2%	31.9%	29.8%	26.2%
富水・桜井地域 (n=267人)	8.2%	9.4%	12.0%	8.6%	28.5%	30.7%	30.0%	29.6%
川東・南部地域 (n=275人)	6.9%	7.6%	8.4%	8.4%	29.1%	30.9%	34.9%	30.2%
川東・北部地域 (n=128人)	7.0%	7.8%	10.2%	8.6%	26.6%	28.1%	28.9%	25.8%
橘地域 (n=119人)	14.3%	15.1%	16.0%	14.3%	52.9%	54.6%	55.5%	52.9%
計 (n=1326人)	8.5%	9.2%	10.4%	8.7%	33.3%	35.7%	36.0%	33.6%

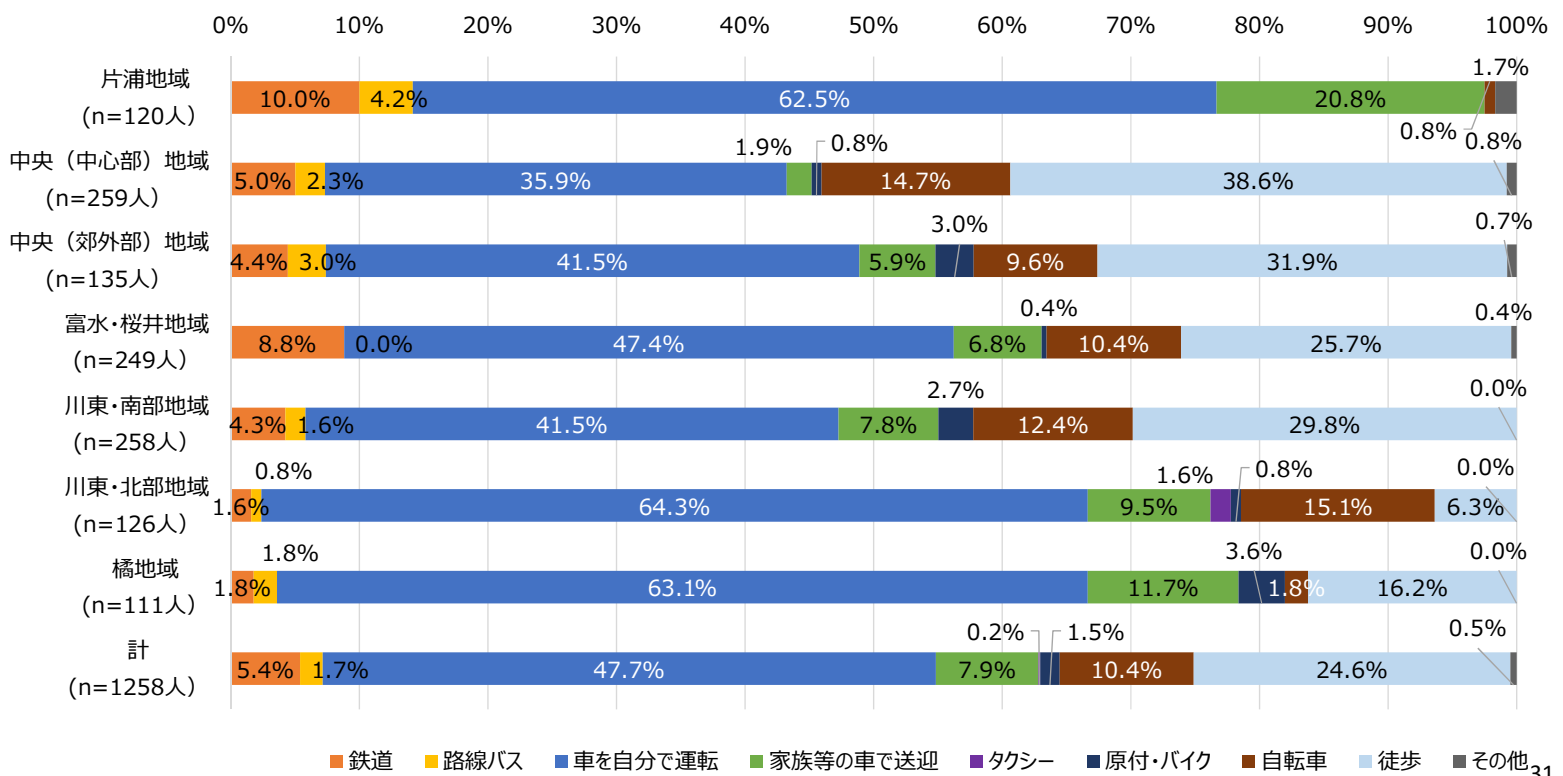
- 片浦地域、橘地域において不安を感じている人が多い。
- 富水・桜井地域では現在の買物（衣料品）、通院について不安が多い。
- 川東・南部地域では将来の通院について不安が多い。

30

4. 集計・分析結果

外出先（3）買物について

・利用交通手段（食料品）（地域別）

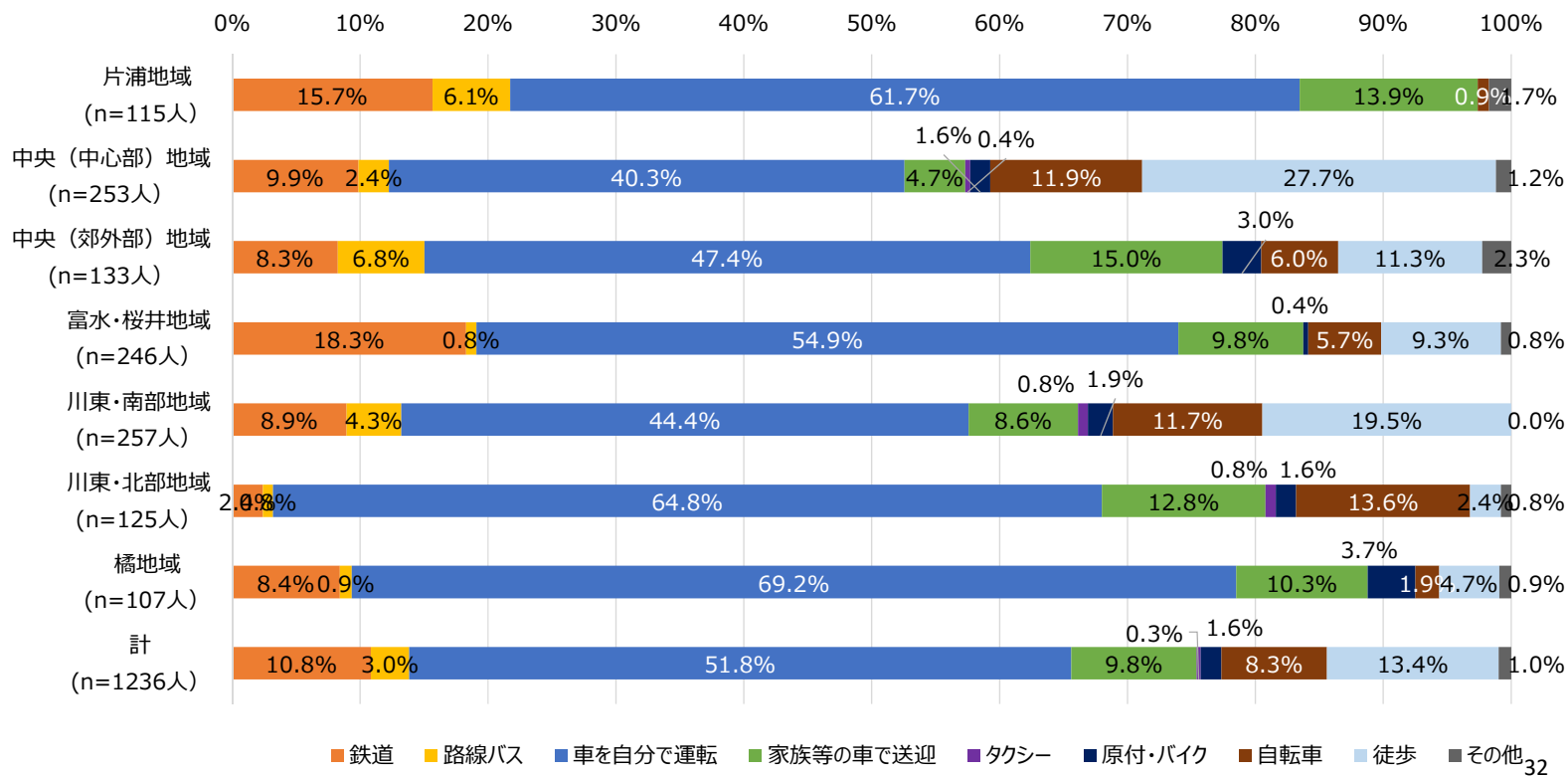


31

4. 集計・分析結果

外出先（3）買物について

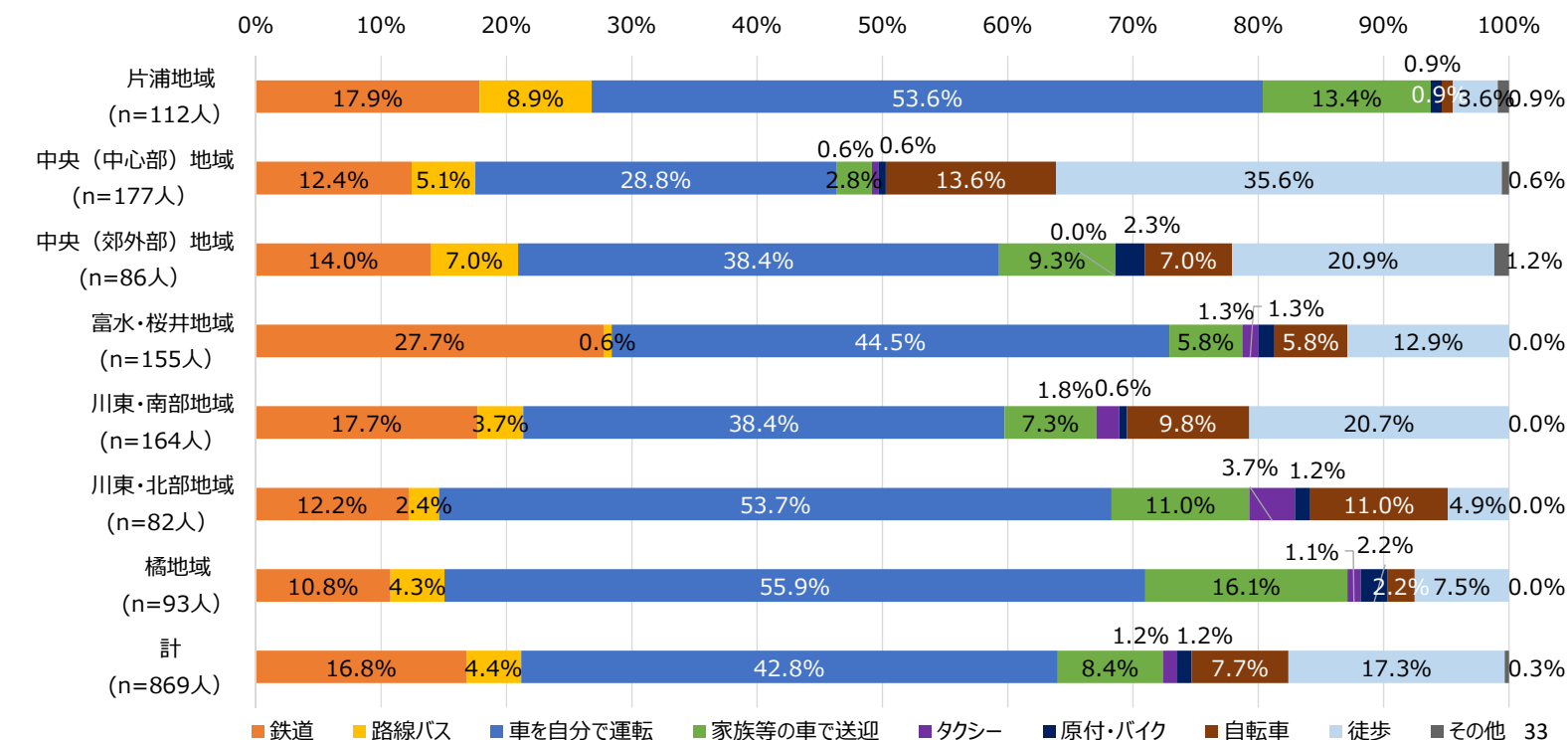
・利用交通手段（食料品以外）（地域別）



4. 集計・分析結果

外出先（4）通院について

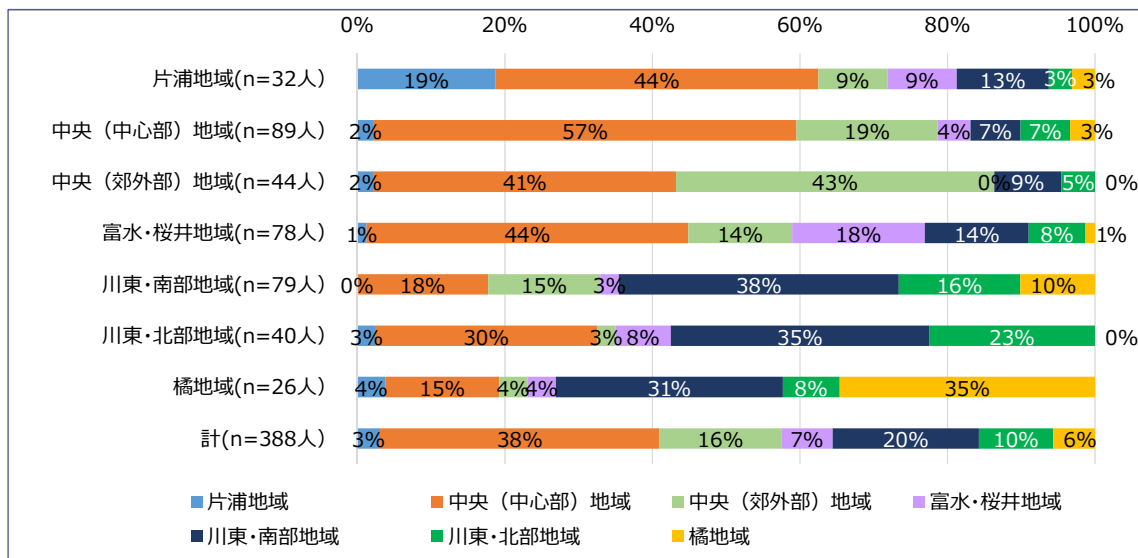
・利用交通手段（地域別）



4. 集計・分析結果

外出先（５）通勤・通学について

・市内



・市外

市外通勤・通学先 (5票以上)	票数
東京都	76
横浜市	60
箱根町	42
南足柄市	26
平塚市	26
秦野市	21
開成町	16
大井町	15
藤沢市	14
厚木市	12
伊勢原市	10
熱海市	10
中井町	7
山北町	7
湯河原町	7
川崎市	6
茅ヶ崎市	6
鎌倉市	5
その他	64
総計	430

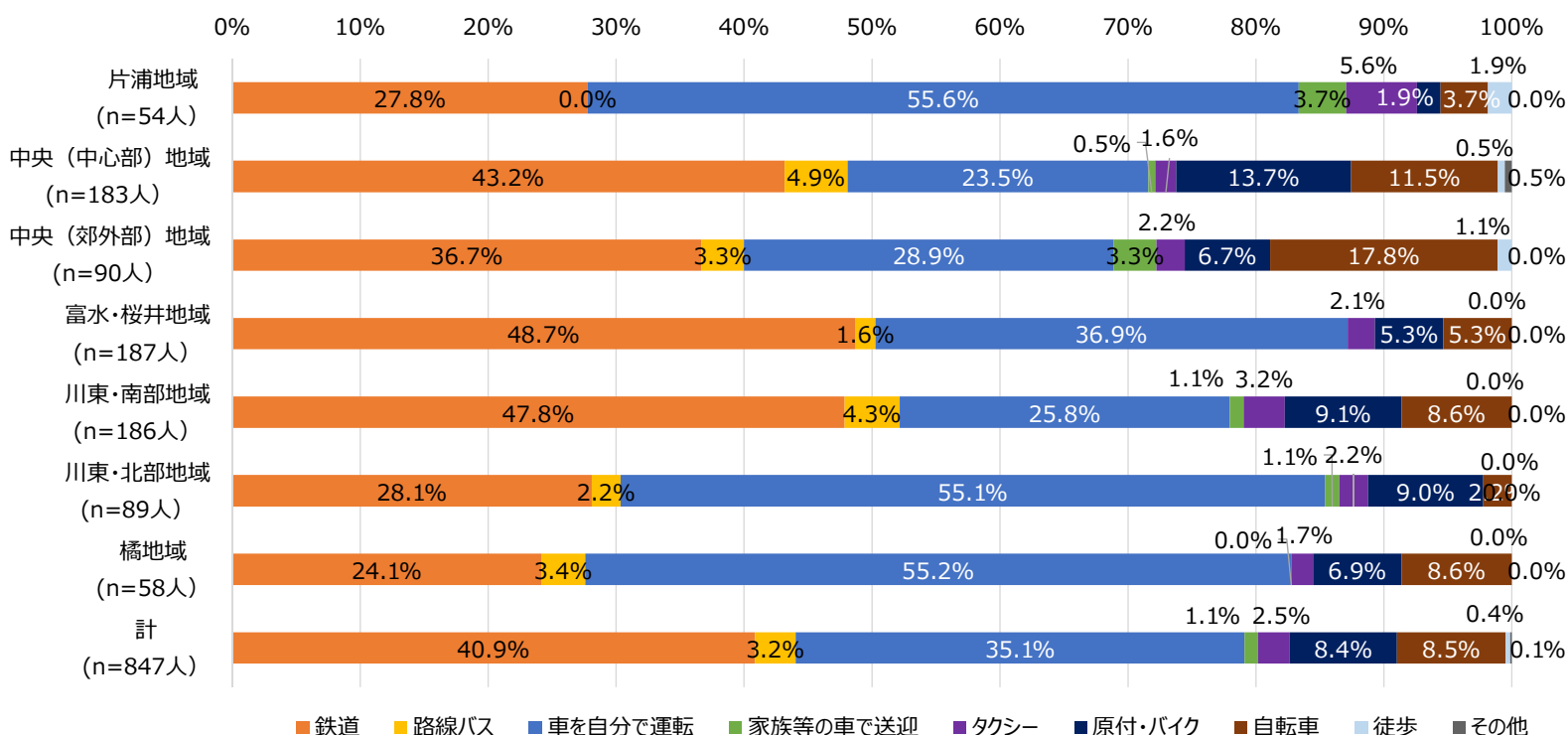
- 中央（中心部）地域、中央（郊外部）地域、川東・南部地域、橘地域では地域内での就業・就学が最も多くなっている。
- 他の地域では、片浦→中央（中心部）、富水・桜井→中央（中心部）、川東・北部→川東・南部がそれぞれ多くなっている。

34

4. 集計・分析結果

外出先（５）通勤・通学について

・利用交通手段（地域別）

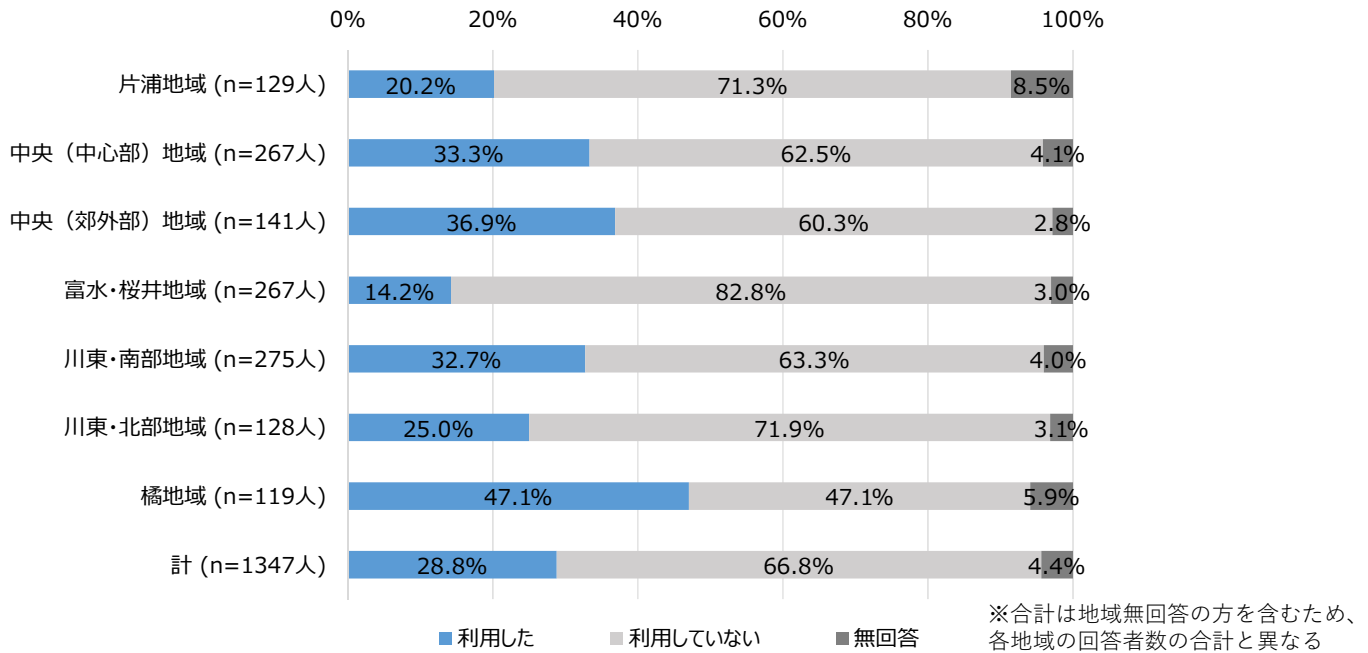


35

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・直近2ヶ月の利用有無（地域別）



- 直近2ヶ月で市内の路線バスを利用した人の割合は橘地域（47.1%）、中央（郊外部）地域（36.9%）、中央（中心部）地域（33.3%）の順で多い。

36

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・利用しなかった理由（複数回答）（地域別）

地域	直近2ヶ月でバスを利用しなかった理由										
	①運行本数が少ない（あるいはない）から	②運行時間帯が合わないから	③目的地まで時間がかかるから	④時間通りに運行されないから	⑤運賃が高いから	⑥バス停が自宅（あるいは目的地）近くに無いから	⑦バス停の待ち環境が利用しづらいから	⑧家族等が自家用車で送迎してくれるから	⑨他の交通手段で移動しているから	⑩バスに乗る習慣が無いから	⑪その他
片浦地域 (n=92人)	27.2%	8.7%	9.8%	2.2%	8.7%	6.5%	1.1%	22.8%	35.9%	29.3%	22.8%
中央（中心部）地域 (n=167人)	7.8%	2.4%	9.0%	3.6%	11.4%	9.0%	2.4%	9.0%	45.5%	35.3%	16.2%
中央（郊外部）地域 (n=85人)	8.2%	2.4%	10.6%	3.5%	8.2%	3.5%	1.2%	22.4%	31.8%	35.3%	21.2%
富水・桜井地域 (n=221人)	12.2%	2.7%	9.0%	3.6%	8.1%	24.9%	5.0%	9.0%	45.7%	38.0%	14.0%
川東・南部地域 (n=174人)	11.5%	1.7%	10.3%	4.0%	6.9%	11.5%	5.7%	16.7%	39.7%	43.1%	17.2%
川東・北部地域 (n=92人)	38.0%	9.8%	16.3%	4.3%	13.0%	22.8%	6.5%	19.6%	31.5%	31.5%	13.0%
橘地域 (n=56人)	21.4%	10.7%	5.4%	1.8%	5.4%	5.4%	5.4%	32.1%	25.0%	17.9%	28.6%
計 (n=900人)	15.6%	4.3%	10.0%	3.4%	9.0%	13.9%	4.1%	15.6%	39.1%	35.6%	17.4%

※合計は地域無回答の方を含むため、各地域の回答者数の合計と異なる

37

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・路線バスのサービスに対する満足度（地域別）

地域	各サービス項目の満足度（「満足」「やや満足」の回答割合）					
	①運行ルート	②運行本数・運行時間帯	③所要時間・運行の定時性	④運賃	⑤情報提供	⑥待合環境
片浦地域 (n=30人)	53.3%	3.1%	40.6%	9.4%	22.6%	9.7%
中央（中心部）地域 (n=97人)	58.8%	36.7%	45.4%	30.9%	29.9%	23.7%
中央（郊外部）地域 (n=54人)	61.1%	23.6%	44.4%	27.8%	25.9%	25.9%
富水・桜井地域 (n=39人)	61.5%	28.2%	53.8%	28.2%	35.9%	20.5%
川東・南部地域 (n=100人)	65.0%	41.8%	53.1%	32.7%	36.4%	33.3%
川東・北部地域 (n=37人)	51.4%	16.7%	33.3%	24.3%	27.0%	21.6%
橘地域 (n=59人)	59.3%	16.7%	45.0%	26.7%	25.0%	16.7%
計 (n=421人)	59.9%	28.6%	46.6%	28.0%	30.3%	23.9%

※合計は地域無回答の方を含むため、各地域の回答者数の合計と異なる

- 運行本数・運行時間帯、運賃、待合環境については片浦地域、運行ルート、所要時間・運行の定時性については川東・北部地域での満足度が低くなっている。

38

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・路線バスのサービスに対する満足度（①・②要望詳細）

①運行本数が少ない（あるいはない）から				
地域	性別	年齢	どこから	どこへ
片浦地域	女性	70歳代	小田原	根府川
	女性	60歳代	石橋	小田原
	女性	60歳代	石橋	小田原
	男性	60歳代	根府川	小田原駅
	男性	80歳以上	米神	小田原
	女性	60歳代	米神	小田原駅
	男性	60歳代	江之浦	根府川
	男性	50歳代	米神	小田原
	女性	60歳代	米神	国府津
	男性	50歳代	根府川	小田原市街
	男性	60歳代	白糸橋	根府川駅
	女性	40歳代	根府川	小田原
	女性	80歳以上	根府川	小田原
	女性	60歳代	米神	小田原駅
	女性	50歳代	根府川	小田原駅
	女性	50歳代	小田原	根府川
	男性	50歳代	小田原	根府川駅
	女性	20歳代	早川／石橋	小田原

中央（中心部）地域	男性	20歳代	富士フィルム前	小田原駅
	女性	50歳代	自宅近く	鴨宮
	男性	40歳代	井細田駅周辺	シティモール／ダイナシティ
	女性	50歳代	浜町	ダイナシティ
	女性	30歳代	小田原駅	井細田駅
	女性	30歳代	藤棚	小田原駅
	男性	40歳代	小田原	シティモール
中央（郊外部）地域	男性	20歳代	小田原駅	早川駅
	女性	70歳代	舟原	小田原駅
	女性	30歳代	小田原駅	ダイナシティ
	男性	30歳代	荻窪	小田原駅
	女性	30歳代	市役所前	小田原駅

39

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・路線バスのサービスに対する満足度 (①・②要望詳細)

①運行本数が少ない(あるいはない)から				
地域	性別	年齢	どこから	どこへ
富水・桜井地域	女性	80歳以上	菟蒲谷	小田原
	男性	50歳代	螢田	小田原
	男性	50歳代	北ノ窪	小田原
	女性	30歳代	富水	鴨宮
	男性	60歳代	井細田	久野
	男性	60歳代	穴部	小田原
	男性	40歳代	栢山駅	塚原駅
	男性	20歳代	飯泉入口	小田原駅
	男性	50歳代	富水	小田原
	女性	40歳代	小田原駅	飯田岡入口
	女性	40歳代	清水新田	小田原→(鴨宮ダイナシティ)
	女性	40歳代	栢山	ダイナシティ
	男性	40歳代	ピーバートン富水	成田
	女性	30歳代	ダイナシティ	鴨宮駅、小田原駅
川東・南部地域	女性	20歳代	田島石橋	国府津
	男性	30歳代	自宅近く	国府津駅
	女性	40歳代	国府津小学校前	国府津駅
	女性	60歳代	自宅近辺(矢作)	鴨宮駅
	女性	40歳代	鴨宮	扇町
	男性	40歳代	酒尾	小田原
	男性	40歳代	自宅	駅
	女性	50歳代	漁場前	イトーヨーカドー
	男性	50歳代	ダイナシティ	新松田駅
	男性	40歳代	J Rとのりつき悪い	えき
	女性	50歳代	鴨宮駅	小田原駅
	女性	50歳代	鴨宮	フレスポ
	女性	40歳代	鴨宮	飯田岡
	女性	40歳代	鴨宮	飯田岡

川東・北部地域	女性	40歳代	西大友	鴨宮
	男性	50歳代	自宅	シティモール
	女性	20歳代	関口川橋	鴨宮駅
	女性	60歳代	飯泉	小田原
	男性	30歳代	自宅近く	国府津・鴨宮
	女性	40歳代	下曽我	国府津、鴨宮
	女性	30歳代	自宅ちかく	国府津駅やかものみや駅
	女性	40歳代	下曽我	小田原
	男性	80歳以上	東町	鴨宮駅
	女性	20歳代	東成田	鴨宮
	女性	30歳代	高田神社前	かものみやえきorこうづえきor富永えき
	女性	30歳代	小田原駅	ダイナシティ
	女性	80歳以上	千代	鴨宮、小田原
	男性	60歳代	鴨宮駅	飯泉
	男性	20歳代	下曽我	小田原
	女性	40歳代	桑原	小田原駅
	男性	20歳代	自宅／鴨宮駅	ダイナシティ
	女性	40歳代	巡礼街道沿い	鴨宮駅
	女性	10歳代	高田	鴨宮
	男性	70歳代	飯泉	鴨宮
橋地域	女性	40歳代	自宅	巡礼街道方面
	女性	30歳代	高田	中曽根
	女性	30歳代	飯泉橋	ダイナシティ・シティモール
	女性	40歳代	飯泉	ダイナシティ方面
	女性	20歳代	飯泉	鴨宮駅
	女性	50歳代	町屋	国府津
	女性	60歳代	診療所前	国府津
	男性	10歳代	小学校前	国府津
	女性	40歳代	橋中学校入口	国府津
	女性	40歳代	町屋	最寄駅
	男性	50歳代	小学校前	国府津駅

40

4. 集計・分析結果

(6) 市内の路線バスの利用について

・路線バスのサービスに対する満足度 (①・②要望詳細)

②運行時間帯が合わないから					
地域	性別	年齢	どこから	どこへ	何時頃着く
片浦地域	女性	60歳代	小田原駅	石橋	8時30分
	女性	60歳代	米神	小田原駅	11～16時
	女性	60歳代	米神	会社田島	
	女性	80歳以上	根府川	小田原	19時
中央(中心部)地域	男性	30歳代	小田原駅	久野	8時30分
	女性	50歳代	小田原駅	浜町	7時
中央(郊外部)地域	女性	30歳代	小田原駅	ダイナシティ	10～12時
富水・桜井地域	男性	50歳代	螢田	小田原	7時30分
	男性	60歳代	井細田	久野	8時
川東・南部地域	女性	20歳代	田島石橋	国府津	
川東・北部地域	女性	20歳代	関口川橋	鴨宮駅	23時
	女性	60歳代	飯泉	小田原	22時
	女性	40歳代	下曽我	国府津	10時
	女性	40歳代	自宅	巡礼街道方面	9時
	女性	30歳代	高田	中曽根	夕方・夜
橋地域	女性	50歳代	町屋	国府津	10,15時
	男性	50歳代	小学校前	国府津駅	17時

41

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・取組みの認知度（年代別）

年代	市で進められた取組み								その他の取組み				
	小田原駅周辺の 情報案内板・ 時刻表の改善	鉄道に合わせた バスのダイヤ調整	地域と事業者が 連携した バス路線見直し	バスマップの 作成・配布	バスステップ・バス・ エバ・サデ・サイン タジーの導入	バスの乗り方教室 の実施	買い物客への バス無料チケットの 配布		カーシェアリング	シェアサイクル	出発駅から到着 駅への路線・乗換 情報の検索	出発地から目的 地への経路の検 索	タクシーの予約・配 車アプリ
10歳代 (n=19人)	31.6%	21.1%	26.3%	10.5%	26.3%	0.0%	0.0%		42.1%	52.6%	68.4%	73.7%	52.6%
20歳代 (n=138人)	19.6%	13.8%	6.5%	9.4%	15.9%	4.3%	5.8%		65.2%	60.9%	84.8%	86.2%	81.2%
30歳代 (n=325人)	12.3%	8.9%	6.2%	4.6%	13.5%	2.2%	5.8%		71.1%	69.8%	84.0%	86.8%	84.0%
40歳代 (n=252人)	18.7%	9.5%	8.7%	9.5%	15.9%	4.0%	7.9%		68.7%	64.7%	79.4%	82.9%	79.0%
50歳代 (n=184人)	15.2%	9.2%	9.8%	10.9%	18.5%	4.3%	4.9%		65.8%	57.1%	71.7%	76.6%	73.4%
60歳代 (n=175人)	13.1%	16.0%	13.7%	10.3%	20.6%	5.7%	9.7%		60.6%	53.7%	67.4%	71.4%	69.1%
70歳代 (n=148人)	14.9%	13.5%	14.2%	13.5%	11.5%	4.7%	2.0%		36.5%	35.1%	40.5%	44.6%	41.9%
80歳以上 (n=102人)	14.7%	13.7%	15.7%	16.7%	11.8%	9.8%	10.8%		27.5%	27.5%	20.6%	22.5%	27.5%
計 (n=1343人)	15.5%	11.5%	10.1%	9.6%	15.6%	4.3%	6.5%		60.4%	56.8%	69.5%	72.9%	70.0%

年代別にみると、市で進められた取組みについては、年代別に認知度に大きく差があり、10歳代の認知度が全体的に高くなっている。バスマップ、バスの乗り方教室、買い物客へのバス無料チケットについては80歳以上の認知度が高い。その他の取組みの認知度は、30歳代の認知度が全体的に高い他、20歳代～60歳代では認知度に大きく差がなかった。

42

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・取組みの認知度（地域別）

地域	市で進められた取組み								その他の取組み				
	小田原駅周辺の 情報案内板・ 時刻表の改善	鉄道に合わせた バスのダイヤ調整	地域と事業者が 連携した バス路線見直し	バスマップの 作成・配布	バスステップ・バス・ エバ・サデ・サイン タジーの導入	バスの乗り方教室 の実施	買い物客への バス無料チケットの 配布		カーシェアリング	シェアサイクル	出発駅から到着 駅への路線・乗換 情報の検索	出発地から目的 地への経路の検 索	タクシーの予約・配 車アプリ
片浦地域 (n=129人)	17.8%	20.9%	17.8%	13.2%	15.5%	12.4%	8.5%		45.7%	39.5%	45.7%	48.8%	51.9%
中央（中心部）地域 (n=267人)	17.6%	11.6%	7.1%	9.4%	18.4%	4.5%	6.7%		71.5%	71.9%	77.5%	82.0%	78.3%
中央（郊外部）地域 (n=141人)	16.3%	9.9%	7.1%	6.4%	13.5%	1.4%	2.8%		66.0%	56.0%	71.6%	76.6%	72.3%
富士・桜井地域 (n=267人)	15.4%	5.6%	6.7%	6.4%	13.5%	4.1%	8.2%		64.4%	59.6%	76.4%	77.9%	72.3%
川東・南部地域 (n=275人)	13.1%	9.5%	6.5%	9.5%	13.5%	1.5%	4.7%		57.8%	53.1%	70.5%	75.6%	74.9%
川東・北部地域 (n=128人)	14.8%	10.9%	7.8%	7.0%	15.6%	2.3%	5.5%		53.1%	50.8%	72.7%	73.4%	71.9%
橘地域 (n=119人)	15.1%	22.7%	30.3%	19.3%	22.7%	7.6%	8.4%		50.4%	50.4%	55.5%	58.0%	51.3%
計 (n=1326人)	15.6%	11.6%	10.1%	9.5%	15.7%	4.3%	6.4%		60.5%	56.7%	69.7%	73.1%	70.1%

- 市で進められた取組みについては橘地域や片浦地域において認知度が高くなっている。
- その他の取組みについては中央（中心部）地域において認知度が高くなっている。
- 「買い物客へのバス無料チケットの配布」については、実際に実施された川東・南部地域では認知度が低いという結果になった。

43

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

- これまで市で進められた取組みのうち、自身の地域で取り組んでほしいと思うもの（地域別）

地域	市で進められた取組みのうち、自身の地域で取り組んでほしいと思うもの						
	小田原駅周辺の 情報案内板 ・時刻表の改善	鉄道に合わせた バスのダイヤ調整	地域と事業者が 連携した バス路線見直し	バスマップの 作成・配布	ノンステップバス・ ユニバーサルデザイン タクシーの導入	バスの乗り方教室 の実施	買い物客への バス無料チケットの 配布
片浦地域 (n=129人)	3.1%	7.8%	17.8%	3.1%	6.2%	2.3%	17.1%
中央（中心部）地域 (n=267人)	7.1%	12.0%	9.4%	9.4%	7.5%	1.5%	25.1%
中央（郊外部）地域 (n=141人)	5.7%	23.4%	11.3%	7.8%	3.5%	4.3%	24.1%
富水・桜井地域 (n=267人)	6.0%	10.5%	11.6%	9.4%	6.7%	2.2%	18.7%
川東・南部地域 (n=275人)	9.5%	17.5%	12.7%	16.0%	7.6%	2.5%	27.3%
川東・北部地域 (n=128人)	5.5%	14.8%	21.9%	13.3%	3.9%	2.3%	18.8%
橘地域 (n=119人)	4.2%	23.5%	19.3%	3.4%	3.4%	3.4%	23.5%
計 (n=1347人)	6.3%	14.8%	13.7%	9.7%	6.0%	2.4%	22.5%

※合計は地域無回答の方を含むため、各地域の回答者数の合計と異なる

44

4. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

- これまで市で進められた取組みのうち、自身の地域で取り組んでほしいと思うもの（地域別）

各地域で要望が多かった（平均を超えていた）主な取組みは以下のとおり。

- 片浦地域：地域と事業者が連携したバス路線の見直し
- 中央（中心部）地域：買い物客へのバス無料チケットの配布
- 中央（郊外部）地域：鉄道に合わせたバスのダイヤ調整、バスの乗り方教室の実施
- 富水・桜井地域：ほぼ全取組みの要望が平均を下回っていた（ノンステップバス・UDタクシーの導入のみわずかに平均を超えていた）
- 川東・南部地域：情報案内版・時刻表の改善、バスマップの作成・配布、買い物客へのバス無料チケットの配布
- 川東・北部地域：地域と事業者が連携したバス路線の見直し
- 橘地域：鉄道に合わせたバスのダイヤ調整、地域と事業者が連携したバス路線の見直し

45

4. 集計・分析結果

●自由意見（5票以上回答のあった項目を抜粋）

自由意見	片浦地域	中央（中心部）地域	中央（郊外部）地域	富水・桜井地域	川東・南部地域	川東・北部地域	橘地域	無回答	計
バスの増便	10	8	3	7	8	5	11	1	53
バス路線の増加	1	2	4	4	5	3	2		21
バスの維持	6	3	3	2	2		1		17
道路歩道の整備（安全対策）		1		5	2	1	2		11
バス運行についての周知認知		4		2	1	1	1		9
鉄道の増便		2		1	3	2			8
高齢者への支援	2	1		2	1	1	1		8
鉄道駅的环境改善	1	3		1	3				8
自治体の対策について	1	2			1	1	2		7
鉄道⇄鉄道の乗り継ぎ改善		3	2	2					7
コミュニティバスの導入	1	1		1	3	1			7
終バス時刻の繰り下げ		1	2	1	2				6
運転手の対応改善		1	1	2		1	1		6
バスアプリ、検索の改善		1		1	3	1			6
移動手段の確保	3			1		1	1		6
バス運賃低減		2	1		2	1			6
バスの乗車方法についての改善		1	1	2	1				5
バスの定時性		1	3	1					5
鉄道の運行形態の改善				3	1	1			5
混雑改善等に対応した道路整備			2	2	1				5
バス割引サービスの導入		2			1	1	1		5
将来の不安	2	1			1			1	5
バス待ち環境の改善		3	1				1		5

4. 集計・分析結果

●自由意見（5票以上回答のあった項目を抜粋）

各地域で多い意見は以下のとおり。

- 片浦地域：バスの増便、バスの維持、移動手段の確保
- 中央（中心部）地域：駅施設の改善、鉄道⇄鉄道の乗継改善
- 中央（郊外部）地域：バス路線の増加、バスの定時性改善
- 富水・桜井地域：道路・歩道整備、鉄道の運行形態改善
- 川東・南部地域：バス路線の増加
- 川東・北部地域：バスの増便
- 橘地域：バスの増便

公共交通のニーズ把握

交通結節点調査結果（まとめ）

1. 集計・分析結果の概要



●公共交通の利用状況・乗継の状況について

- ・公共交通利用者におけるICカードの利用は9割と多数。
 - ・鉄道は利用頻度が高いが、路線バス・タクシーの利用頻度は低い。
 - ・路線バスは買物（食料品）、鉄道は通勤・通学、タクシーは通院・業務での利用がそれぞれ他手段と比較し多い。
 - ・直近2ヶ月で公共交通の乗継をした人は3割程度である。
 - ・乗継場所は小田原駅が45.6%を占め、次いで国府津駅、鴨宮駅の順で多い。
 - ・乗継の種別としては鉄道⇄バスが多い。
- 国府津駅ではバス⇄バスやバス⇄タクシーの割合が他と比べ高い。

●公共交通のサービス・乗継環境に対する満足度について

- ・路線バスのサービス満足度は、**運行本数・運行時間帯**について不満足の高割合が高い。また、市民アンケートの結果と比較すると、満足度が全般的に低い。特に、**運賃や運行ルート、所要時間・定時性**の項目で満足度が下がっている。
- ・鉄道のサービス満足度は、路線バスやタクシーより高いものの、**運行本数・運行時間帯**について不満足の高割合が高い。
- ・タクシーのサービス満足度は、運賃について不満足の高割合が高い。
- ・乗継環境の満足度は、**待ち時間・ダイヤ接続**について不満足の高割合が高い。一方、案内の分かりやすさについては満足度が高い。

1. 集計・分析結果の概要

●地域別の主な要望・意見について

地域	片浦	中央 (中心部)	中央 (郊外部)	富水・桜井	川東・南部	川東・北部	橘	市外
バスへの要望	回答なし	● 到着時刻遅れの改善 ● 運行時間帯の拡大（特に終発時刻） ● 増便（時間2本以上）	● 増便（特に土日祝） ● 運行時間帯の拡大（特に終発時刻）	● 増便 ● 小田原駅・ダイナシティ方面へのルート設置	● 増便（特にダイナシティ・小田原駅方面） ● 路線図・ルートの案内・わかりやすさ改善 ● バスロケ情報の提供	● 増便 ● 鴨宮駅方面へのルート設置	● 増便（ニーズにあった時間帯の増便）	● 増便（特に朝、夜） ● 新幹線⇄バス、鉄道⇄バスのダイヤ調整
鉄道への要望	回答なし	● 増便（特に夜間や快速、急行） ● 鉄道⇄バスのダイヤ調整	● 事故の削減、安全対策	● 増便（特に各駅停車） ● バリアフリー対策、空調の改善	● 窓口サービスの充実 ● 昼間の空白時間帯の解消	● 御殿場線の増便（特に松田～国府津間）	● 窓口サービスの充実 ● バリアフリー対策、空調の改善	● 到着時刻遅れの改善
タクシーへの要望	回答なし	● 初乗り運賃の低減	● 駅前の待機車両の増車 ● 小型車の増車	● 流し車両の増車	● 駅前の待機車両の増車 ● 運賃の低減、高齢者割引制度の導入	● 初乗り運賃の低減	● 駅前の待機車両の増車（終バス後、雨天時の対応）	● 運賃の低減 ● 駅前の待機車両の増車

2

1. 集計・分析結果の概要

●交通結節点別の主な要望・意見について

結節点	小田原駅	国府津駅	鴨宮駅
乗継への要望	● 新幹線⇄バス、鉄道⇄鉄道、鉄道⇄バスのダイヤ調整 ● 情報案内の改善（のりば案内、路線図、時刻表情報）	● 鉄道⇄バス、バス⇄バスのダイヤ調整 ● 鉄道着時間に合わせたタクシー配車	● 鉄道⇄バスのダイヤ調整



課題

バスについてはいずれの地域でも増便の要望が多かったが、地域により異なる具体的なニーズを踏まえたサービス向上が必要。
鉄道・バス・タクシー相互のダイヤ調整等、乗継環境の向上が必要。

3

調査概要

2. 概要



(1) 調査概要

目的：公共交通や乗継についての利用実態や満足度・改善要望を調査し、サービスや施設における課題を把握する。

対象：交通結節点5か所（小田原駅東口・西口、鴨宮駅南口、国府津駅、ダイナシティ）における公共交通利用者（市民以外も含む）、計1,000票配布

(2) 回収状況

320票（回収率：32.0%）

(3) 調査項目

- ・ **回答者属性：**市民アンケートと同様
- ・ **市内の路線バスについて：**利用頻度、利用目的、利用区間、サービス満足度、改善要望
- ・ **市内の鉄道について：**利用頻度、利用目的、利用区間、サービス満足度、改善要望
- ・ **市内のタクシーについて：**利用頻度、利用目的、サービス満足度、改善要望
- ・ **公共交通の乗継利用について：**乗継有無、乗継場所、乗継種別、満足度、改善要望
- ・ **取組みの認知度：**市で実施の取組み以外（カーシェアやレンタサイクル、アプリ等）

小田原市・公共交通に関するアンケート調査

日ごろより小田原市のまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。

小田原市では、公共交通サービスの維持や改善に取り組むため、「小田原市地域公共交通計画」を策定することといたしました。

公共交通をご利用の方を対象としてニーズを把握し、計画策定の参考とするため、市内の主要駅・施設等で公共交通をご利用の方に対して、アンケート調査を実施いたします。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先など】

小田原市生活交通ネットワーク協議会（事務局 小田原市 都市部 まちづくり交通課）
電話 0465-33-1267（直通）
FAX 0465-33-1579 メールアドレス me-koutsu@city.odawara.kanagawa.jp

※本調査は、八千代エンジニアリング(株)が小田原市から委託を受けて実施しております。
※この調査は無記名で回答いただくものであり、個人が特定されることはありません。
また、この調査以外の目的に使用することはありません。

ご記入が完了しましたアンケートは、返信用封筒に入れ、
12月26日（月曜日）までに切手を貼らずにポストにご投函ください。

1. あなたご自身についてお聞きします。

問1. あなたご自身のことについて、お聞きします。（それぞれ1つに○印）

ア) 性別	①男性 ②女性 ③答えたくない
イ) 年齢	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上
ウ) 職業	①会社員・公務員・団体職員 ②自営業 ③パート・アルバイト（学生を除く） ④主婦（夫）・家事手伝い ⑤学生・生徒 ⑥無職 ⑦その他（ ）
エ) 自動車の運転免許	①ある ②あるが返納予定あり（ ）年後に返納予定 ③返納済み（失効含む） ④ない
オ) 自動車の所有状況	①自分専用の自動車がある ②時々使える家族共用の自動車がある ③いつでも使える家族共用の自動車がある ④持っていない
カ) スマートフォンの所有状況	①ある ②ない
キ) 公共交通を利用する際の主な支払い方法（複数回答可）	①交通系ICカード（Suica、PASMO、モバイルSuica等） ②QRコード等二次元コード決済 ③クレジットカード ④その他（切符、磁気定期券等）
ク) お住まい ※大字名をご記入下さい	小田原市（ ） ※記入例：荻窪、南横宮3丁目 等 小田原市外の方（ ） 市・町・村
ケ) 最寄りの駅	鉄道駅（ ）駅 →自宅から徒歩（ ）分
バス停	バス停（ ）バス停 →自宅から徒歩（ ）分

次ページに続く

2. 小田原市内の路線バスの利用についてお聞きします。

問2. 路線バスの利用についてお聞きします。

(1) 路線バスはどの程度利用していますか。（1つに○印）

①週5日以上 ②週に3～4日程度 ③週に1～2日程度 ④月に2～3回程度
⑤月に1回程度 ⑥年に数回程度 ⑦その他（ ）
⑧利用しない ー問3へお進み下さい

(2) 路線バスはどのような目的で利用することが多いですか。（主な2つまでに○印）

①通勤 ②通学 ③買物（食料品） ④買物（食料品以外）
⑤通院 ⑥趣味・娯楽 ⑦業務（営業・打合せ等） ⑧その他（ ）

(3) よく利用する区間（乗車バス停と降車バス停）はどこですか。

【乗車】（ ）バス停
※バス停名が分からない時は目印となる施設等の名称
：（ ）
【降車】（ ）バス停
※バス停名が分からない時は目印となる施設等の名称
：（ ）

(4) (3) で回答した区間の路線バスのサービスについて、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑥すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
① 運行ルート（経路、行き先等）	1	2	3	4	5
② 運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
③ 所要時間・運行の定時性（正確さ）	1	2	3	4	5
④ 運賃	1	2	3	4	5
⑤ 情報提供（時刻表、路線図等）	1	2	3	4	5
⑥ 待合環境（バス乗り場）	1	2	3	4	5

問3. 路線バスについて、改善して欲しいと思うことがあればお書きください。

3. 小田原市内の鉄道の利用についてお聞きします。

問4. 鉄道の利用についてお聞きします。

(1) 鉄道はどの程度利用していますか。（1つに○印）

①週5日以上 ②週に3～4日程度 ③週に1～2日程度 ④月に2～3回程度
⑤月に1回程度 ⑥年に数回程度 ⑦その他（ ）
⑧利用しない ー問5へお進み下さい

(2) 鉄道はどのような目的で利用することが多いですか。（主な2つまでに○印）

①通勤 ②通学 ③買物（食料品） ④買物（食料品以外）
⑤通院 ⑥趣味・娯楽 ⑦業務（営業・打合せ等） ⑧その他（ ）

- 2 -

次ページに続く

(3) よく利用する区間（乗車駅と降車駅）はどこですか。（市外も含む）

【乗車】（ ）駅 → 【降車】（ ）駅

(4) (3) で回答した区間のうち、小田原市内の鉄道のサービスについて、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑥すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
① 運行形態（急行、各停等の列車種別）	1	2	3	4	5
② 運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
③ 所要時間・運行の定時性（正確さ）	1	2	3	4	5
④ 運賃	1	2	3	4	5
⑤ 情報提供（時刻表、路線図等）	1	2	3	4	5
⑥ 待合環境（駅施設）	1	2	3	4	5

問5. 鉄道について、改善して欲しいと思うことがあればお書きください。

4. 小田原市内のタクシーの利用についてお聞きします。

問6. タクシーの利用についてお聞きします。

(1) タクシーはどの程度利用していますか。（1つに○印）

①週5日以上 ②週に3～4日程度 ③週に1～2日程度 ④月に2～3回程度
⑤月に1回程度 ⑥年に数回程度 ⑦その他（ ）
⑧利用しない ー問7へお進み下さい

(2) タクシーはどのような目的で利用することが多いですか。（主な2つまでに○印）

①通勤 ②通学 ③買物（食料品） ④買物（食料品以外）
⑤通院 ⑥趣味・娯楽 ⑦業務（営業・打合せ等） ⑧その他（ ）

(3) 小田原市内のタクシーのサービスについて、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑤すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
① 駅前などでの車両の利用	1	2	3	4	5
② 予約のしやすさ	1	2	3	4	5
③ 所要時間（正確さ）	1	2	3	4	5
④ 運賃	1	2	3	4	5
⑤ 待合環境（駅前や乗り場）	1	2	3	4	5

問7. タクシーについて、改善して欲しいと思うことがあればお書きください。

- 3 -

次ページに続く

5. 公共交通の乗り継ぎ利用、その他についてお聞きします。

問8. 最近2ヶ月、小田原市内で異なる公共交通機関の乗り継ぎ利用、あるいは異なる路線バス間の乗り継ぎをしたことがありますか。

①を選んだ場合はどこで、どのような乗り継ぎをしたか、お答えください。（1つに○印）

①ある →どこで（ ） ※記入例：小田原駅、国府津駅 等
どのような（鉄道⇄バス、鉄道⇄タクシー、バス⇄バス、バス⇄タクシー）
②ない ー問10へお進み下さい

問9. 問8で「①ある」と回答された方にお聞きします。問8で回答した乗り継ぎについて、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～④すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
① 案内の分かりやすさ（標識等）	1	2	3	4	5
② 移動、乗り継ぎの経路	1	2	3	4	5
③ 移動、乗り継ぎにかかる時間	1	2	3	4	5
④ 待ち時間・ダイヤ接続	1	2	3	4	5

問10. 公共交通の乗り継ぎについて、改善して欲しいと思うことがあればお書きください。

問11. 市内で実施されている以下の取組みをご存知ですか。利用したことがありますか。最もあてはまるもの1つに○印をつけて下さい。①～⑤すべてにお答えください。

	知っていた →利用したことがあるか	知らなかった
	利用あり	利用なし
① カーシェアリング	1	2
② レンタサイクル	1	2
③ 出発駅から到着駅への路線・乗換情報の検索（乗換案内等の検索アプリやHP）	1	2
④ 出発地から目的地への経路の検索（Google Map等の検索アプリやHP）	1	2
⑤ タクシーの予約・配車アプリ（スマートフォン等でタクシーが呼べるアプリ）	1	2

問12. 公共交通に関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

ご記入が完了しましたら、返信用封筒に入れご投函ください。

- 4 -

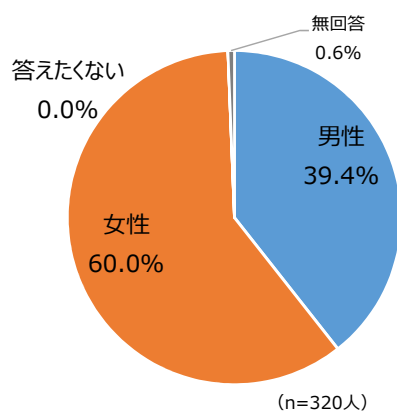
単純集計結果

3. 集計・分析結果

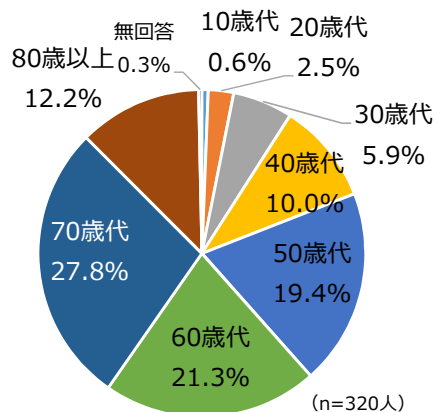


(1) 回答者属性

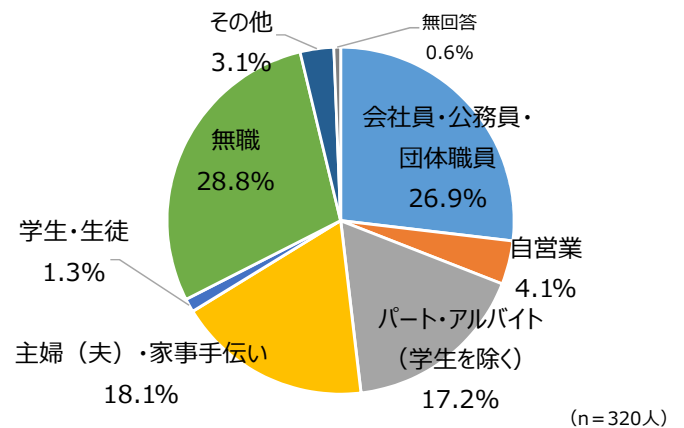
・性別



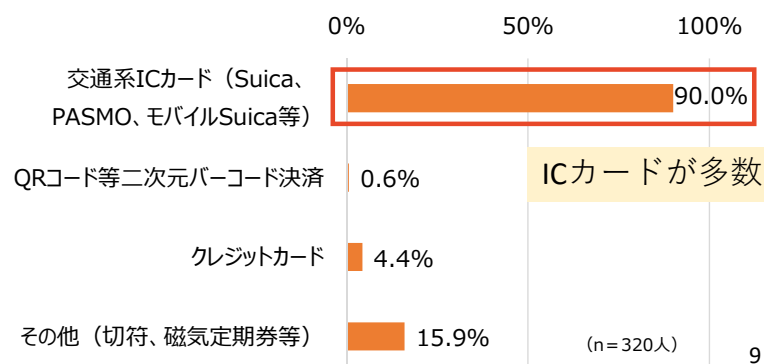
・年代



・職業



・公共交通利用時の主な支払い方法 (複数回答)



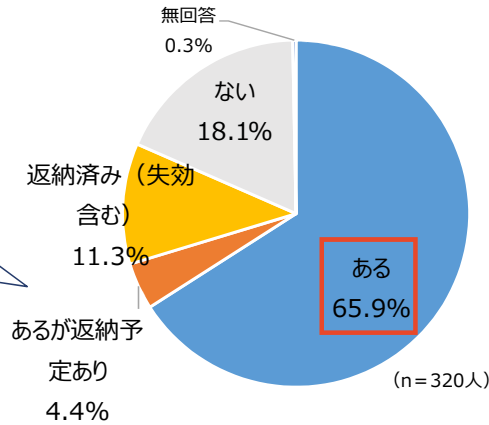
ICカードが多数

3. 集計・分析結果

(1) 回答者属性

・自動車の運転免許

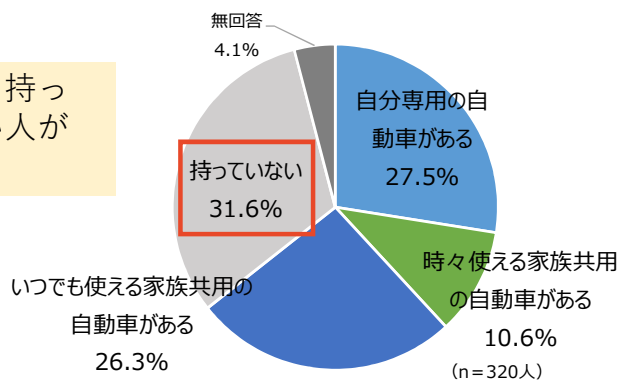
免許返納の予定時期
回答者：13人
→ 5年以内：11名
→ 5年以上先：2名



65.9%が免許所有

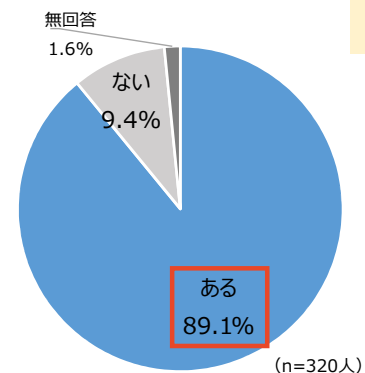
・自動車の所有状況

自動車を持っていない人が
31.6%



・スマートフォンの所有状況

89.1%がスマホ
所有

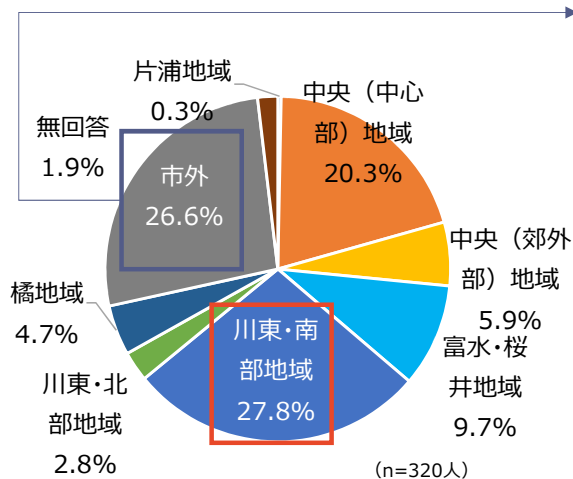


10

3. 集計・分析結果

(1) 回答者属性

・居住地



・市外居住者(85人)

市区町村	人
湯河原町	9
横浜市	6
秦野市	6
南足柄市	5
藤沢市	5
二宮町	5
伊勢原市	5
大井町	5
開成町	4
箱根町	4
茅ヶ崎市	3
真鶴町	3
平塚市	3
浜松市	2
松田町	2
墨田区	2
大磯町	2
中井町	2
町田市	2
相模原市	1
熱海市	1
さいたま市	1
三鷹市	1
世田谷区	1
南足柄	1
沼津市	1
渋谷区	1
杉並区	1
都内	1
計	85

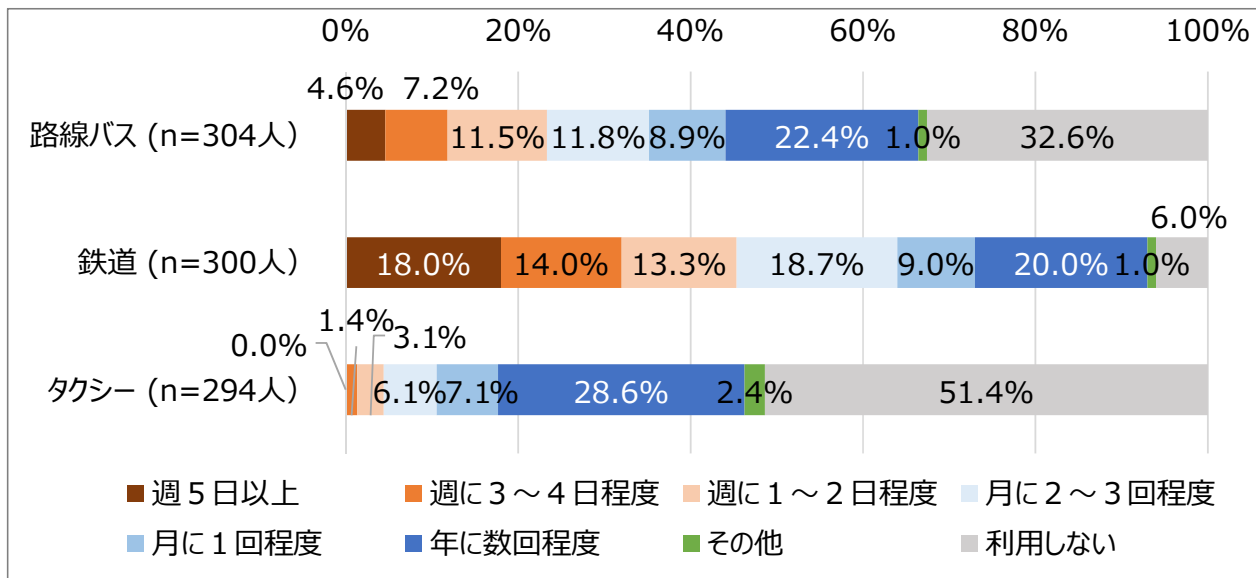
- 市内では川東・南部地域、中央(中心部)地域の順に多い
- 市外では湯河原町が最も多く、次いで横浜市、秦野市が多い

11

3. 集計・分析結果

(2) 公共交通手段別の利用状況

・利用頻度



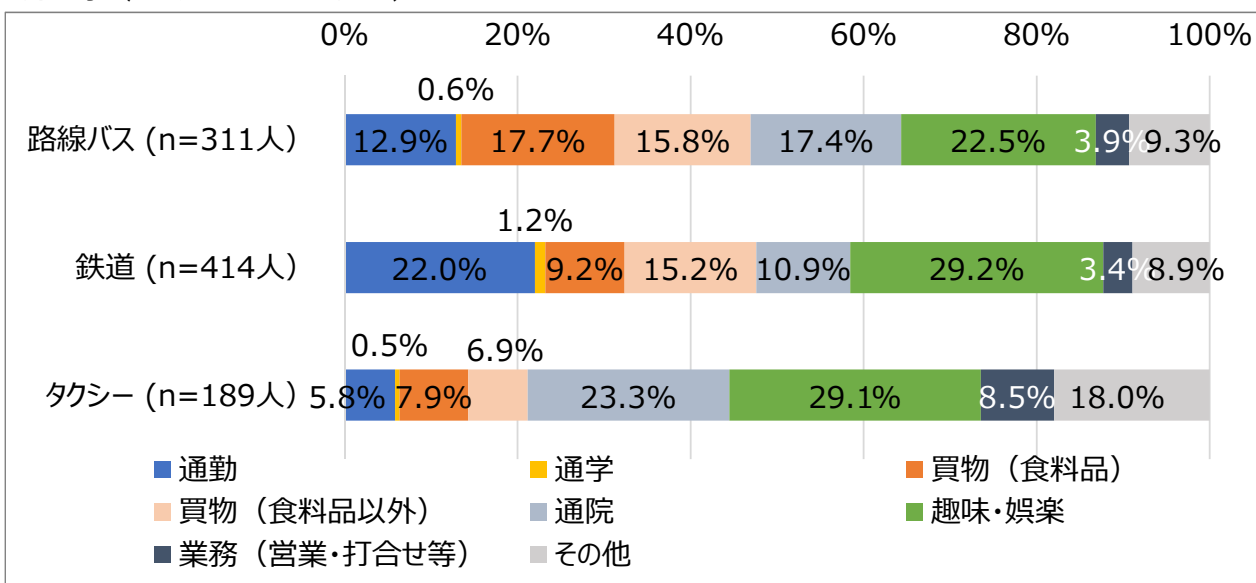
- 鉄道は利用頻度が高い
- 路線バスを利用しない人は32.6%、タクシーを利用しない人は51.4%

12

3. 集計・分析結果

(2) 公共交通手段別の利用状況

・利用目的 (主なもの2つまで)



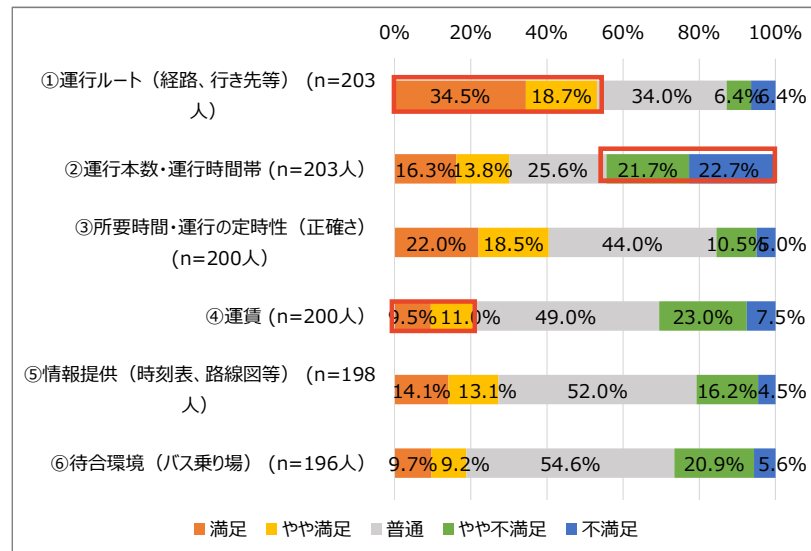
- 趣味・娯楽での利用が全手段で多い
- 路線バスは買物 (食料品)、鉄道は通勤・通学、タクシーは通院・業務での利用がそれぞれ他手段と比較し多い。

13

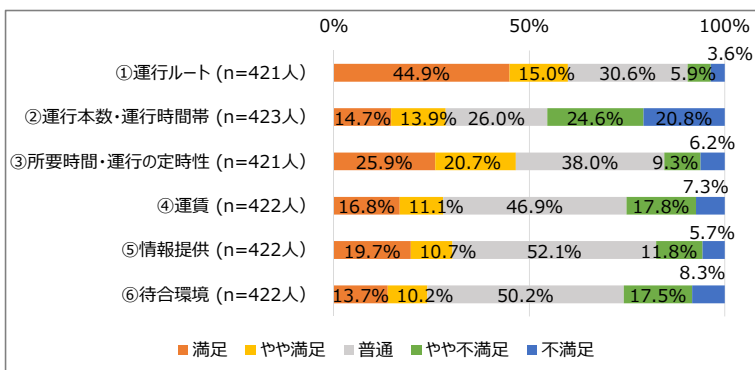
3. 集計・分析結果

(3) サービス満足度

・路線バス



(参考) 市民アンケート結果



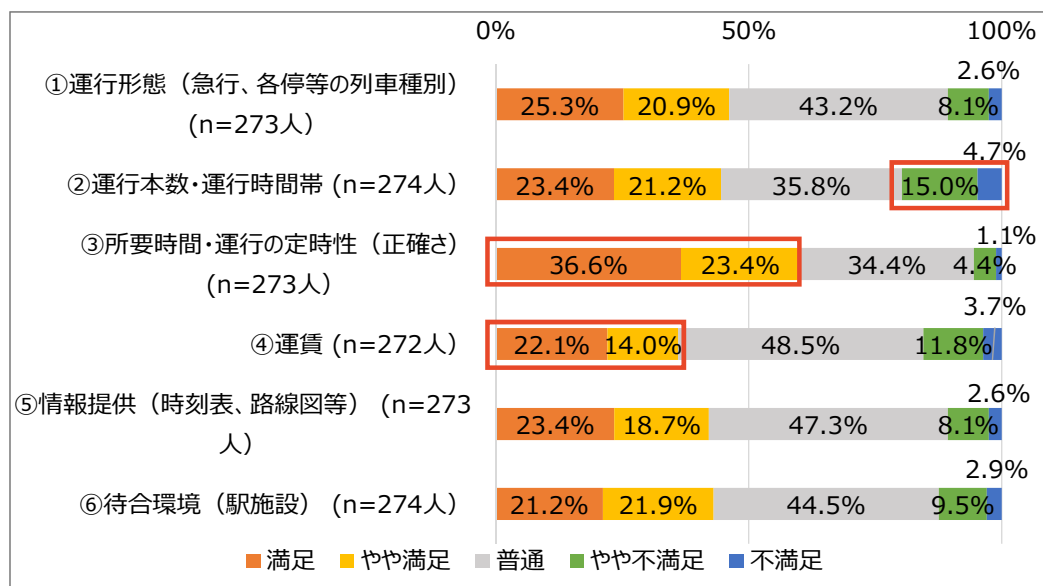
- 不満足 of 回答が多い：運行本数・運行時間帯
- 満足度が低い：運賃
- 満足度が高い：運行ルート
- 市民アンケートの結果と比較すると、同様の傾向を示しているが、満足度は全般に低い。特に、運賃や運行ルート、所要時間・定時性の項目で満足度が下がっている。

14

3. 集計・分析結果

(3) サービス満足度

・鉄道



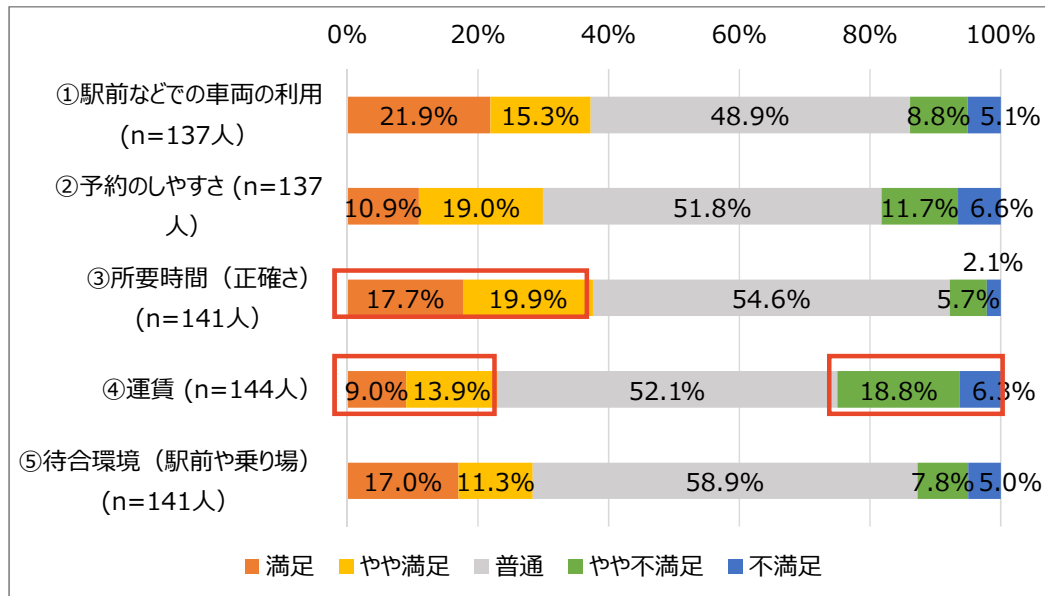
- 不満足 of 回答が多い：運行本数・運行時間帯
- 満足度が低い：運賃
- 満足度が高い：所要時間・運行の定時性

15

3. 集計・分析結果

(3) サービス満足度

・タクシー



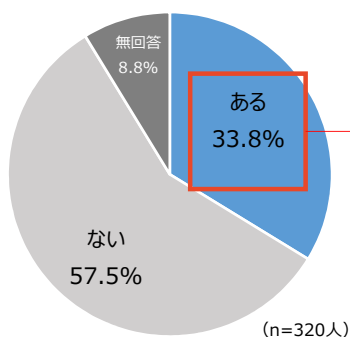
- 不満足の手答が多い：運賃
- 満足度が低い：運賃
- 満足度が高い：所要時間

16

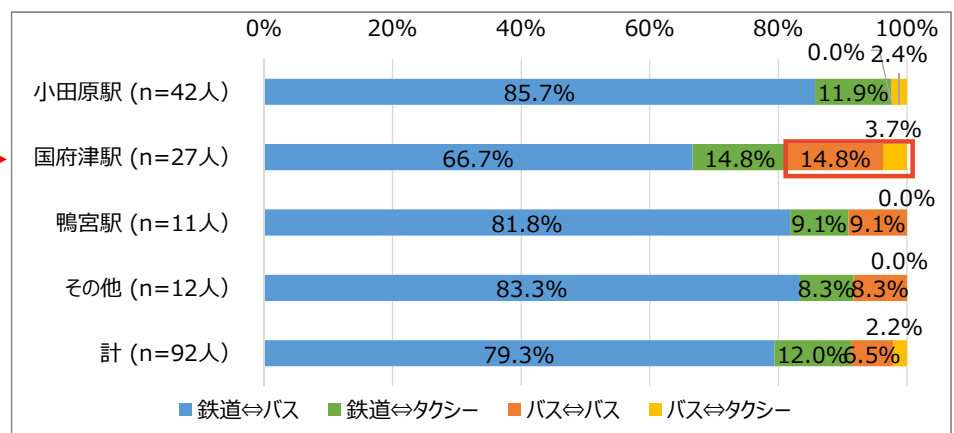
4. 集計・分析結果

(4) 公共交通の乗継について

・直近2ヶ月の乗継有無



どこで、どのような乗継をしたか



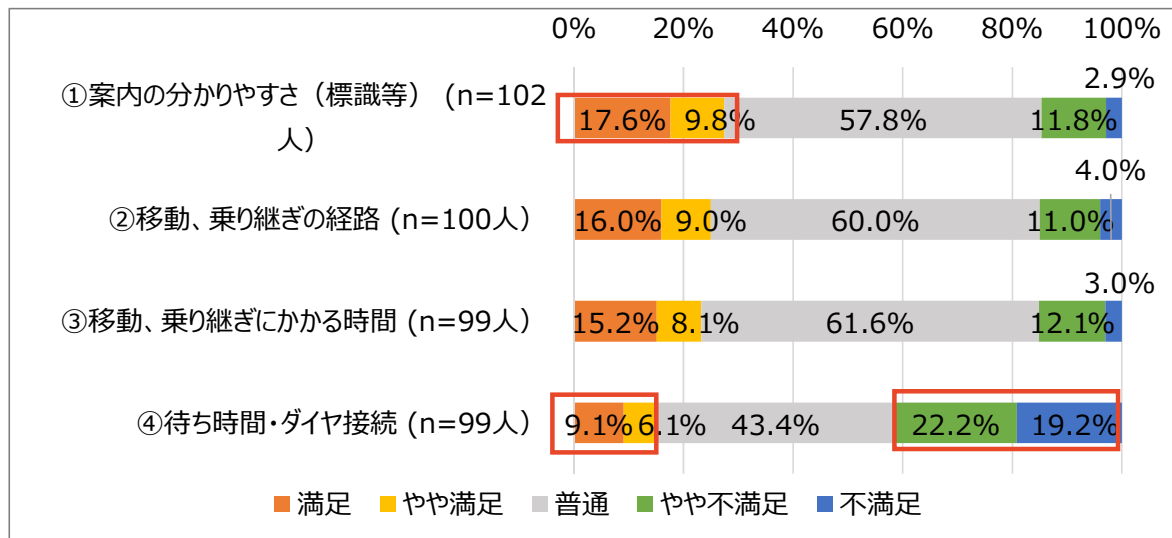
- 直近2ヶ月で公共交通の乗継をしたことがある人は33.8%。
- 乗継場所は小田原駅が45.6%を占め、次いで国府津駅、鴨宮駅の順が多い。
- 乗継の種別としては鉄道⇔バスが多い。
国府津駅ではバス⇔バスやバス⇔タクシーの割合が他と比べ高い。

17

4. 集計・分析結果

(4) 公共交通の乗継に関するサービス満足度

・公共交通の乗継



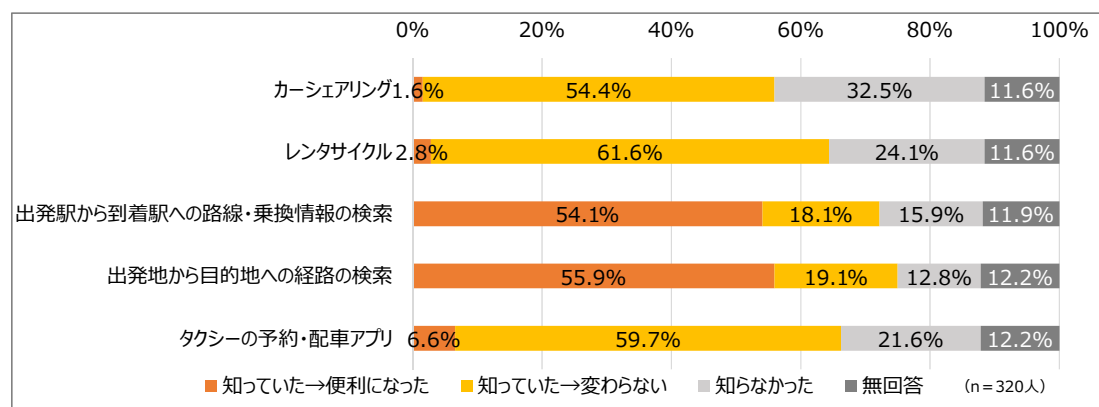
- 不満足の手合が多い：待ち時間・ダイヤ接続
- 満足度が低い：待ち時間・ダイヤ接続
- 満足度が高い：案内の分かりやすさ

18

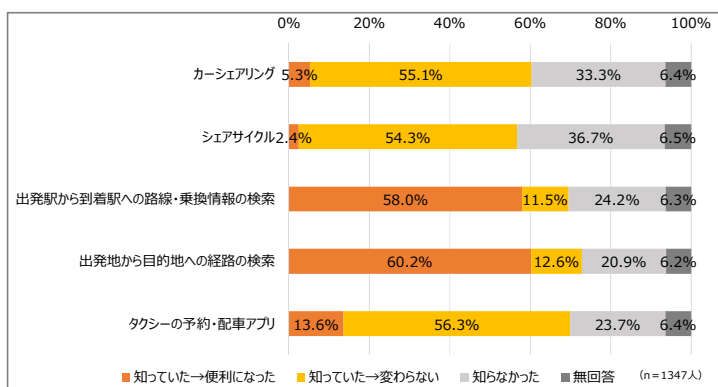
3. 集計・分析結果

(7) 公共交通に関する取組みについて

・取組みの認知度



(参考) 市民アンケート結果



- 取組みの認知度は55%～75%程度と高くなっている。
- 「知っており、取組みによって公共交通の利用が便利になった」との回答は乗換案内・経路検索 (Google Mapなどの検索アプリ) で特に多くなっており、半数以上が活用している状況である。
- 市民アンケートの結果と比較すると、「知っているが、(利便性は) 変わらない」との回答が全体的に多い。

9

公共交通に対する要望について

意見集約結果



路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（中心部）地域	無回答	男性	80歳以上	子供ランド、市営墓地方面のバス本数増加（小型で可）
	無回答	男性	30歳代	路線バスの利用は年間数回程度で、これから改善して欲しいところはあまりないです。
	鴨宮駅	女性	70歳代	1時間2本運行して欲しい。西口のバス停に重い荷物を置くベンチを作って欲しい
	無回答	女性	80歳以上	出来れば車行時間帯を守ってほしい。
	無回答	女性	80歳以上	車の運転を止めたのでバス路線のないところへ行くのに大変。255号が全く交通機関がない。南町へ行くのも徒歩で大変
	小田原駅	女性	50歳代	必ずといっていいほど遅れてくるので、電車に間に合わない。
	小田原駅	女性	70歳代	本数を（運行数）多く、終バスをもっと遅くしてほしいです
	無回答	女性	70歳代	根府川駅発着のバスの本数が少なすぎる。
	無回答	女性	40歳代	これ以上の減便はしないでほしい！障がいのある方等車の運転不可の方々の足です。時刻表が変わると、生活リズム自体が狂います。
	無回答	男性	70歳代	マナーの順守
	鴨宮駅	女性	30歳代	東京等にくらべて運賃が高い。
	無回答	女性	50歳代	乗車するときバス停にバスがくる時刻がわからない。なのでバスが来ないといってしまったのかまだなのかわからない
	小田原駅	女性	40歳代	最終バスをおそくしてほしい。現在、17時台までだが、19時台までであると、子どもの通学にも使えて大変助かる。私の通院も車を出さずに済む。
	無回答	女性	70歳代	時間はいつも遅れ続いて同じ方面に来る事もあり。運転手の言葉使いが荒い。時刻表の所ですが小田原駅の時間表等夜は時間が暗くて読み取れず何時に来るのか不安です。高齢者の方にイスを置くなどの配慮がほしいと思います。
	小田原駅	女性	80歳以上	コロナの影響が運転手不足なのか数年前から毎年？本数が減っています。今の現状を維持してもらえるとたすかります。
	無回答	女性	50歳代	コロナの影響が運転手不足なのか数年前から毎年？本数が減っています。今の現状を維持してもらえるとたすかります。
	小田原駅	女性	70歳代	時間通りにこない事が多いです。運行本数を少なくしているのではないかと感じてしまいます。
	無回答	女性	70歳代	・駅に向かう12時台のバスがない。・バスは小さくても良いが小型1時間に2回ほしい・高齢者割引がほしい・平日の小田原発が17:30は早すぎる19時台までほしい。・午前も午後も同時刻にして欲しい・鉄道の下車時刻と合わせて欲しい

中央（中心部）地域の主な要望

- 到着時刻遅れの改善
- 運行時間帯の拡大（特に終発時刻）
- 増便（時間2本以上）

意見集約結果

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（郊外部）地域	国府津駅	男性	50歳代	・西口行きの路線もつくっていただきたい。
	無回答	男性	30歳代	本数が少なくなりすぎている。運転手の運転が荒すぎる。
	下曽我	女性	50歳代	本数を増やしてほしい。小田原駅に行くまでの停留所でキョリが短い所は廃止してほしい（狹窪か合同庁舎）
	小田原駅	女性	60歳代	土曜、日曜、祝日のバスが減った事
	無回答	女性	40歳代	（休日、祝日土曜日）などの本数が少なすぎる！
	無回答	男性	40歳代	最終バスが早すぎてせめてあと1時間は伸ばしてほしい 現在 20：50分できればコロナ前の 21：45または22時頃までは伸ばしてほしいです。
	小田原駅	女性	60歳代	コロナ以降、本数が減った。特に、土休日が少ない 料金も値上がり、元々高いと思っていた
	無回答	男性	40歳代	久野車庫前のバス停に雨よけ用に屋根を設置してほしいです。
	小田原駅	女性	50歳代	☆終バスがコロナで減った（以前 9：15）（今 8：50）仕事帰りにバスが間に合わない☆過去3回、バス停（竹ノ花）にいたのに素通りされた、終バスだった。要改善。
	無回答	男性	60歳代	都バスのバス停の用に、今の運行場所や、あと何分で到着するのか表示が欲しい。
	無回答	女性	40歳代	車を運転しないので、もう1本バスのダイヤが増えたらうれしい。運賃が高いが、仕方ないと思う

中央（郊外部）地域の主な要望

- 増便（特に土日祝）
- 運行時間帯の拡大（特に終発時刻）

意見集約結果

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
富水・桜井地域	無回答	男性	10歳代	ちゃんとしたバスの待合室を作ってほしいです。
	小田原駅	男性	70歳代	なくなった蛭田交番（または蛭田駅）辺りをルートにダイナシティか小田原方面行きが欲しい。荷物が大変なんですよ、年をとると。
	無回答	女性	70歳代	シルバー社会になっているので、少型バスでもよいので市外地から小田原駅までのバスをふやしてほしい、又、手をあげれば停留所でなくても止ってほしい。そうすれば、高齢ドライバーも免許返納してもこまらないし、渋滞もおおはざいなくなると思います
	無回答	男性	70歳代	本数をふやしてほしい
	小田原駅	女性	50歳代	鴨宮のヤマダ電機に近く近いバス停が無いので欲しい！！南足柄市のグリーンヒルへのバスが昨10月～無くなっていて相乗りタクシーに。バスは無くなると困る。たしか栢山発の井俣田を通るバスも無くなったような。利用しないといけませんね。ダイナシティとか、のってみようかな。
	無回答	男性	70歳代	・本数を増やして欲しい・運行経路を増やして欲しい
	小田原駅	女性	60歳代	本数を増やしてほしい。あとの位待つのか分かれば助かる
	無回答	女性	20歳代	神奈中バスを走らせてほしい。
	小田原駅	男性	80歳以上	バス停、雨天時、屋根が欲しい（酒匂中）
	無回答	女性	50歳代	利用しないので分からない
	無回答	女性	70歳代	1時間に1台もしくは0台なので、最低でも1時間に2台のサービスにしてほしい。
	小田原駅	女性	50歳代	バスを小型にしても運行はつづけてほしい。

富水・桜井地域の主な要望

- 増便
- 小田原駅・ダイナシティ方面へのルート設置

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部 地域	無回答	女性	80歳以上	バスの本数が少ない
	無回答	女性	60歳代	本数が少ない。特に国府津～ダイナシティ鴨宮
	無回答	女性	60歳代	小田原駅方面の本数をふやしてほしい
	無回答	男性	80歳以上	時間を正確に。鉄道との接続時間に間に合わない。
	小田原駅	女性	80歳以上	あまりにも本数が少ない、1時間に1本とは非常に不便を感じています。通勤時間とか時間帯に何本も出ている時間もありますが、それ以外では、1時間に1本しかなくせめて30分に1本くらいの本数がほしいと思います。
	無回答	女性	60歳代	なし
	国府津駅	女性	60歳代	酒匂4丁目からストレートでダイナシティへ行くバスを毎時出してほしい。1号線沿いからダイナシティへ通勤している人は不便だと言っている人が多い。国府津でバスを2本のりついでいるとバス代が高くなり結果的に扶養枠で働ける金額が減ってしまう。
	無回答	男性	60歳代	本数を増やしてほしい。
	無回答	女性	20歳代	どこを何が通っているか幸からない 今後アプリなどがあると有難い
	無回答	男性	70歳代	便利に利用させていただいて居ます この本数を維持していただきたいです。
	小田原駅	男性	70歳代	回送が多すぎる 箱根登山バス車内の英語案内の表記がおかしいと思うことがある
	国府津駅	男性	50歳代	1時間に1本程度増便して欲しい
	小田原駅	女性	50歳代	最寄りのバス停には信号を渡って行かなくてはなりません。バスの方が早くバス停に着いていると乗れないことも多くがっかりします。乗り降りが終わって発車しても、その先の信号でとまっているようなら、もう少しバス停で待ってくれないのかと思います。バスの後ろ姿をうらめしい思いで見えています。
	無回答	男性	60歳代	乗降時間の短縮化
	鴨宮駅	男性	50歳代	道路信号の整備や、駅ロータリー特に雨の時のマイカー駐車による定時性の確保に努めてほしい 又行政も交えて
	小田原駅	女性	40歳代	路線図がわかりにくい。最寄りのバス停名がわかってもどれに乗りばいいかまよう。
	国府津駅	男性	80歳以上	通院の時間が年よりだと9:00～10:52マデナシ 10:00～17時頃マデないこと（ミニバス）運行が良い

24

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部 地域	無回答	女性	40歳代	酔いやすいゆれ(?)と、匂い。運賃が高すぎる。バスの混雑状況(予想)が分かると良い。・バス停まで行かなくても時刻表が分かると良い。(HPが見にくい)
	無回答	男性	70歳代	巡礼街道の本数を増して欲しい
	無回答	男性	70歳代	特になし。免許を返納したら、利用したい。近くのバス停の運行本数が少な過ぎる
	小田急	男性	80歳以上	基本的に運賃下げしてほしい。特にシルバー料金(現行は不備あり)の改訂。
	無回答	女性	70歳代	もう少し本数を増して欲しい
	国府津駅	男性	60歳代	屋根を付けて欲しいです
	無回答	男性	60歳代	ネットで時刻表検索が不便
	小田原駅	女性	60歳代	運賃がだんだん高くなっていくこと。本数がだんだん減っていくこと。
	国府津駅	女性	50歳代	運行本数が少なすぎて雨の時にしか利用しない。現在のバス会社は廃止してコミバスを走らせてほしい
	国府津駅	女性	50歳代	あとどのくらい待てば来るのか、などの表示がほしい。終バスが夜、早すぎる。遠くまで通勤していると、バスに乗れない。土日、とくに！飲んでもバスにはのれない。
	小田原駅	女性	60歳代	バス停にできればベンチが欲しい
	無回答	女性	80歳以上	本数を増やしてほしい。運賃の高齢者割引があると助かる
	無回答	女性	70歳代	国府津～二宮間 本数少ない。利用できない
	小田原駅	女性	30歳代	・本数を増やしてほしい・GPSなどでバスの現在地を分かるようにしてほしい(大幅な遅滞が分かるように)・バス乗り場に屋根をつけてほしい(駅など)
	国府津駅	女性	80歳以上	バスの本数を増やしてほしい
	無回答	女性	30歳代	運賃を下げてほしい。回数券のように何度も使う人に割引があれば
	無回答	女性	60歳代	シティモールへ行くバスをお願いします。ダイナシティ行きのバスの時間をふやしてほしいです。
	国府津駅	女性	70歳代	・朝通院時から(8時頃から)夕刻帰宅まで全くバスの便がない・通院用としては全く用をなさない◎毎時の便数の確保

川東・南部地域の主な要望

- 増便(特にダイナシティ・小田原駅方面)
- 路線図・ルートのご案内・わかりやすさ改善
- バスロケ情報の提供

25

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・北部地域	無回答	女性	70歳代	小型バスでよいからもう少し多くしてほしい 運賃が高いので安くしてほしい 鴨宮に行くバスがほしい
	無回答	女性	60歳代	本数が増えたらつかうかもしれない（将来）
	無回答	男性	60歳代	鴨宮からの飯泉への路線を作してほしい
	無回答	男性	40歳代	本数を増やして欲しい。
	小田原駅	女性	70歳代	簡単な、イスなどがあると、待っている時間が楽になると思います。
橘地域	国府津駅	女性	70歳代	前川～国府津（バス路線 8 時台～1 3 時まででないもない 夕方も、4 時間あいだがあく）
	無回答	男性	50歳代	なし
	国府津駅	女性	70歳代	バスの本数を増やして欲しい→3 時間に 1 本では病院の予約などとりづらい
	国府津駅	女性	70歳代	下原～国府津駅の間のバスを以前のようにふやして欲しい。今のダイヤだと思いの通りの通院（山近病院）が出来ない。特に帰り。
	無回答	女性	20歳代	終バスが平日 1 0 時休日 9 時台のため、困る。歩きでは 1 ～2 時間かかるため、タクシーを使用（1 0 分、2 0 0 0 円ほど）
	無回答	女性	70歳代	序々に本数が減り利用したい時間帯にバスがない（朝・夜のみ）
	国府津駅	男性	70歳代	運行本数を増やして欲しい。
	鴨宮駅	女性	80歳以上	待ち時間の時年令が若くないのですがあつたらと思います
	小田原駅	男性	80歳以上	3 0 分間隔を短くしてほしい。
	無回答	女性	50歳代	最寄りのバス停から（小田原市のほぼ東端）小田原市の商業施設（シティモール、ダイナシティなど）に向かうバス路線をつくってほしいです
	無回答	女性	70歳代	運行本数を多くして欲しい
	国府津駅	女性	70歳代	本数、ルートが R 4. 4 月にもだいぶんへってしまった。遠まわり（運賃も倍に）して行くしかない

川東・北部地域の主な要望

- 増便
- 鴨宮駅方面へのルート設置

橘地域の主な要望

- 増便（ニーズにあった時間帯の増便）

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
市外	無回答	女性	60歳代	箱根登山鉄道は運賃高すぎ。
	無回答	女性	50歳代	本数が少ない
	無回答	男性	60歳代	本数をふやしてほしい。
	国府津駅	男性	70歳代	バス停がキケン
	無回答	女性	70歳代	季節により大巾なおくれ。
	小田原駅	男性	80歳以上	問 5 に書いた通り市立病院前は長い工事（発掘）に入っていて、椅子も少く屋根もない。雨の日、●陽照りの真夏はつらい 工事中でも屋根をほしい（既存のほかに）
	小田原駅	女性	70歳代	運行間隔が一定でなく、昼間長くなる時間帯があり、改善して欲しい。
	無回答	女性	60歳代	待合場所での情報提供が良かった。
	無回答	男性	80歳以上	特になし
	無回答	男性	60歳代	ドライバーが足りないといわれているが運行本数を減少させないでほしい。
	無回答	女性	50歳代	国道一号線沿いに住んでいる方が鴨宮駅になかなか行けない。バスがないと相談にみえます。高齢者のために、もう少し、考えてほしいです。（小八幡の方は、鴨宮へ行くのに国府津～小田原へ出てそれからまたバスにのるそうです）あと、毎日のる方は、何回目以上は半額になる e t c あるといいですね。
	小田原駅	男性	40歳代	もっと本数を増やして欲しいです（特に帰りの時間）
	無回答	男性	80歳以上	屋根付の待合室。
	無回答	男性	70歳代	待合場所でのシレが必要です。
	無回答	女性	50歳代	最近、時刻表が改正されたのでしょうか？箱根に行くのに 2 時間バスがない。改善してほしい
	国府津駅	男性	50歳代	終バスの時間（あと 3 0 分繰り下げて）

路線バスについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
市外	国府津駅	女性	40歳代	目的地へ行くのにちょうどよいバス停が遠い（15～20分歩く）「〇〇保育園」というバス停は多くあるので、会社が集まっているところにも便利なバス停があるとよい。
	小田原駅	女性	50歳代	新幹線で小田原に着き、バスで通勤していますが、乗り継ぎがよくないので、みんなで不満に思っています。帰りも同様です。勝手なお願いですが、乗り継ぎがもう少しよくなると助かります。
	秦野駅	男性	60歳代	駅発・着のバスダイヤは鉄道のダイヤを意識して欲しい。特に本数の少ない時間帯（タッチの差で乗れないケースがある）
	無回答	女性	30歳代	本数を増やして、分かりやすくして欲しい。ペピーカーを利用しやすい。
	無回答	男性	60歳代	利用しませんので、意見、改善等浮かんできません。ただ、大声で騒ぐ客がいた場合、運転手が注意する権限を強く付与してほしい。後日お客からクレームがきても、「キゼン」とした対応をお願いします
	無回答	男性	10歳代	スクールバスの為、途中下車、乗車ができない。
	無回答	女性	50歳代	特にないです
	無回答	男性	20歳代	J Rが運転を見合わせた際の振り替え輸送受託状況がわかりづらい。
	無回答	男性	60歳代	12月9日魚場前から国府津駅に乗車。（乗務員さんの対応が素直だった。）小田原からのバスで多少遅れ12：20頃乗車。
	国府津駅	女性	60歳代	一番必要な時間帯に1本もないのは不便。せめて1時間に1本は欲しい。
	小田原駅	男性	30歳代	コロナを理由に運行本数が減ってしまった
	国府津駅	女性	50歳代	時間通りに来ない 座れない 息苦しい
	無回答	女性	30歳代	朝の時間にバスがもう1、2本増えたら利用しやすいです。特に花王前←→鴨宮の朝・夕が増えたと利用しやすいです。
無回答	無回答	男性	60歳代	バスをふやしてほしい
	無回答	女性	50歳代	わかりにくい。HPを見ても、わかりにくい。時刻、料金、路線がもっと検索しやすくしてほしい
	無回答	女性	30歳代	ターミナルがわかりづらい。案内図を各乗り場にも現在置がわかるよう置いて欲しい。
	無回答	女性	40歳代	本数を増やして欲しいです。（全時間帯）乗車するステップの高さを改善したら高齢者が楽に乗降できると思います。
	無回答	女性	70歳代	私松葉杖を使う者ですが、対おうがあまり良くない ちょっとおくれたら、終バスにのせてもらえませんでした。

市外の方の主な要望

- 増便（特に朝、夜）
- 新幹線⇔バス、鉄道⇔バスのダイヤ調整

28

鉄道についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（中心部）地域	無回答	男性	30歳代	① J R 東海道線はよく遅延していますので、満足という評価はまったく言えないのです。② J R と小田急線の乗り場は離れており、乗り換えは大変です。③ J R と小田急線の駅構内はゴミ箱ないので、かなり不便です☆！
	無回答	女性	80歳以上	新幹線の音がうるさい J R 東海の人ばかりまの顔をしている。気を使って欲しい
	小田原駅	女性	50歳代	運賃が高い（東海道線）。遅延することが多い。遅延や運休、また再開の情報が得にくい。
	小田原駅	女性	70歳代	エレベーターの設置位置が、ホームの外れにある場合が多い。
	無回答	男性	70歳代	以前の様に、快速（アクティ等）の本数を増してほしい。
	無回答	男性	30歳代	新幹線を通勤に利用しているが、小田原駅に停車する本数がもう少し増えたとありがたい。（特に夜の時間帯）
	無回答	女性	40歳代	・小田急線足柄駅等各駅停車の本数を増やしてほしい。以前の松田～小田原の準急（●）のように、ホームドアの設置（人身事故を少しでもへらしてほしい。）
	無回答	男性	70歳代	「急行」の本数を増やして。
	鴨宮駅	女性	30歳代	ゴミ箱の設置がなくなってゴミ捨てが増えたと思う。
	無回答	男性	70歳代	鴨宮→小田原間の本数が大巾に減ったので元に戻してほしい
	無回答	男性	70歳代	新松田→本厚木間の快速急行停車駅を減してほしい
	無回答	男性	50歳代	特急湘南が横浜停まらないのが困る。快速アクティを夜増便してほしい。
	無回答	男性	20歳代	・小田急の快速急行の停車駅を減らしてほしい（新松田～本厚木のみ）。・小田原に停まるひかりを増やしてほしい。
	無回答	女性	50歳代	便数がずいぶん減ってさみしい限りです。これ以上減便しないでほしいです。
	無回答	女性	70歳代	・鉄道の降車時間とバスの発車時間に待ち時間の短縮に考慮して欲しい 1 分の違いでバスを 1 時間待つのは辛い。西口のいいの村行きは特に昇り坂なので、徒歩は困難

中央（中心部）地域の主な要望

- 増便（特に夜の時間帯や快速、急行）
- 新松田～本厚木間の快速急行停車駅の削減
- 鉄道⇔バスのダイヤ調整

29

鉄道についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（郊外部）地域	無回答	男性	30歳代	事故が多すぎる。乗務員が、終点でも、折り返しだと、客を起こさない
	無回答	女性	50歳代	次の電車まで30分ぐらい来ないことがあるのでせめて20分ぐらいで来てくれるとありがたいです。
	小田原駅	女性	60歳代	事故によるタイヤの乱れが以前より頻繁な気がします。
	無回答	男性	40歳代	小田急線の足柄駅に停まる電車を増してほしい。
	無回答	男性	60歳代	鉄道は新幹線のみ利用しているので、鉄道については改善希望なし。ただし落下防止のため自動の柵を設置して欲しい。
富水・桜井地域	無回答	男性	10歳代	小田急に関してですが、開成に停車する急行を減らして快速急行を復活させて休日の各駅停車の本数を増やしてほしいです。
	無回答	女性	70歳代	J R 特に（普通）と小田急（各停）、大雄山線の接続がわるい。特に通勤時、（帰りも）今より2〜3分予有をもって出発時間を設定してほしい
	小田原駅	女性	70歳代	現状を維持して頂ければ良い
	小田原駅	女性	50歳代	小田急車内の冷房（空調）が寒い。冬は窓はしめてほしい。大きなほごりがたまっているの、そうじしてほしい。新松田駅の看板（下り）がほとんど空なので、無くすか、絵を描くとカキレイにするよと思う。夜寒い中冬駅●待ち、立っていると、とても淋しい雰囲気になる。
	無回答	男性	70歳代	車椅子を利用するためのスロープを設置して欲しい。
	小田原駅	女性	60歳代	どの駅も車椅子が利用しやすいようにスロープをつけてほしい
	無回答	女性	20歳代	本数を増やしてほしい。
	無回答	女性	50歳代	小田原〜新松田間の各駅停車の本数を増やしてほしい。
	無回答	女性	70歳代	時刻表が改定する時、小さな時刻表をお願いしたら、ネットで調べてほしいとの答えでした。あっても、多数の枚数が無いので渡せないと言われた。若い人はネットで調べて終りでしょうが、年寄には、ネットがムリな人もいます。時刻表がほしい人もいます。
	無回答	男性	50歳代	栢山駅にも急行を止めて欲しい。
	小田原駅	女性	70歳代	待合環境に不満。イスが少い。
	無回答	女性	60歳代	休日の18：00台の各駅電車の本数が少ない。
	鴨宮駅	女性	50歳代	螢田駅は乗降人数が多いので急行止まって欲しい。
	無回答	男性	60歳代	冬場の小田急線は他の鉄道会社に比べて窓が開きすぎていて寒い。特に長いヨリを乗る人達にとって小田急は評判が悪い！

中央（郊外部）地域の主な要望

- 事故の削減、安全対策

富水・桜井地域の主な要望

- 増便（特に各駅停車）
- バリアフリー対策、空調の改善

鉄道についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部地域	国府津駅	女性	70歳代	昼の時間帯はあまりないのが不便。
	無回答	女性	60歳代	遅れることが多く、こまった時がありました。
	国府津駅	女性	60歳代	国府津駅ホームで外国人旅行客が J R 東海道線から御殿場線のりかえのホームの位置をまちがえて後方で待っていて、前方に行かないと電車に乗れないことを教えてあげることがよくある。英語でわかりやすく表示するべき。
	小田原駅	女性	50歳代	平塚駅や国府津駅どりの電車に乗ると、その先へ行くのに15分以上待たなければならない時があります。また早朝の小田原行きの本数も少ないと感じます。
	無回答	男性	60歳代	窓口サービスの充実
	鴨宮駅	男性	50歳代	I Cカードによる振替乗車の検討
	小田原駅	女性	40歳代	I Cカードをケースから出さずにチャージできる券売機を増やしてほしい。
	国府津駅	女性	70歳代	時刻より遅れているのに、遅れという表示がなく（5分以上）まよいました、聞きに行ったら、もう来ますよと結局乗れませんでした。
	国府津駅	男性	80歳以上	ホームに雨風寒さをふせぐ待合室がほしいです
	無回答	女性	40歳代	御殿場線の本数を増やしてほしい。
	無回答	男性	70歳代	小田原から東京方面へ向かう時、鴨宮駅に止まるかわからない場合がある。
	無回答	男性	70歳代	カード型の時刻表（駅毎）を作成して欲しい
	小田急	男性	80歳以上	御殿場線の本数多くしてほしい…ムリかね？
	無回答	女性	70歳代	国府津駅鴨宮行を1番線にしてほしい（2番ホームが多い）
	小田原駅	男性	50歳代	朝6時〜7時代の下りダイヤ、朝、下り通勤電車、10両！、短いのはなぜ？
	小田原駅	男性	60歳代	以前のように、地下通路を利用できるようにしてもらいたい ホームから地下街直結であれば便利 通勤時間帯、エスカレーが混んで待つ。
	小田原駅	女性	60歳代	小田原行きの本数が減っている。（小田急）ロマンスカーの価格がもう少し安くなるといい。
	国府津駅	女性	50歳代	山側に出来る改札口がほしい。
	国府津駅	女性	50歳代	国府津駅内コンビニが欲しい。→外にあるが、早く終わる。（New days）もうすこしおそくまでやらないと、コンビニじゃない。駅のみどりの窓口も人がいなくなった。不便。
	無回答	男性	30歳代	東海道線の運賃が高い。
	無回答	女性	80歳以上	最近電車の遅れが多い 運賃の高齢者割引があると助かる
	無回答	女性	70歳代	紙の時刻表を発行して欲しい 国府津に緑の窓口なくなって不便です
	無回答	男性	70歳代	エスカレーター
	無回答	女性	50歳代	2年前ぐらいから小田原までの本数が減ったので、もっと増やして欲しい。遅延が多すぎる（上野東京ラインになってから）
	国府津駅	女性	70歳代	昼間の富水駅全く電車が来ない時刻あり。
	無回答	女性	60歳代	国府津駅に「みどりの窓口」がなくなりジパング倶楽部で切符を買う時、小田原駅まで行かなければならない。
	小田原駅	男性	50歳代	スイカの区間（熱海以降）の問題

川東・南部地域の主な要望

- 窓口サービスの充実
- 昼間の空白時間帯の解消

鉄道についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・北部地域	無回答	男性	40歳代	御殿場線の本数をもう少し増やしてほしいです。
	無回答	男性	40歳代	御殿場線の本数を増やして欲しい。松田～国府津間だけでも折り返し運転にして本数を増やして欲しい。
	小田原駅	女性	70歳代	階段がにがてなので時間がかり乗り遅れる事。
橘地域	国府津駅	女性	70歳代	国府津駅、ホームに行くときに階段がたいへんた トイレは和式で足の悪い人は入れない
	国府津駅	女性	70歳代	冬の朝横浜駅まであまり暖房がきかず寒い（東京駅まで乗車する時）
	国府津駅	男性	70歳代	国府津駅のみどりの窓口を再開してほしい。
	無回答	男性	60歳代	・事故発生後の早期運行復旧。・迷惑利用者への厳重な処罰と、その告知。
市外	無回答	女性	60歳代	小田急は各停が多すぎ。
	無回答	女性	50歳代	のりつぎが悪い。乗る時間が短いのに運賃が高い。
	無回答	男性	60歳代	時間をまたせないでほしい。
	無回答	女性	50歳代	茅ヶ崎駅はホームがせまいためいちゃ死亡事故がおきると思います。改善して欲しい。
	無回答	女性	40歳代	ホーム内の座せき数を増やして欲しい
	国府津駅	男性	70歳代	遅れが目立つから改善して欲しい
	無回答	男性	70歳代	小田急は止まりすぎ
	小田原駅	男性	80歳以上	上り下りホームともに中央より端の部分帯に椅子がない 高令者はいつまでも立ってられない
	無回答	女性	60歳代	駅出口に地図
	無回答	女性	60歳代	湯河原までだと終電が早いです。
	無回答	男性	70歳代	新幹線と在来線の乗り継ぎ時間が不便な時ある（特に夜間）
	国府津駅	男性	20歳代	上記路線ではないが、国府津駅（ＪＲ東日本とＪＲ東海の乗り換え）を狭んでもＳｕｉｃａ等の交通系ＩＣで改ざつから出れるようにしてほしい。（相模金子→小田原）

川東・北部地域の主な要望

- 御殿場線の増便（特に松田～国府津間）

橘地域の主な要望

- 窓口サービスの充実
- バリアフリー対策、空調の改善

32

鉄道についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
市外	無回答	女性	60歳代	安全の為、点検等の諸事情で電車の到着が遅れることが最近多く感じる。その際臨時運行の電車を発車できるよう改善して欲しいです。
	無回答	女性	40歳代	国府津駅が寒い
	無回答	男性	30歳代	運行本数が増えてほしい 運賃を下げてほしい
	無回答	男性	60歳代	バスと同じで運行本数を減らさない対策をお願いします。
	無回答	女性	50歳代	国府津駅の待ち合わせ時間寒くなるとドアがしめれるとありがたいです。
	無回答	男性	40歳代	・東海道線の運転間隔が不均等・新幹線のひかりが２時間に１本と少し不便。
	無回答	男性	70歳代	駅出口に地図
	無回答	女性	50歳代	購入したものを座って食べられるスペースがあるとよい。
	無回答	女性	60歳代	小さくてもよいので時刻表を掲示してほしい。
	国府津駅	男性	50歳代	国府津駅の駅施設の改善
	国府津駅	女性	40歳代	ＪＲでいうと、小田原駅までの電車を増やしてほしい。平塚や国府津止まりの電車は、通勤時間に必要なのか？
	無回答	女性	80歳以上	スマートフォン等の利用によってポケット時刻表がなくなってしまったため駅に行かないと時刻がわからない
	無回答	女性	30歳代	ベビーカーを乗せる際、ホームにすきまがありすぎて一人だとコワイ。
	無回答	男性	60歳代	・バス・鉄道で大声で騒ぐ人がいれば、反抗的な態度をとる場合乗車拒否の強い対応をお願いします。強い反応がお客様の信頼につながると思います。
	無回答	男性	10歳代	乗客間トラブルについて、トラブル発生後しか、警察、鉄道警察は対応してくれない。（他者の倫理観に期待できない）
	無回答	男性	60歳代	メンテ不良と思われるトラブルが多いように思います。
	国府津駅	女性	50歳代	すぐ運行停止はやめて欲しい
	無回答	女性	30歳代	朝のＪＲ小田原駅のエスカレーター側が非常に混雑しているのが気になります。
	無回答	女性	60歳代	スイカの方が２円高いことは納得できません。
無回答	無回答	女性	50歳代	毎年時刻表が改定されるが、ここ最高改悪している。一番利用者数が多い時間帯にもかかわらず（６～８時）車両が１０→６減って使いにくい。（小田急）
	無回答	女性	30歳代	御殿場線の乗り換えがわかりづらい。（ホームが遠い）
	無回答	女性	40歳代	東海道線は、人身事故等の列車復旧に時間がかかりすぎる

市外の方の主な要望

- 到着時刻遅れの改善

33

タクシーについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（中心部）地域	鴨宮駅	女性	70歳代	流しのタクシーがないのに…使用する時の（呼び出し）料金が高い！100円以下にならないか？
	無回答	女性	80歳以上	運伝主によって対応がまちまち。気分良く乗車出来た時は嬉しい。
	無回答	女性	70歳代	運賃が長キョリの場合高すぎる。
	無回答	女性	80歳以上	東京は420、小田原600と初回の違いが何故ですか？
	小田原駅	女性	70歳代	女性ドライバーをもっと多くしてほしい（安心感）
	無回答	女性	40歳代	交通ルールを守っていないタクシーの多さに呆れる。（信号無視、速度超過 e t c . ）（特に伊豆箱根さん）
	無回答	男性	50歳代	運転手の態度に良い人と悪い人がいる。
	無回答	男性	50歳代	会社によって態度が違う 乗ってもらう気持ちの人と乗せてやる気持ちの人の接客態度のギャップが激しい
	無回答	女性	40歳代	ドライバーの質
	無回答	女性	70歳代	駅迄歩ける為ほとんど利用しませんので、別に改善はありません
	小田原駅	女性	80歳以上	領収書は、必ず、下さい。
	無回答	女性	50歳代	特にありませんが高齢のドライバーがいて、少し心配になる時があります。
	小田原駅	女性	70歳代	最近の運転手さん達は礼儀正しく、やさしいので利用しやすいです。
	無回答	女性	70歳代	私の家は駅から近くなので、ほとんど利用していませんが、もっと高齢になった時、買い物、通院に利用すると思う。スマホ等の予約などにがてなので、今までのやり方をのこしておいて下さい。

中央（中心部）地域の主な要望

- 初乗り運賃の低減

タクシーについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（郊外部）地域	無回答	男性	30歳代	週末の夜、駅前で待つも、30分経っても、来ない事が多い。
	無回答	女性	80歳以上	行先を言った時返事をして下さい
	小田原駅	女性	50歳代	予約がつかまらないことがある
	無回答	男性	60歳代	小型タイプのタクシーを増して欲しい。
	無回答	男性	60歳代	・自宅に入る路地が少しせまい為大型車が入りにくい為、お願いするにあたってきをつかう為（自分が利用する時間帯は大型車がほとんど）もう少し、小・中型車を待機させてほしい！！
富水・桜井地域	無回答	女性	70歳代	70才以上の人達に、3割程度割引いてほしい。そうすれば、利用しやすくなると思う。例、駅から市立病院や市役所、e t c、渋滞も少なく、なるのではないのでしょうか。J R へ終電隆くなると、国府津行になってしまうのでこまる。
	無回答	男性	70歳代	タクシーの台数が少ないので、呼んでから到着までに時間が掛かる。流しているタクシーが少ないので、途中で拾うことはほぼ不可能である。
	小田原駅	女性	60歳代	タクシーの数が少ないので、県道、国道等で流しているタクシーをつかまえることができない。もっと気楽に利用できたらと思う
	無回答	男性	50歳代	駅にタクシー会社のTEL番号を表示して欲しい。
	無回答	女性	80歳以上	駅前などは何でもないが、自宅から急用等で使いたい時にとても不便で不親切。

中央（郊外部）地域の主な要望

- 駅前の待機車両の増車
- 小型車の増車

富水・桜井地域の主な要望

- 流し車両の増車

タクシーについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部地域	国府津駅	女性	70歳代	国府津はあまりタクシーとまっていない。
	国府津駅	男性	40歳代	料金が高いのでタクシーを利用することはこれからもないと思います。
	小田原駅	女性	50歳代	駅前タクシーはたいい待機してくれるので助かります。早川駅などでは予約したくてもすぐつかまらなかったりしたことがあります。
	無回答	男性	80歳以上	急な予約がむずかしい。
	小田原駅	女性	80歳以上	料金が高いと思います。バスの本数が少ないこともあり、やむなくタクシーを利用したりしますが、年寄が利用しやすい割引料金などがあると嬉しいと思う
	無回答	女性	60歳代	使用したい時、(雨の時とか) なかなかこない。
	国府津駅	女性	60歳代	タクシー運賃がもっと安ければ、もっと利用したい。鴨宮駅のタクシー乗り場は、タクシーがいつくるのか全然わからず使いづらいので小田原駅から利用している。
	国府津駅	男性	50歳代	特になし（国府津は深夜の台数を増やして欲しい気持はあり）
	小田原駅	女性	50歳代	小田原市内のタクシーは乗りたくても、乗りたい時に近くにおらず配車を頼むと、長時間待たされるので、使いにくいです。
	無回答	男性	60歳代	初乗り料金の値下げ
	鴨宮駅	男性	50歳代	駅からの乗車時、雨が降っていないにもかかわらず、タクシーが無い時がある。
	国府津駅	女性	70歳代	時間帯によって、30分位来ない事（駅で）
	国府津駅	男性	80歳以上	駅によって、ずい分まつことが多い
	無回答	女性	40歳代	迎車料金をとらないでほしい。
	無回答	男性	70歳代	特になし。免許を返納したら、利用したい。
	小田急	男性	80歳以上	やっぱり料金でしょう。シルバー料金作るとか、スタンプ集めて安くするクーポン出すとか、地方都市ではやりますよ。
	無回答	女性	70歳代	いつでも待機しているのとありがたいです。
	鴨宮駅	女性	70歳代	ほとんど利用しない
	小田原駅	男性	60歳代	主な行先料金を、乗り場に掲示しておいてもらいたい。
	国府津駅	女性	50歳代	乗車キョヒをする人がいる。いくら、女、で近そう、と思っても、キョヒするのは…どうかと思う。車のナンバーをひかえている。（何月何日に…も）国府津に車が少なくて、よく待たされる。
	小田原駅	女性	60歳代	運転手の態度があまり良くない人がいる
	鴨宮駅	男性	70歳代	今は大変よくなったと思う？
	国府津駅	女性	80歳以上	運転手がおらず車両があいているという話を聞きますが、若い運転手の方の採用をお願いしたいです
	無回答	男性	70歳代	80才以上割引
	国府津駅	女性	70歳代	雨天時の待ち時間の見通しがたたないこと。

川東・南部地域の主な要望

- 駅前の待機車両の増車
- 運賃の低減、高齢者割引制度の導入

36

タクシーについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・北部地域	無回答	女性	70歳代	小さいタクシーで安くしてほしい
	無回答	男性	60歳代	東京のように初乗りの変更を希望
	無回答	女性	30歳代	客を乗せていない時、危険な運転をしているドライバーが多い。高齢なドライバーが多くこわい。
	無回答	男性	40歳代	使用していない。
	小田原駅	女性	70歳代	動物病院に利用する事もあり、それ用（対応）のタクシーがあれば良いと思うのですが。
橘地域	無回答	男性	70歳代	※自宅から駅までは、徒歩で十分なので利用したことがありません。
	国府津駅	女性	70歳代	持たされる。タクシー乗り場がさむいし、雨の時たいへんだ
	国府津駅	女性	70歳代	運賃値上げなので信号待ちの時の料金を考えて欲しい。
	国府津駅	女性	70歳代	北口、南口（二宮駅）や国府津駅本数が少く、特に夜間ほとんどタクシーのれず、長時間待つことが多い。
	無回答	女性	20歳代	二宮駅は終バスが早いため、終バス後タクシーまちが多い。30分まつこともある。
	無回答	女性	70歳代	雨の日の利用が台数が少ないのが難しい
	国府津駅	男性	70歳代	（ドライバー不足で大変とは思いますが）車両数を増やして欲しい。
	国府津駅	女性	70歳代	今のところは、遠まわりしての路線バスでがんばれるが使わなければならない時がきたら、運賃が高いのに悩む。

川東・北部地域の主な要望

- 初乗り運賃の低減

橘地域の主な要望

- 二宮駅、国府津駅の待機車両の増車（終バス後、雨天時の対応）

37

タクシーについての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
市外	無回答	女性	60歳代	初乗りの距離を2Kにする。
	無回答	男性	70歳代	初乗り、距離を安くする
	無回答	男性	70歳代	小田原市外利用
	無回答	女性	70歳代	こう津駅タクシーの数が少なく、またされた。
	無回答	女性	50歳代	大きいおれをつかってほしいとありがたい。
	無回答	女性	60歳代	真鶴駅は人口が少ない為か、まず駅前にタクシーが止まっていることが少ない。乗車する人は電車を降りると走って改札口を出るのでわかります。私は歩くことができないので、バスが無い時は歩きます。もう少し台数を増やしてほしいです。
	無回答	男性	30歳代	初めの運賃安くしてほしい
	無回答	女性	50歳代	やはり運賃高いですね。乗り合いタクシーとかあると、少しやすくなるのでしょうか。
	無回答	男性	70歳代	利用料金をもう少し安くしてほしい。
	無回答	女性	50歳代	車に乗り込む場所に屋根がほしい
	国府津駅	男性	50歳代	駅前で利用したい時に来ない点
	国府津駅	女性	40歳代	台数が少ない。バスだと遠いのでタクシーを利用したいのに車がいないと、大変困る。
	無回答	女性	30歳代	高い、ベビーチェア（カーシート）あるのか？
	無回答	男性	60歳代	今は全く乗ることはありません。
	無回答	男性	10歳代	空車時の運転マナー。（速度、横断歩道優先、中央線をまたいだ追い越し）など、一般車両と変わらない。
	国府津駅	女性	60歳代	時々タクシーがない。
	国府津駅	女性	50歳代	電話してもお向え料を取られる。
無回答	無回答	女性	30歳代	必要なタイミングで小田原駅付近に集中していて鴨宮駅周辺に少ないので利用したいタイミングで利用できない。
	無回答	女性	30歳代	高いから使わない。
	無回答	女性	40歳代	料金を安くしてほしい。
	無回答	女性	70歳代	早朝の予約がいっぱいでいつも出来ない 足が不自由なので本当にこまります。

市外の方の主な要望

- 運賃の低減
- 駅前の待機車両の増車

38

乗継環境についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
中央（中心部）地域	小田原駅	女性	50歳代	小田原駅へ向かうバスの遅れが多く、電車の時間に間に合わない。バスの終了時間が早いので利用しにくい。
中央（郊外部）地域	小田原駅	女性	50歳代	待つ場所がせまくて危険
富水・桜井地域	小田原駅	男性	70歳代	駅構内放送の重複を避ける。
富水・桜井地域	小田原駅	女性	60歳代	鴨宮駅と国府津駅のバス乗り継ぎの連絡がよくなくて、ダイナシティやシティモールへ行く時、又、帰る時も不便だいつも感じている。
富水・桜井地域	小田原駅	女性	50歳代	・病院やショッピングセンターへのアクセスを良くしてほしい なるべく、外へ出られる環境がある街にしたい。・実際に何時に目的地のために乗り継ぎをして見て下さい。
川東・南部地域	小田原駅	女性	50歳代	駅のバス案内の看板にバス時刻表や乗り換え、運賃等検索サイトへつながるQRコードを表示してほしい。伊豆急or箱根登山（運行バス会社の）
川東・南部地域	小田原駅	男性	70歳代	乗り継ぎの割引があると良い。
川東・南部地域	小田原駅	女性	50歳代	小田原駅のロータリー、バス停にたどりつくまでに時間がかかり、面倒だと思います。また階段付近の見えるところに時刻表があればギリギリまで買い物したりできるので便利だと思います。
川東・南部地域	小田原駅	女性	40歳代	駅改札を出て、使うべきバスの乗り場が西口か東口が行ってみたいとわからない。
川東・南部地域	小田原駅	女性	60歳代	小田急で、小田原駅に着いてから、バスに乗りかえの際、間に合わない時がある。
川東・北部地域	小田原駅	女性	70歳代	歩きが遅い為時間がかかり、乗り継ぎの時間に間に合わない、もう少し時間（停車）あれば、と思う事。
市外	小田原駅	男性	80歳以上	小田原駅から市立病院ゆきバスの本数が少ない。帰りも大体同じ
市外	小田原駅	女性	70歳代	東京←→小田原は便利ですが、その先、湯河原は少ないので、不便です。
市外	小田原駅	男性	40歳代	もっと本数を増やしてほしいです。
市外	小田原駅	女性	50歳代	問3でも書きましたが乗り継ぎが悪い。新幹線到着後4分でバスが発車するので、間に合わず、次のバスまで20分待たります。帰りもバスが駅に着くと新幹線の出発がほぼ同時に間に合わず、30分待たります。会社の中では悪評です。改善されるととてもありがたいです。
市外	小田原駅	女性	60歳代	電車が遅れてもバスの出発は待っていてくれない。途中バス停で待っておられる方が多いところは、仕方ないかもしれないが…そうでないところは連携してくれと嬉しい。
市外	小田原駅	男性	30歳代	コロナを理由にバスの本数が減ってしまい、乗りづらくなった
市外	小田原駅	女性	80歳以上	足の不自由な者には、バスまでの距離を短くしてほしい。

小田原駅における乗継環境についての主な要望

- 新幹線⇄バス、鉄道⇄鉄道、鉄道⇄バスのダイヤ調整
- 情報案内の改善（のりば案内、路線図、時刻表情報）

39

乗継環境についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部地域	国府津駅	男性	40歳代	利用する人が少ないからどうしようもないと思うが、御殿場線の本数を増やしてほしい。
川東・南部地域	国府津駅	男性	50歳代	20～30分以上間隔が空くのは困ります。
川東・南部地域	国府津駅	男性	80歳以上	電車のつく時間人の多くおる時はバス、タクシーがあると良いです 時には30分以上まつことがある
川東・南部地域	国府津駅	女性	50歳代	駅からバス停に渡る時、一般車が停止しない事があり危険
川東・南部地域	国府津駅	女性	80歳以上	J Rと時間バスの時間が合いません
川東・南部地域	国府津駅	女性	50歳代	バス→小田原←国府津はあるが、鴨宮行きがない。不便。のりかえもない。お年寄りは不便だと思う。
川東・南部地域	国府津駅	女性	70歳代	若い頃から慣れている。下曽我方面のバスの便がないので日中の便数を（毎日一本くらいに）確保してほしい
橘地域	国府津駅	女性	70歳代	バスが一本で行けると良い
橘地域	国府津駅	女性	70歳代	神奈中のバスが無い時間があるのでダイヤ接続が出来ない
橘地域	国府津駅	女性	70歳代	バスからバスの乗りつぎが悪い。特に国府津駅から下原方面のバス路線国府津駅から関口方面（コーカ堂、ダイナーシティ）が悪い。
市外	国府津駅	男性	20歳代	鉄道が止まって、振り換え輸送のときにバスの運転手が事情を把握していないことがある
市外	国府津駅	男性	50歳代	国府津駅でバスに乗り継ぎに一般車との事故が起こる可能性がある点
市外	国府津駅	女性	40歳代	国府津駅はわかりやすくてよいと思う。雨の日雨よげがないのでつらい気がする。
市外	国府津駅	女性	60歳代	タクシーよりバスを利用したい（運賃の問題）がその時間帯に1本もバスがないのが困る。せめて1時間に1本を。
市外	国府津駅	女性	50歳代	到着時間からバス停までの時間がかかるので見直して欲しい（足が悪いので）
中央（中心部）地域	鴨宮駅	女性	70歳代	バスの運転手の無口さがめだつ！
川東・南部地域	鴨宮駅	男性	50歳代	電車が到着するとバスが発車するパターンが多い。
川東・南部地域	鴨宮駅	女性	70歳代	バスから鉄道に乗り継ぎ 駅の時刻表が改札外にあると良い
川東・南部地域	鴨宮駅	男性	70歳代	足が不自由なのですいてる電車にのるようにしている席にすわるように変わってくれる人は変わってくれるが若い学生は動かないね？…

国府津駅における乗継環境についての主な要望

- 鉄道⇔バス、バス⇔バスのダイヤ調整
- 鉄道着時間に合わせたタクシー配車

鴨宮駅における乗継環境についての主な要望

- 鉄道⇔バスのダイヤ調整

乗継環境についての改善要望

地域	乗継場所	性別	年齢	改善要望
川東・南部地域	小田急	男性	80歳以上	・小田原駅コンコースに大きく市内バス路線図、時刻表の看板を設置してほしい。
中央（郊外部）地域	下曽我	女性	50歳代	下曽我から井細田のバス運賃が電車の倍で高い
市外	秦野駅	男性	60歳代	駅発・着のバスダイヤは鉄道のダイヤを意識して欲しい。特に本数の少ない時間帯（タッチの差で乗れないケースがある）
中央（中心部）地域	無回答	女性	70歳代	時間を正確にしてほしい。いつも長時間待たねばならない
中央（中心部）地域	無回答	女性	80歳以上	高令者対策をして欲しい。
中央（中心部）地域	無回答	男性	50歳代	J Rと小田急の乗り継ぎがわるい
中央（中心部）地域	無回答	女性	40歳代	使わないのでわからない
中央（中心部）地域	無回答	女性	70歳代	コロナの影響でほとんど外しませんが、余りありません
中央（中心部）地域	無回答	女性	50歳代	バスやタクシーの乗降する駅前ロータリーから、改札までエスカレーターとかいだんがあるので急いでいる時もあせらず乗りかえることができます。
中央（中心部）地域	無回答	女性	50歳代	本数を増やして欲しい
中央（中心部）地域	無回答	女性	70歳代	循環バスとかあるといいなと思います。今は山田デンキとかが所有しているバスがありますが、帰りはすらすら帰ってこれないんですね。
富水・桜井地域	無回答	男性	70歳代	国府津駅での列車とバスの連絡が悪過ぎて、乗り継ぎがうまく出来ないで、バスの本数を増やすなど改善して欲しい。
富水・桜井地域	無回答	女性	70歳代	今、各駅のホームに職員が少ない。問い合わせにしても、何かあった時に、駅員を探すのが大変な気がします。
富水・桜井地域	無回答	男性	50歳代	小田原駅東口エスカレータの代替のエレベータ、エスカレータの標示がない。
川東・南部地域	無回答	男性	80歳以上	バス間の乗り継ぎ時、遅れか間引きかわからず次の時間まで30'ちかちかしました。
川東・南部地域	無回答	女性	60歳代	国府津駅には、バスがあるが、鴨宮駅には、とおまわりのバスしかなく本数もない。
川東・南部地域	無回答	男性	60歳代	具なる交通機関の連携
川東・南部地域	無回答	男性	80歳以上	希望、乗車バス停、目的地バス停が遠い。クリニック、病院通いが不便。
川東・南部地域	無回答	男性	70歳代	80才以上フリーバスに
川東・南部地域	無回答	女性	60歳代	最近、東海道線の遅延が時々あるので困ります。仕事ちこした時あります。
川東・北部地域	無回答	女性	70歳代	御殿場線が増えたらいいです
川東・北部地域	無回答	男性	60歳代	鴨宮からのバス路線がない作ってほしい
川東・北部地域	無回答	女性	30歳代	下曽我～国府津でICが利用できない。下曽我～松田まではJ R東日本で対応できないのか。

交通資源調査結果

1. 調査概要

- 調査期間：令和 5 年 3 月 3 日（金）発送～3 月 17 日（金）回答期限
- 調査対象：55 施設（川東・北部地域、橘地域の福祉施設、工業団地）

2. 調査結果概要

- 配布・回収状況

16 施設より回答（回収率：29.1%）うち**8 施設**が送迎サービスを実施

- 道路運送法上の許可

道路運送法上の許可	件	割合
許可又は登録を取得している	1	6.3%
許可又は登録は取得していない	7	43.8%
無回答	8	50.0%

- 運行目的

運行目的(複数回答)	件	割合
利用者の送迎(有料)	2	12.5%
利用者の送迎(無料)	7	43.8%
従事者の送迎(有料)	0	0.0%
従事者の送迎(無料)	0	0.0%
地域への貢献(利用対象:特定の地域住民)(有料)	0	0.0%
地域への貢献(利用対象:特定の地域住民)(無料)	1	6.3%
地域への貢献(利用対象:不特定の地域住民)(有料)	0	0.0%
地域への貢献(利用対象:不特定の地域住民)(無料)	0	0.0%
その他	0	0.0%

- 公共交通への置き換えの可能性

公共交通への置き換えの可能性	件	割合
公共交通が便利になれば、公共交通への置き換えを考えたい	0	0.0%
送迎利用者の身体的制約等があるため、置き換えは難しい	8	50.0%
その他の意見	0	0.0%
無回答	8	50.0%

- 新たな移動サービスとしての協力の可能性

公共交通を補完する新たな移動サービスとしての提供(協力)	件	割合
運行に協力可能、または対応を検討してもよい	1	6.3%
どちらとも言えないが、詳しい話を聞いてから判断したい	2	12.5%
運行への協力は困難または不可能	5	31.3%
無回答	8	50.0%

● （協力が困難または不可能な場合）その理由

協力が困難または不可能な理由(複数回答)	件	割合
時間的に困難なため	4	25.0%
金銭的に困難なため	1	6.3%
人力的に困難なため	5	31.3%
保有車両の利用が不定期的なため	2	12.5%
地域との係わりに距離感を感じるため	0	0.0%
事業の運営と並行して、地域との係わりを継続することが困難に感じるため	0	0.0%
その他	0	0.0%

● （協力が可能な場合）対応方法

対応方法(複数回答)	件	割合
現在の運行車両に混乗する形で対応が可能	0	0.0%
車両の空き時間で新たな運行をする形で対応が可能	2	12.5%
新たに車両や人員を調達(貸与等)して運行する形で対応が可能	0	0.0%
その他	0	0.0%

● （協力が可能な場合）対応のための条件

対応のための条件(複数回答)	件	割合
地域の理解	0	0.0%
地域の協力	0	0.0%
行政のバックアップ(手続き等)	2	12.5%
行政のバックアップ(補助金等)	2	12.5%
現在の運行での利用者、関係者の理解	2	12.5%
その他	1	6.3%

・その他意見：人員（運転手・添乗員）の確保が必要

● （協力が可能な場合）新たな移動サービスとしての事業継続に向けた要望（自由記述）

・現在、地域サロン活動の送迎支援を 2 回/月程度実施している。車はあるが、運行する人員がいない。

＜参考＞ 配布・回答状況一覧

No	名称	分類	地域	調査票回答	運行情表回答	協力可能性
1	ニコニコハウス 七福なるだ	デイサービス	川東・北部地域	○	○	
2	介護予防型サロン しゅういち成田	デイサービス	川東・北部地域			
3	居宅介護支援事業所“悠久”	居宅介護支援	川東・北部地域			
4	H. S. A訪問看護リハビリステーション花はな	訪問介護	川東・北部地域			
5	医心館 訪問看護ステーション小田原	訪問介護	川東・北部地域			
6	アムール訪問看護ステーション	訪問介護	川東・北部地域			
7	ニチケアセンター西湘	デイサービス	川東・北部地域			
8	住宅型有料老人ホーム 悠久の里	老人ホーム	川東・北部地域			
9	ニチケアセンターこゆるぎ	老人ホーム	川東・北部地域			
10	医心館 小田原	老人ホーム	川東・北部地域			
11	茶話本舗デイサービス小田原成田	デイサービス	川東・北部地域			
12	ココファンメゾン小田原	老人ホーム	川東・北部地域			
13	潤生園 やすらぎの家 豊川	デイサービス	川東・北部地域	○	○	協力を検討しても良い
14	介護予防型サロン しゅういち千代	デイサービス	川東・北部地域			
15	れもんケアステーション	居宅介護支援	川東・北部地域			
16	介護老人保健施設 リバースト	老人ホーム	川東・北部地域			
17	介護老人保健施設“悠久”	老人ホーム	川東・北部地域	○	○	
18	たすけあい小田原	デイサービス	川東・北部地域	○		
19	HSAデイサービス めだかの学校 桑原	デイサービス	川東・北部地域	○	○	協力を検討しても良い
20	サロンデイ小田原高田	デイサービス	川東・北部地域	○	○	
21	しきさい館	デイサービス	川東・北部地域	○		
22	積善会 介護医療院 こもれび	介護医療院	川東・北部地域			
23	アフターチャーム	デイサービス	川東・北部地域			
24	ルビーホーム	老人ホーム	川東・北部地域	○	○	協力可能
25	西湘グループホーム えん	老人ホーム	川東・北部地域	○		
26	HSAデイサービス めだかの学校 飯泉	デイサービス	川東・北部地域	○		
27	ツクイ小田原	デイサービス	川東・北部地域			
28	デイサービスセンター 大楽 小田原	デイサービス	川東・北部地域			
29	ハーティオセアン小田原	老人ホーム	川東・北部地域			
30	介護老人福祉施設 たちばなの里	老人ホーム	橘地域			
31	デイサービス ぽっかぽか	デイサービス	橘地域	○	○	
32	(有)なかはま商会	居宅介護支援	橘地域			
33	百年の杜 中村原	老人ホーム	橘地域			
34	(株)阿部製作所	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
35	(株)しいの食品	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
36	神静流通センター(株)	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域	○		
37	須賀機械工業(株)	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
38	(株)西山製作所	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域	○		
39	(株)まるだい運輸倉庫	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
40	ミノン(株)	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
41	鈴廣かまぼこ(株)	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
42	(有)吉工	企業(テクノランド小田原協)	川東・北部地域			
43	(株)湘南精機	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
44	(株)幸楽苑 小田原工場	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
45	日本メジフィジックス(株) 神奈川ラボ	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
46	井出徳建設(株) 西湘木材センター	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
47	(株)EX ONE(エクスワン)	企業(西湘テクノパーク)	橘地域	○		
48	(株)コイワイ 西湘R&D	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
49	(株)宮田 西湘物流センター	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
50	相日防災(株) 小田原本社	企業(西湘テクノパーク)	橘地域	○		
51	アルフレッサ(株) 神奈川物流センター	企業(西湘テクノパーク)	橘地域	○		
52	鹿島建設(株) 機械部 機械技術センター	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
53	重本電気工芸(株)	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
54	(株)山安 小田原本社工場	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			
55	児玉化学工業(株) 西湘工場	企業(西湘テクノパーク)	橘地域			

調査票

地域の多様な輸送資源に係るアンケート調査 調査票

【はじめに】対象施設において、利用者や従業員等の送迎サービスを実施していますか。

該当する記号に「○」を付けてください。

A 送迎サービスを実施している	⇒ 【事業者様の情報】へお進みください
B 送迎サービスを実施していない	⇒ 本調査票の回答は不要です

【事業者様の情報】

名 称 : _____

住 所 : _____

連絡先 : _____

担当者 : _____

問1 運行目的について、該当する記号に「○」を付けてください。(複数回答可)

A 利用者の送迎 (1. 有料 2. 無料)
B 従業員の送迎 (1. 有料 2. 無料)
C 地域への貢献 (利用対象: 特定の地域住民) (1. 有料 2. 無料)
D 地域への貢献 (利用対象: 不特定の地域住民) (1. 有料 2. 無料)
E その他 ()

問2 送迎などに使用する車両(以下、「車両」)の保有台数を教えてください。

・ _____台

問3 車両の運行期間、運行時間及び運行範囲について、教えてください。

別紙、「運行(実施・予定)表」に記入をお願いします。

※お手数ですが、問2で回答した台数分をご記入ください。

※運行(実施・予定)表は3枚同封しています。4台以上保有される事業者様については、お手数ですが、台数分コピーいただき、記入をお願いします。

⇒ 次ページへお進みください

1

問4 道路運送法に規定する許可又は登録を取得していますか。

該当する記号に「○」を付けてください。

A 許可又は登録を取得している (⇒登録の種類について該当する記号に「○」を付けてください。 1. 送迎バス(特定の者との契約) 2. 福祉有償運送 3. その他() B 許可又は登録は取得していない

道路運送法(抜粋)

(種類)

第三条 旅客自動車運送事業の種類は、次に掲げるものとする。

一 一般旅客自動車運送事業(特定旅客自動車運送事業以外の旅客自動車運送事業)

イ 一般乗合旅客自動車運送事業^{第一}(乗合旅客を運送する一般旅客自動車運送事業)

ロ 一般貸切旅客自動車運送事業^{第二}(一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切つて旅客を運送する一般旅客自動車運送事業)

ハ 一般乗用旅客自動車運送事業^{第三}(一個の契約によりロの国土交通省令で定める乗車定員未満の自動車を貸し切つて旅客を運送する一般旅客自動車運送事業)

二 特定旅客自動車運送事業^{第四}(特定の者の需要に応じ、一定の範囲の旅客を運送する旅客自動車運送事業)

(有償運送)

第七十八条 自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。以下同じ。)は、次に掲げる場合を除き、有償で運送の用に供してはならない。

一 災害のため緊急を要するとき。

二 市町村(特別区を含む。以下この号において同じ。)、特定非営利活動促進法(平成十年法律第七号)第二条第二項に規定する特定非営利活動法人その他国土交通省令で定める者が、次条の規定により一の市町村の区域内の住民の運送その他の国土交通省令で定める旅客の運送(以下「自家用有償旅客運送」)を行うとき。

三 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送^{第五}の用に供するとき。

(登録)

第七十九条 自家用有償旅客運送を行おうとする者は、国土交通大臣の行う登録を受けなければならない。

※1に関する事業例として、「民間路線バス」があります。

※2に関する事業例として、「観光バス」があります。

※3に関する事業例として、「乗用タクシー」があります。

※4に関する事業例として、「送迎バス(特定の者との契約)」があります。

※5に関する事業例として、「福祉有償運送」があります。

※6に関する事業例として、「スクールバス」があります。

⇒ 次ページへお進みください

2

問5 今後、市内の公共交通(鉄道、路線バス等)の利便性が高まった場合、利用者や従業員等の送迎手段として、公共交通を活用する可能性はありますか。

A 公共交通が便利になれば、公共交通への置き換えを考えたい (具体的な要望等: _____)
B 送迎利用者の身体的制約等があるため、置き換えは難しい
C その他の意見(_____)

問6 公共交通の利用が困難な地域や利用者に対して、事業者様が保有する車両を活用し、地域の方々への新たな移動サービスとして提供(協力)することについて、以下の選択肢から回答ください。

A 運行に協力可能、または対応を検討してもよい ⇒ 次ページ 問8をご回答ください
B どちらとも言えないが、詳しい話を聞いてから判断したい ⇒ 次ページ 問8をご回答ください
C 運行への協力は困難または不可能 ⇒ 問7をご回答ください

問7 問6で「C 運行への協力は困難または不可能」と回答された方にお伺いします。

公共交通を補完する移動手段として運行することが不可能な理由は何ですか。

該当する記号に「○」を付けてください。(複数回答可)

A 時間的に困難なため
B 金銭的に困難なため
C 人員的に困難なため
D 保有車両の利用が不定期なため
E 地域との係わりで距離感を感じるため
F 事業の運営と並行して、地域との関わりを継続することが困難に感じるため
G その他 (_____)

問7にご回答いただいた方は、アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

※その他、ご意見がありましたら、P4問9にご記入をお願いします。

3

問8 問6で「A 運行に協力可能、または対応を検討してもよい」または「B どちらとも言えないが、詳しい話を聞いてから判断したい」と回答された方にお伺いします。

問8-1 地域の方々への新たな移動サービスとして運行する場合、以下のどの方法であれば対応可能だとお考えになりますか。(複数回答可)

A 現在の運行車両に混乗する形で対応が可能
B 車両の空き時間で新たな運行をする形で対応が可能
C 新たに車両や人員を調達(貸与等)して運行する形で対応が可能
D その他の運行方法(_____)

問8-2 地域の方々への新たな移動サービスとしての運行を可能とするための条件は何ですか。

該当する記号に「○」を付けてください。(複数回答可)

A 地域の理解
B 地域の協力
C 行政のバックアップ(手続き等)
D 行政のバックアップ(補助金等)
E 現在の運行での利用者、関係者の理解
F その他 (_____)

問8-3 地域の方々への新たな移動サービスとして継続しつづけるために、地域や行政等に求めることはありますか。

問9 その他、ご意見がありましたらご記入をお願いいたします。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

4

運行表

運行〔実施・予定〕表

【 お手数ですが、保有車両ごとのご記入をお願いいたします 】

1 対象車両

メーカー _____ 車種 _____

最大乗車人数 _____人 台数 _____台

2 輸送人数

☐ 1日

☐ 1週間

☐ 1ヵ月

当り _____人

3 運行期間・時間

(月)

☐ 毎月

☐ 期間限定

☐ 不定

⇒

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

該当する「月」に「○」を付けて下さい。

(週)

☐ 毎週

☐ 曜日限定

☐ 不定

⇒

日 月 火 水 木 金 土

該当する「曜日」に「○」を付けて下さい。

(時間)

☐ 定時

☐ 不定

☐ デマンド

⇒

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

該当する「時間」に「○」を付けて下さい。

4 運行経路・地域 (複数回答可)

(運行経路)

☐ 対象施設 ⇨ 利用者や従業員等の自宅

☐ 対象施設 ⇨ 鉄道駅 (_____ 駅)

☐ その他 (_____)

(運行地域)

裏面の地図を参考に、車両が運行している地域に「○」を付けて下さい。

1. 片浦地域

2. 中央 (中心部) 地域

3. 中央 (郊外部) 地域

4. 富水・桜井地域

5. 川東・南部地域

6. 川東・北部地域

7. 橘地域

⇒裏面に地図があります

5

携帯GPSデータに基づく移動実態

分析の概要・対象施設について

施設来訪分析

⇒市民の外出先上位 6 施設

(ロピア、小田原ラスカ、ダイナシティ、シティモール、小田原市立病院、山近記念総合病院)

を対象に、曜日・時間帯別の来訪者数を集計

●市民アンケート調査結果より（目的別外出先）

買物先（食料品）	票数	買物先（食料品以外）	票数	通院先（5票以上）	票数
ロピア	102	ダイナシティ	309	小田原市立病院	55
小田原ラスカ	93	シティモール	253	山近記念総合病院・クリニック	32
小田原百貨店板橋店	90	小田原ラスカ	132	マナクリニック	25
その他の市内店舗	89	その他の市内店舗	119	善ファミリークリニック	20
ヤオマサ荻田店	64	小田原駅周辺（小田原ラスカ以外）	98	小澤病院	16
シティモール	63	市外	85	久野銀座クリニック	16
ダイナシティ	62	イトーヨーカドー	84	山田クリニック	14
マックスバリュ荻窪店	60	ユニコロシティモール店	36	間中病院	12
ヤオマサ鴨宮店	59	しまむらシティモール店	30	小林病院	12
ヤオマサ中町店	54	しまむら栢山店	25	片浦診療所	11
市外	52	しまむら東町店	21	雨宮内科医院	10
イトーヨーカドー	51	パシオス	16	小田原循環器病院	10
		ユニコロ富水店	13	渡辺内科クリニック	10

集計期間・データについて

●集計期間：2022年1月1日～2022年12月31日の1年間

●平休別に集計

●30分毎に集計

●各施設に15分以上480分以下滞在した人をカウント

●30分毎の時間帯ユニークでカウント

（：同一人物が9:00～9:40に滞在した場合、9:00～9:30の枠と9:30～10:00の枠それぞれ1人としてカウントする）

3

<参考>データの概要・分析における用語の定義等

Q.	使用データはどのように入手・集計されたものか？
A.	20歳以上のauスマートフォン契約者のうち、位置情報の利用許諾を得たユーザーのGPS位置情報データを使用しています。取得したユーザー数のデータを全人口へ拡大推計したデータになります。 ※属性別（推定居住地・性別・年代）のR2年国勢調査実人口とユーザー数の比率を拡大倍率としています。 ※拡大倍率はユーザー数の変化等に応じて各月ごとに計算されています。
Q.	データの秘匿方法は？
A.	実数値で10人未満となる結果については0人と表現しています。 秘匿される場合、合計にも加算されません。
Q.	居住者・勤務者・来街者の定義は？
A.	各ユーザーの日中・夜間の滞在状況から以下のように推定しています。 居住地：直近1か月の夜間（22～29時）の最頻滞在地 勤務地：直近1か月の昼間（8～19時）の最頻滞在地 また、各分析において指定された商圏内に居住している人を「居住者」 指定された商圏内で勤務している人を「勤務者」 指定された商圏外から来訪した人（うち勤務者以外）を「来街者」と定義しています。
Q.	リピーター率とは？
A.	集計期間内の来訪者のうち、複数日来訪した人の割合となります。

4

分析 2 施設来訪分析 ダイナシティ 《食料品以外買物先：第1位》

単点分析ダッシュボード 施設名: ダイナシティ

地図

データ期間

2022-01-01 ~ 2022-12-31

集計方法

全人口推計値

日にち区分

期間全体 平日 祝休日

時間帯

05:00 ~ 29:00

来訪日数

1 日以上 日以下

滞在時間

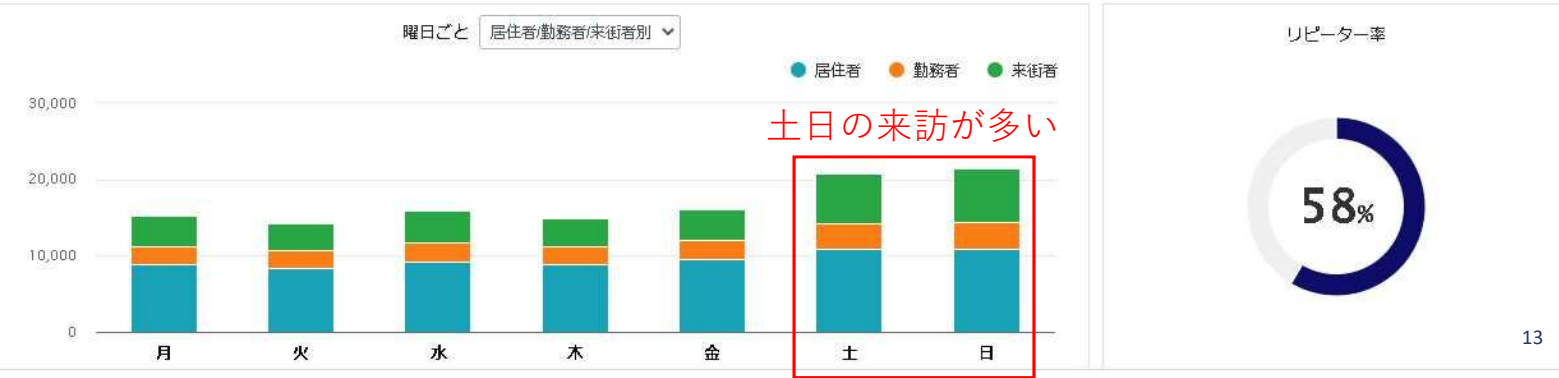
15 分以上 480 分以下

1日当たり平均来訪者数

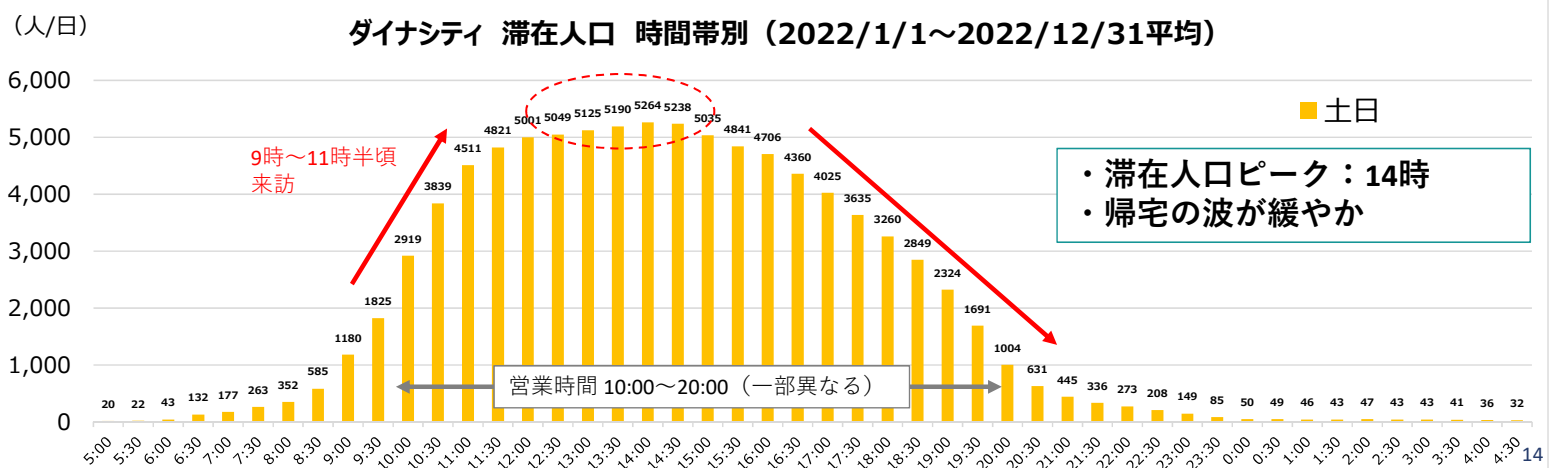
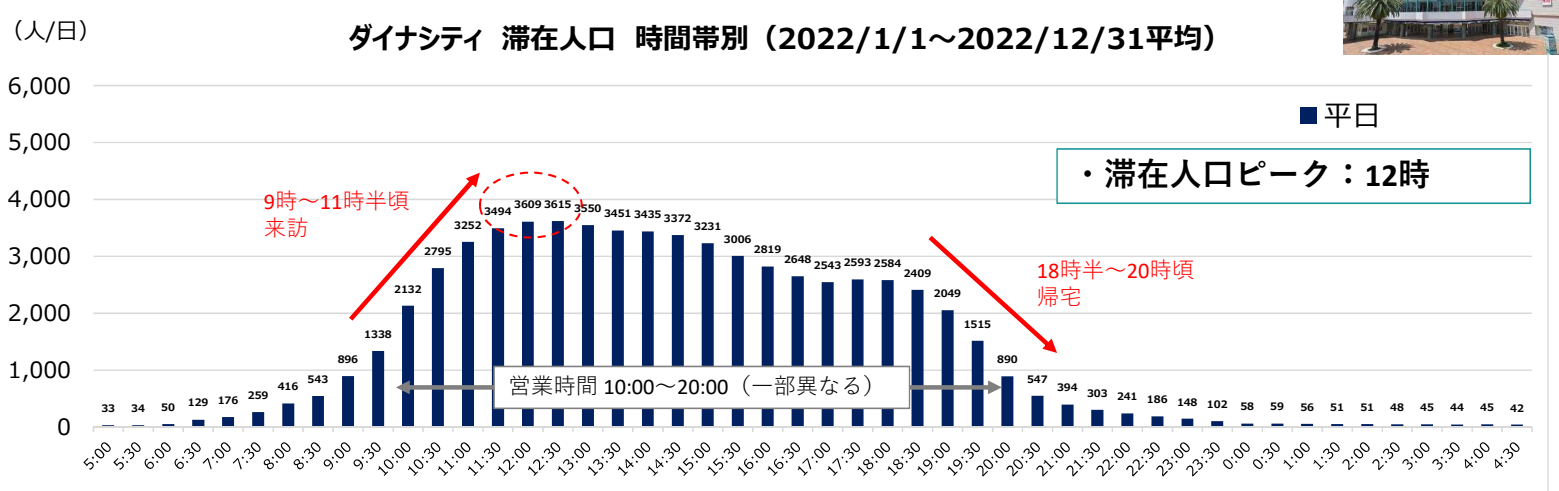
平日 15,288 (人/日)

土日 21,096 (人/日)

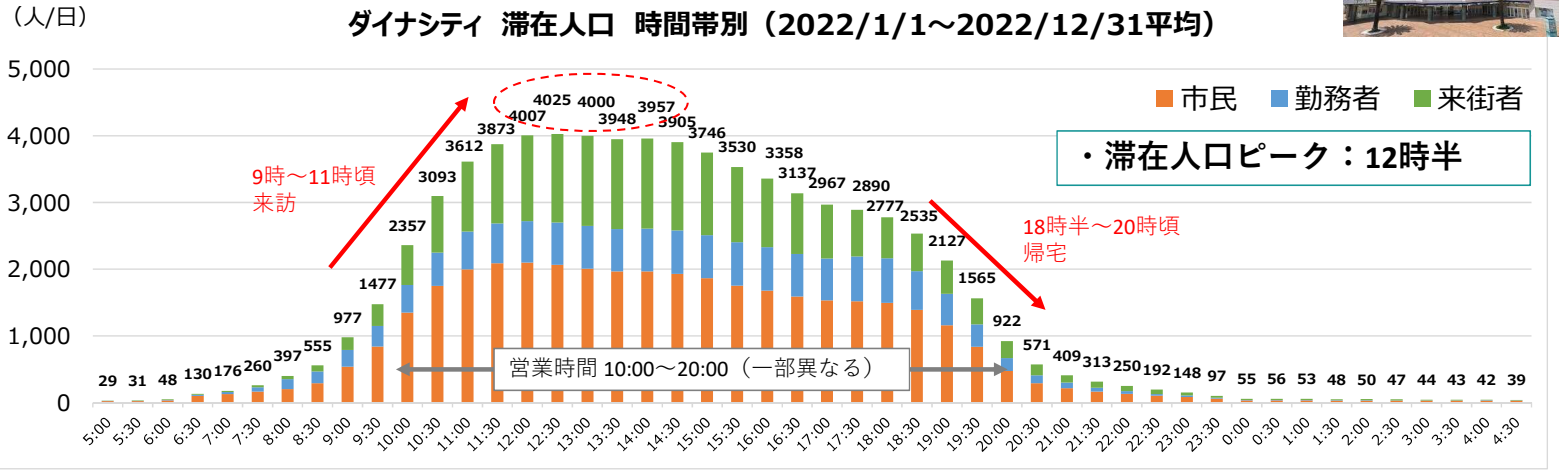
計 16,947 (人/日)



分析 2 施設来訪分析 ダイナシティ 《平日・土日》



分析 2 施設来訪分析 ダイナシティ 《全日・全属性》



分析 2 施設来訪分析 ダイナシティ 《市民・市民以外》

